

SCOUTING



2010
No.677
5

第37回全国ボーイスカウト写真コンテスト 青年・成人の部 最優秀賞「てっぺんまでもうすぐ」 和歌山・伊都第5団 丹生 完生

特集 成人による支援 隊運営を支える組織

全国ボーイスカウト写真コンテスト入賞作品発表

特集

成人による支援

ADULT SUPPORT

成人的
支援

チーム
システム

象徴的
枠組み

行うこと
によって
学ぶ

ちかいと
おきて

個人の
進歩

自然



スカウト運動の目的は「青少年が個人として、責任ある市民として、地域、国、国際社会の一員として、
身体的、知的、情緒的、社会的、精神的な潜在的能力を十分に達成するよう彼らの発達に貢献することである。」

The purpose of the Scout Movement is "to contribute to the development of young people in achieving their full physical, intellectual, emotional, social and spiritual potentials as individuals, as responsible citizens and as members of their local, national and international communities."

世界スカウト機構『基本原則』より

上記の目的に向かって、この運動に参加する青少年の様々な活動への取り組みやその成長のために、私たち成人指導者や支援者は、それぞれの立場で彼らを支援します。

スカウト支援の最前線にいるのは、いまでもなく隊長を中心とした隊指導者たち。「特に隊長こそこの運動の要だ」とはよくいわれるところです。確かにそのとおりではあるのですが、近年、この運動全体が、隊指導者ががんばりだけに頼ってしまっているのではないか、との懸念もあります。

スカウトたちを直接支援する隊。隊の運営を支援する団。そして団の発展を支える育成会。その周りには地区や県連盟の組織もあります。今月の『スカウティング』では“隊を支える組織”について、改めて考えてみたいと思います。

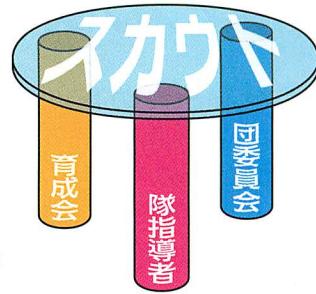
本運動に参加している成人は自分の任務を気に入ったものを感じ、自分が責任を持つ活動を能率よく、うまく実行することが期待されている。これは彼らが励まされ、話を聞いてもらえ、助言され、支援される必要があることを意味している。

世界スカウト機構
『スカウティングにおける成人』より

成人による支援の三本柱

——青少年を蝕むであろう様々な害悪が蔓延するのを防ぐために働くということは、(中略)何かを成し遂げたという確固たる満足感をもたらしてくれる。これこそ、「スカウター」と呼ばれる、ボーイスカウト運動の中で活躍する人たち、隊長、コミッショナー、委員、インストラクター、組織の拡大に携わる人、事務担当者すべての心意気である。——

創始者ベーデン・パウエル (B-P) 『隊長の手引 AIDS TO SCOUTMASTERSHIP』より



■青少年一人ひとりへの「成人の支援」を、会社にたとえてみると…

隊指導者

会社でいえば、現場で働く人々。

一人ひとりの青少年の発達を直接支援する、スカウト教育の最前線です。
隊活動こそがこの運動の要であることは、間違ひありません。

●隊長および副長の任務

- 隊活動全般の指導責任、プログラム会議開催とプログラム作成、保護者との連絡・協力、
○隊集会と行事の主宰、補助者の指導 等

団委員会

会社では、現場を支える経営陣。団委員長はいわば社長。

教育の現場である隊が円滑に動けるよう、様々な支援を行います。

●団委員会の任務

- 団の存続維持・発展、財政の責任、資産管理、集会場・備品等の便宜、隊指導者の選任と養成・訓練参加支援、進歩促進、健康・安全向上、運動の主旨の普及

●団委員長の任務

- 団委員会の主宰、団構成の維持、各隊の育成、各隊の統括および活動への協力



育成会

会社では、株主にあたります。

地域社会にスカウト教育が必要と考える有志の集まりで、主に財政面で団を支援します。
また、社会での運動の評価を高めます。

●育成会の任務

- 本運動の支援、団の育成と発展に寄与、教育に必要な施設と経費の責任

※ PTA や宗教団体など既存の団体が団を支援する場合は育成団体、保護者等により結成される場合は育成会と呼ばれてきましたが、新しい規程ではいずれも育成会としています。

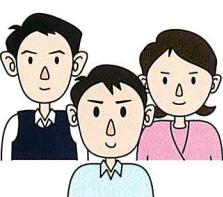
(●任務はいずれも教育規程より要約抜粋)

これら「成人による支援」の大きな三本柱。直接・間接の違いはあっても、それぞれが役割を持って青少年を支援しています。それはいずれも欠かせない大事な要素なのです。“良きスカウトを育成し、社会に輩出する”というスカウティング・スピリットを持って、それぞれの役割を果たしていきましょう。

成人による支援

役割分担クイズ

Q ある町で、スカウティングに関わることのできる
人が3人しかいないとします。
さて、その3人でどのような役割
分担をすべきでしょうか?

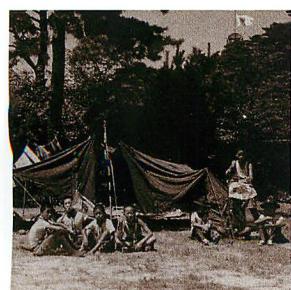


A スカウトの隊は1部門のみにしほり、①隊長、②団委員長、
③育成会長、の分担をする。

解説／これは極端なクイズですが、基本的な考え方のガイドです。間違えやすいのは、3人がビーバー、カブ、ボーイの各隊長を担当して、団委員長や育成会長の仕事は兼務でこなそうという考え方。団委員会も、育成会も、それぞれ欠かせない柱なのです。

「原隊」とは

会合などで全国の指導者が集うとき、よく「今は横浜で奉仕していますが、原隊は福岡です」というような声を聞きます。この「原隊」という言葉、スカウト時代に所属した隊や出身団というような意味合いで広く使われるようですが、古くからの指導者の皆さんの中には「ボーイ隊のことだろう?」とおっしゃる方もおられます。さて、もともと「原隊」とはどのような言葉だったのでしょうか?



——最初に年少隊を作り次に少年隊、その次に年長隊、最後に青年隊と、年令の上向の順に作ってゆくのが順序のようですが、必ずしも、この順序によらねばならぬことはありません。唯、出来上がりの健実性からいうと、一番最初に少年隊を作るのが、よいようあります。旧規定では、これを原隊と称していました。この原隊が、下に根をおろして年少隊が生まれ、上に伸びて年長隊が生まれ、更に、伸びて、青年隊に展開するよう望んでいるわけあります。この希望は、新規定においても依然、失いませんが、規定上は、そう限定しないことになっています。——

『団の作り方』(昭和33年発行・次頁参照) より



団はどのように作られるのか

そもそも団とはどのように設立される組織なのでしょうか。

古くは「隊」を単位に作られていた各地のスカウト組織を、年少隊（カブ）から青年隊（ローバー）までを地域でまとめ、一貫した教育を提供できる「団」にする、という改変がなされました。当時（昭和33年）の書籍『ボーイスカウトとは 団の作り方』から、最も原初の団の作り方を学んでみましょう。

なお、同書の最初のページはこのような注意書きから始まっています。

－注意－

隊を作る者は、子供であります。大人ではありません。

ただ、どういう手続が必要なのか、子供には、わからないから、これを大人が授けるのであります。

隊が出来た後も、大人は授ける役をします。

これが、大人のスカウティング（スカウトに従事すること）であります！



昭和33年発行
写真は昭和36(1961)年版

■団を作るための八段階

- 第一歩 団の母体となるべき
育成団体を組織する
- 第二歩 団委員となるべき
人々を選び団委員会を作る
- 第三歩 第一回の団委員会を開く
- 第四歩 隊長以下隊の幹部となる人々を選ぶ
- 第五歩 団委員と隊長との最初の協議会を催す
- 第六歩 少年を集めて準備訓育をする
- 第七歩 加盟登録書類の作成提出
- 第八歩 加盟審査をうける

そして、発団式



■育成団体(育成会)について

本書にある、団を作る8つの手順のうち、育成団体が団を作る「第一歩」となっています。

古い本をひもとかなくても、現行の『団の運営と団委員会』の中にも、育成団体は「設立の第一条件」と書かれているのですが、全国にすでに多くの団ができ上がった後に、その運営について書かれた現代版の書籍では、育成団体の重要性が若干伝わりにくくなっているのかもしれません。団作りの出発点となる育成団体について、『団の作り方』は以下のように説明しています。

育成団体とは

隊の必要とする施設や用具を整えたり、教育訓練の経費を作り、十分に目的を達成させる責任を負うものであります。これによって大人は、大人としてのスカウティングを、知らず知らずのうちにに行うことになります。

育成団体の作り方

（保護者が集まって組織する、あるいはすでにある団体、会社などが母体となるなどの例示に続いて）以上のいずれの場合にしても、育成会員を獲得するということが先決問題であります。

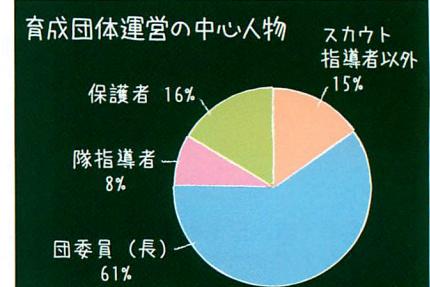
育成団体の集め方

まず、有志者が集って組織の相談をし、会員を獲得します。その人数には定めはありません。二、三十人位が普通であります。

そして現代版の『団の運営と団委員会』では、育成団体についてこのような記載があります。
——長い間この運動を続けていくためにはいろいろな困難に直面することもあるでしょう。そのため日本連盟は団が設立され

る前に、その団の支援を目的とした育成団体が結成されることを加盟の第一条件として挙げています。――

保護者からの拠出で活動費の多くが賄われるとしても、やはり備品の更新など様々な面で、この運動に参加するスカウトの保護者以外の理解者・支援者、地域の支持をより多く得、安定した財政基盤に基づく団運営を目指したいものです。



全国の隊・団の状況調査（詳しくは1月号参照）に気になるデータがありました。それは育成団体の中心人物＝団委員長という団が61%と圧倒的であるということです。さらに、これが隊指導者である場合、保護者である場合を合わせると、85%。ほとんどの団で、育成団体が育成団体としての独自の任務を担っていないということになります。前ページのクイズのコラムのように、地域社会から主に財政的な支援を募っていく育成団体の責任者は、本来団の運営者とは別であるべきなのに。。。

WHY:なぜそうなった?

かつて加盟員がどんどん集まっていた頃、各地の団では自然に潤沢な会費や様々なサポートが集まり、活動にかかる経費が賄っていました。特に地域からの支援を求める努力をしなくても、団が成り立っていたのです。そうした期間が長かったこともあり、団が地域に財政支援を求めることが地域社会とながっていくことに注ぐ力が弱まってしまったのかもしれません。

公益財団法人となって

ボーイスカウト日本連盟は、内閣総理大臣からの認定を受け、この4月より「公益財団法人」として新たなスタートを切りました（8頁に詳細）。これまで以上に多くの青少年に門戸を開き、より良い活動を提供していくためには、その最前線となる全国の隊・団が、地域社会にとけこみながら力強く発展していく必要があります。

公益財団法人化を機に従来のものを整理した“教育規程”では、団の「育成会」の役割を明確化・強調しています。成人による支援の三本柱のうち、育成会こそがまさに地域社会との連携の窓であり、この運動を一層盛り立てるキーとなるからです。

皆さんの団でも、成人の役割分担を改めて見直し、育成会のみならず、それぞれの成人がそれぞれの力を發揮して、隊活動の現場をより良く支援していくよう、力を合わせていきましょう。

“原隊”から世界へ



原隊。かつて団を作るときの基礎となった隊を意味した言葉が、今ではもう少し広がりを持つようになりました。スカウト出身の指導者にとってそれは自身のスカウト経験の場でしょうし、保護者から指導者になった成人にとっては、最初にスカウトと触れ合った隊のことでしょう。ホームグラウンドや地元、母校などに似た、ちょっと特別な愛着を伴う言葉です。

隊指導者を経験していない団委員や育成会員他、この運動の支援者である多くの成人にとっては、「原隊」という愛着の対象を意識することはあまりないかもしれません。

スカウティングは、一人ひとりの青少年の個人の進歩を多くの成人が支援し、より良い社会、より良い世界を一緒に築いていこうという世界的な運動です。団委員や支援者の方々も、間接的にスカウトたちを支える仲間です。

スカウト運動に関わるすべての成人が、この運動の中にそれぞれの大人のスカウティングの「原隊」のような出発点を見つけられたら、なんだかもっと温かで力強い何かが、芽生えてきそうです。

——地方連盟は隊長たちが任務を果たす際に要求するなら、必要な支援や援助をするのである。

こうして、隊指導者たちは委員会や事務処理にわざらわされるといった

他の団体ではよく見られるような不都合もなく、

余暇やエネルギーのすべてを少年の訓練という主たる仕事に思うままに注ぐのである。——

ベーデン・パウエル『B-P の展望』より



富士章受章スカウト 代表表敬



平成21年度に富士章を受章した全国のスカウトの代表2グループ計94人が、4月2日(金)にそれぞれ東宮御所では皇太子殿下、首相官邸と文部科学省では鳩山内閣総理大臣、鈴木文部科学副大臣にそれぞれ表敬の機会をいたしました。

毎年春に行われているこの事業は、スカウト運動に参加し、努力して初めて得られる栄誉。社会から見守られ評価されているということを実感できる機会でもあり、多くの参加スカウトにとって、その後の活動へのモチベーションを一層高める契機となっています。各都道府県でも、知事との接見等の機会を設けている連盟も少なくありません。

こうした事業もまた、スカウトの発達を励まし、促すものであり、組織による隊運営支援の一端なのです。



成人による支援
ADULT SUPPORT


**ニッポン全国
元気団 紹介**
富山県連盟 南砺第3団

様々な式典やパレードを力強く華やかに盛り上げる鼓笛隊や吹奏楽団。かつては全国にも多くの音楽隊が存在したが、今では希少だ。

昨年発団50周年を迎えた富山・南砺第3団を中心編成される富山スカウトバンドは、そんな音楽隊の一つ。今夏の第15回日本ジャンボリーでもドラムセレモニーを盛り上げようと、メインステージでの出演を目指し練習を重ねている。

しかしこの団の“元気”の秘訣はそれだけではない。



ドラムを核に広がる輪！

ドラムを核に集う仲間

同団の前身、福野第1団がドラム隊を結成したのは1968(昭和43)年。1978年、静岡での第7回日本ジャンボリーにドラム隊初参加。以後仲間を増やしながら市町村合併による団名変更も経て、現在は普段の隊活動もあわせ、南砺第2・3団の合同活動が主体だ。指導者の大半はドラム隊OBで、毎週金曜夜の練習にほとんどのリーダーが集うほど、音楽を核とした絆は強い。

ボーイ隊からのドラム練習は、楽しくてやめられない活動となるが、その力強い演奏や秩序立った動きにカブたちは「きっとスバルタ練習だぞ」と恐れを抱き、上進率に響いた面があった。しかし、数年前からは毎年8月に地元で音楽イベントのパレードが行われるようになり、スカウトバンドも参加。ビーバー・カブは旗振り係だが、くまスカウトだけ太鼓を持って演奏に加わる。6月から本番までの間だけ、それまで覗くことのなかったドラムの練習に参加し、くまスカウトたちはパレードでの演奏を楽しむように。以来、ボーイへの上進率は100パーセント。いわば団独自の「上進章プログラム」というわけだ。



バンドでは、「オンとオフの切り替えをしっかりやろう」と指導する。楽しむときは思い切り羽根を伸ばし、太鼓を持ったらビシッと背筋を伸ばすのが富山スカウトバ

ンドの流儀だ。もちろん通常のスカウト活動とのけじめも大切に。隊集会にドラムの用事を持ち込むのはご法度なのだ。

ツールを楽しく工夫して

バンド以前のビーバー・カブも、大いに楽しませる。入隊に向けてまやりややすくく覚えるためのカードや、木の葉章を「宝物」に演出するケースなど、楽しいツールをどんどん自作。ビーバー隊長がプロのデザイナーというのは羨ましい限りだが、真似できる点もたくさんある。

たとえば各隊の連絡新聞。保護者宛でなく、“スカウト宛に郵送”がポイントだ。ビーバー・カブ年代は、自分宛の郵便がポストに届くということがほとんどないので、スカウトにとって“唯一自分に届くお楽しみ定期便”となる。時期が近づくと、スカウトたちは隊長からの手紙が届いていないかと毎朝ポストをのぞくのだと。切手とプリンターインク代は、スカウトの笑顔とモチベーションアップには代え難い。



ウェブサイトにもアイデアが。各隊の常設ページとは別に、日々の活動を紹介していく“ブログ”は、あえて“全隊共通”に。「日々変わるブログを合同にすると、他隊の様子が保護者の目にとまるようになるんです。カブ隊も楽しそう！とビーバーの保護者が思ってくれたら、しめたものです」。

そのブログは各隊がページ最上段を奪いあうように、盛んに更新されているという。

拡がる仲間の輪

指導者は伝統的にスカウト経験者ばかりだったが、このほど保護者からめでたくカブ隊副長が誕生した。奥村副長はじめじわじわと仲間に巻き込まれた形だが、もっと保護者の参画を促進していくと計画を進めてもらいたい。

ボイスカウト講習会を隊集会と併催にして子どもたちを預かるようにし、保護者が安心して講習会を受講できるようにするのもその一例。大人の門戸を広げる工夫だ。新鮮な人材に加わってもらいながら、スカウトの家族も一緒に、地域の輪を広げていくという試みだ。

ドラム隊の活動を核としながら、様々な場面で仲間の輪をどんどんオープンしていく同団。その風通しの良さに支援者も増え、新しい刺激ももらい、活気が高まっている模様だ。

団本部の通称“アジト”に日夜集っては、気心の知れた仲間たちが笑いながらあれやこれやとアイデアを交換している。この「お楽しみ感覚」こそが同団の元気の秘訣だろうか。



お話を伺った指導者のみなさんと、その横で集会をしていたVSたち。超、和気あいあいだ。

PC ネットに連動!

南砺第3団のご厚意でカワイイイラスト入りのツールがダウンロード利用できます。また、富山スカウトバンドの演奏も見られる・聴ける、南砺2&3団のWEBサイトにもリンクしています。WEB版もぜひご覧ください。

2010
No.677 5 SCOUTING JAPAN



4月2日 富士章受章スカウトが首相官邸を表敬訪問

**TOPIC アジア太平洋提携プロジェクト
(バングラデシュ)派遣に参加して**

東京・目黒第3団 RS隊 早矢仕 晃章



2010年の春休み、私は、今年で13年目となるアジア太平洋提携プロジェクト（バングラデシュ）派遣に参加し、多くのかけがえのない経験をし、貴重な仲間を得た。

正直言うと、派遣にあたって不安は大きかった。バングラデシュで、私たちに一体何ができるのか？ 病気は？ 食事は？ 生活は？ そして何より、危険はないのか？

事前集会では、過去の派遣参加者から充実したサポートがあつたが、実際に見聞したこととは大きな隔たりがあった。道いっぱいに溢れる車と、けたたましく鳴り響くクラクション。冬なのに30度以上ある気温と街の喧験。しかし、何より、国民の向上心の高さに驚かされた。現地のローバーたちは世界に目を向け、日々の活動に自信を持って打ち込んでいる。そして、明るくて強い心を持っていた。

現地では、現地ローバーと協力して、「栄養・環境・健康」の3つを柱とした啓発活動を行った。

あっという間の2週間。私たちが現地に残せたものは本当にわずか、かつ簡単に成果が出るものではない。しかし、この交流には確実に意味があったと信じている。同じスカウトとして今を生きている、バングラデシュの仲間と私たちがこの国でしたことが、少しでも地元の方々の記憶に残り、この国の発展に貢献できたら、これ以上の幸せはない。

私は、これまでローバーは指導者としての活動が主だとばかり思っていたが、それは違った。今後は仲間とともに一つのものを作り上げる体験の楽しさ、すばらしさを一人でも多くの人に伝えたい。

CONTENTS

- 2 特集 成人による支援 隊運営を支える組織
- 6 ニッポン全国元気団紹介 富山・南砺第3団
- 8 公益財団法人新スタート
- 9 スカウト活動を安全に
- 10 第15回日本ジャンボリー情報
- 13 エッセイ 焚き火と薪／栽培して学ぼう
- 14 「ウェルカム・ザ・ワールド」プロジェクト
- 15 気象観測の現場から
- 16 日本連盟情報
- 17 信仰奨励
- 18 ローカルホットライン
- 20 スカウティングの知つててちょっと良い話 No.5
- 22 読者の声他
- 23 スカウトショップ
- 24 アクティビティ 薪を燃やす
- 26 第37回全国ボーイスカウト写真コンテスト
入賞作品発表



本誌の記事は詳細情報など日本連盟のホームページとリンクしています。このマークがある記事は、ネットへ！
URL: www.scout.or.jp

5月・6月予定 (平成22年4月15日現在)

- | | |
|-------|---------------------------|
| 5月 | |
| 4(火) | WB実修所BS課程第172期(9日まで) |
| 9(日) | 15NJゲストサービス専門部会(第4回) |
| 9(日) | 15NJ広報専門部会(第5回) |
| 9(日) | 15NJ輸送専門部会(第8回) |
| 11(火) | 運営会議 |
| 15(土) | 15NJプログラム専門部会(第7回)(16日まで) |
| 15(土) | 15NJ全体行事専門部会(第7回)(16日まで) |
| 16(日) | 15NJ専門部会長会議(第3回) |
| 25(火) | 理事会(第1回) |
| 25(火) | 評議員会(第1回) |
| 28(金) | 平成22年度全国大会実行委員会(第4回) |
| 28(金) | 日韓首脳会議 |
| 29(土) | 平成22年度全国大会(30日まで) |
| 29(土) | 県連盟代表者会議 |
| 29(土) | 県連盟コミッショナー集会 |
| 30(日) | 15NJ派遣団長会議(第2回) |
| 30(日) | CJK事務局長会議(31日まで) |

6月

- | | |
|-------|--------------------------|
| 4(金) | 22WSJ派遣団長会議(6日まで) |
| 5(土) | 15NJ総合サービス専門部会(第5回) |
| 6(日) | 15NJプログラム専門部会(第8回) |
| 12(土) | 15NJ施設・資材専門部会(第3回) |
| 13(日) | 15NJ全体行事専門部会(第8回) |
| 13(日) | 15NJ配給専門部会(第7回) |
| 15(火) | 運営会議 |
| 20(日) | 15NJ実行委員会(第10回) |
| 24(木) | 第7回アジア太平洋地域サミット会議(27日まで) |
| 27(日) | 名誉会議(第1回) |

平成22年4月より、 ボーイスカウト日本連盟は 公益財団法人になりました



ご挨拶

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 奥島 孝康

スカウト運動は、現在、世界スカウト機構に160の国と地域が正式加盟し、約2,800万人が参加する世界的な青少年教育運動です。我が国では、大正11(1922)年に少年団日本連盟として発足して以来、幾多の変遷を経て今日に至りました。

スカウト運動は、幼年期から青年期にわたる青少年を対象に、スカウト運動独特の特長ある方法をもとに、ボランティア指導者の支援によって、青少年の健全育成を図り、より良き社会人を輩出するために今日も全国各地で活発な活動が展開されています。

平成20年12月に施行された新公益法人制度に関する法律の施行に伴い、本連盟は「財団法人」から「公益財団法人」への移行を行い、このほど内閣総理大臣からその認定を受けて、平成22年4月1日から新法人としてスタートしました。

そして、同時に私が新たな理事長として就任いたしました。

このたび認定を受けた新公益法人を機会に、公益財団法人として付託に応えるとともに本運動の価値をより高め、我が国における青少年運動の中核となり、健全なる青少年を育成し、多くの良き社会人を輩出するために、その使命を果たして参ります。

皆様の一層のご理解とご協力を願い申し上げます。

平成22年4月1日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 始動！

日本連盟は、「財団法人」から「公益財団法人」に移行しました。

平成20年12月に施行された新公益法人制度の法律制定に基づき、日本国内に存在するすべての財団法人や社団法人などの公益法人は、5年以内に新たな制度へ移行することとなりました。

こうした中で、日本連盟では、「財団法人」から「公益財団法人」へと移行することを決定し、内閣府への申請を行ってきましたところ、このほど内閣総理大臣から移行認定が認められました。

省みれば、大正11(1922)年に少年団日本連盟として発足以来、昭和10(1935)年に文部大臣(当時)から財団法人の認可を受け、以来今日まで長年にわたり歴史を刻んできましたが、ここで更なる改正が行われることになりました。

また、日本連盟は同時に役員の改選を行い、移行認定の新たなスタート時に新理事長が就任することとなりました。

日本連盟は、公益財団法人として、スカウト運動のみならず我が国青少年教育の発展に寄与し、公益法人としての使命を果たして参ります。

新法人の名称と代表者

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 奥島孝康

旧法人の名称と代表者

財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 橋本綱夫

施行 平成22年4月1日

新しい役員（2010年4月現在）

新しい公益財団法人では、評議員会が決算、人事など本連盟の最高議決機関となります。また、理事会が運営と教育の業務執行を一元的に決議し、理事会のもと今後編成される委員会が業務を執行することになります。

評議員

池本 要	宮崎連盟 理事長	代表理事（理事長）	奥島 孝康	早稲田大学第14代総長
石神 明	岐阜県連盟 理事		東京連盟 連盟長	
伊藤 幸夫	神奈川連盟 理事長	理 事	井上 保	東京連盟 理事
牛山 佳久	埼玉県連盟 副理事長		岡谷 篤一	岡谷鋼機株 取締役社長
内宮 真	岩手連盟 理事長			愛知連盟 理事長
逢坂 伸一	神奈川連盟 副理事長		久米 邦貞	久米美術館館長 東京連盟
岡田 一壽	鳥取連盟 理事長		佐野 友保	十全堂株 代表取締役社長
小町 國市	東京連盟 理事			神奈川連盟副連盟長
桜井 義維英	特定非常利法人		塙谷 立	衆議院議員
	国際自然大学校 副理事長			ボイスカウト振興会議員連盟 事務総長
篠田 常生	京都連盟 理事長		新藤 信夫	㈱ミッパ 取締役専務執行役員
白井 勇子	千葉県立衛生短期大学 名誉教授			群馬県連盟副連盟長
鈴木 節子	静岡県連盟 副理事長		鈴木 國夫	千葉県連盟 副連盟長
仙石 康盛	和歌山連盟 副理事長		鈴木 令子	神奈川連盟 理事
辰野 勇	㈱モンベル 代表取締役会長兼CEO		膳師 功	大阪連盟
谷口 修	大阪連盟 理事長		中鉢 良治	ソニー(株) 取締役
戸高 有基	大分県連盟 理事長	代表執行役副会長		
長岡 正彦	北海道連盟 理事長		中村 芳夫	社団法人
中西 達	奈良県連盟 理事長			日本経済団体連合会 事務総長
中野 充	新潟連盟		西村 稔	米沢電気グループ
野村 正直	愛知連盟 副連盟長			統轄本部長 石川県連盟 理事長
萩原 敏孝	㈱小松製作所 相談役・特別顧問		日枝 久	㈱フジメディアホールディングス ㈱フジテレビジョン 代表取締役会長
平野 升香	熊本県連盟 理事長		松平 賴武	学校法人本郷学園 理事長
二上 桂介	富山県連盟 理事長			香川連盟 連盟長
堀江 建治	東京連盟 副理事長		松本 宏	財団法人吉田秀雄記念 事業財団 理事長
宮田 勝	本田技研工業㈱ 社友 東京連盟維持財団 理事		村田 稔章	奈良県連盟 副理事長
室橋 幸三郎	東京連盟 理事長		茂木友三郎	㈱キッコーマン 代表取締役会長CEO
山田 隆士	茨城県連盟 副理事長		山本 一郎	和歌山連盟 理事長
山田 龍雄	千葉県連盟 理事長	監 事		
渡邊 富昭	愛媛県連盟 理事長		増田 嘉一郎	弁護士 東京連盟 理事
			三木 康彦	税理士 兵庫連盟 監事
			本橋 信隆	公認会計士

以上が公益財団法人としての登記に際しての役員名簿です。正副評議員長は5月25日に開催される定時評議員会で選出される予定です。

理事の役職は以下のとおり、4月6日に開催された臨時理事会にて編成されました。

理事長	奥島 孝康	常務理事	新藤 信夫
副理事長	久米 邦貞	常務理事	西村 稔
副理事長	日枝 久	日本連盟コミッショナー	新藤 信夫
副理事長	山本 一郎	国際コミッショナー	久米 邦貞



公益法人としての新スタートに伴い、これまでの「財団法人ボイスカウト日本連盟 寄付行為・教育規定」は、新たに「公益財団法人ボイースカウト日本連盟 定款・教育規程」に改められています。

定款は、日本連盟ホームページの「日本連盟について（<http://www.scout.or.jp/nipponrenmei.html>）」からご覧いただけます。また教育規程については、5月29日・30日に静岡市で開催される平成22年度全国大会から販売開始となる『日本連盟規程集』に掲載されます。

スカウト活動を安全に ～傷害共済制度のデータから学ぶ～

全国のスカウト活動において毎年約390件もの事故が発生しています。日本連盟では平成16年度に「傷害共済制度創設プロジェクトチーム」を創設し、ボイスカウト加盟員に対する安全教育の更なる充実を図るために、安全の対極にある「万が一の事故」に備えた保証責任を果すべく「傷害共済制度」を創設しました。

野外活動の中では、不慮の事故やけがなどが発生することへの安全対策として「安全教育」と「安全管理」で事前防御することを推進しています。しかし、事故は毎年多数発生しているのです。この事故内容を分析して事故やけがを防止するための助にしたいと考え、毎年分析を行っています。

事故データ分析の概要

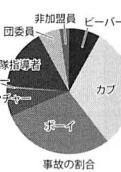
1 夏季の宿泊を伴う活動・冬季のスキー＆スケートに特に注意

全事故の約36.5%を宿泊行事が、約20%をスキー・スケートが占めた。これを裏付けるように、キャンプ等が実施される8月の事故件数が年間を通じて多かった。8月に発生した事故の76.3%は宿泊行事に関連した傷病であることからも、宿泊行事における安全管理の重要性が改めて明らかになった。

1月から2月にかけてはスキー・スケートなど冬季特有の活動による事故が7~8割を占めた。傷病別にみると1~2月の傷病の60%が骨折や捻挫となっており、スキー・スケート活動中に大きな事故が発生していたことがわかる。骨折は最も多い傷病であり全事故件数の25%を占め、8月、1月、2月に発生のピークがあつた。骨折は捻挫と並んでどの年代・部門でも多く発生していた。

2 指導者の事故が多い

毎年注意喚起がなされ対策が講じられているはずの指導者の事故であるが、2008年度も全体の20%強を占めた。事故データ分析を始めてから5年連続しての数字となっており、一向に改善が見られないのは由々しき問題である。受傷の内訳は骨折、捻挫、肉離れなど運動器系のけがが全体の60%を占めている。これらの傾向は過去数年間の事故発生状況と全く同じであった。



3 日頃の技能訓練で事故防止を

スカウトの受傷でも骨折が最も多かったが、裂創や切創などの外傷が目立つもの特徴である。切創の86%がカブ・ボーイ年代に発生しており、外傷のほとんどはこの年代に集中している。年齢や理解力に応じた日頃の訓練によって、確実な技能や危険予知能力の向上を図り、事故防止策を強化するよう、一層の努力が求められる。



4 虫刺症に対する保険金の給付が難しくなる？

虫刺症では事故報告書が提出されるのは年間30件程度であるが、大多数は受診していないか、受診はしたが事故報告書が提出されていないものと思われる。平成22年度からは虫刺症に対する保険金の給付が難しくなる可能性もあるため、虫刺されの予防および刺された直後の初期手当てなどの対策を実施してほしい。

総じてこれまでの事故内容とほぼ同じ現象ですが、スカウト活動におけるプログラムでどのような「活動」や「時間帯」で発生しているのかなどを分析してみました。ホームページでより詳しいデータを紹介しています。ぜひ参考にしていただき、スカウト活動の実施計画書を作成する時に野外活動安全対策計画書を作成していただくと同時に、事故やけがの防止策を準備していただきたいと願っております。

スカウトと奉仕されている指導者ともどもに、事故やけがのない楽しい野外活動ができますことを願っております。

平成22年3月

日本連盟教育本部 安全委員会

データなど詳しくは、
ホームページをご覧ください。
（文責：鳴田理佳、岩井 均）





第15回日本ジャンボリー

15th NIPPON JAMBOREE (略称: 15NJ)

平成22(2010)年8月2日(月)~8日(日) 静岡県富士宮市朝霧高原 テーマ:「世界に向かって でっかく羽ばたけ!」

■ 15NJ場内プログラム一覧

お待たせしました。ジャンボリーのテーマ別プログラムの一覧です！

サイト名	プログラム名	プログラムの内容・概要（現時点の実施予定を含みます）
地球開発村 GDV 愛（あい）	「平和」に関するプログラム講座	GDVではこんなテーマの活動が行われます。（キーワードでご紹介） ○世界遺産・識字教育 ○野生生物の保護 ○AIDS予防 ○世界の子どもがおかれてる状況 ○麻薬・覚せい剤 ○世界の難民 ○国際協力 ○持続可能な開発のための教育の10年 ○環境保全研究の野外調査 ○経口補液療法による医療支援 ○ストリートチルドレン支援 ○都市化と居住の問題 ○飢餓と貧困の問題 ○地球環境の保全・向上 ○世界の人口問題 ○インフルエンザ等感染症の予防 ○国境なき医師団の活動 ○赤十字の活動
	「環境」に関するプログラム講座	おいしいツイスト、ダンパーが食べたい。こんなエコ料理知ってる？郷土料理を教えてあげる。コンテストもやるよ。
	「人権」に関するプログラム講座	フライドポテトを作るぞ、いや、たこ焼きだ。本流は焼きそばかな？手作りチーフリングがあるぞ。携帯ストラップの実演販売だ。さあ、50の屋台が並んだ。一番人気はどこの班？
	「健康」に関するプログラム講座	出入りを含めて6分間のオンステージ。郷土芸能、ボイスバッカッション、ものまね、ブレイクダンス、漫才、コントなんでもいいぞ！
文化の 交差点 CRC 縛（きずな）	野外料理自慢	ジャグリングとチアのいすれかに挑戦！インストラクターの演技を見て、練習、発表だ！
	屋台村（お菓子・手作りリング等）	和の道を究めよう。剣道・相撲・茶道・華道・書道のいすれかを選び、インストラクターの指導のもと体験する。
	オンステージ	レスキュー（救助技術）
	パフォーマンス	救急法や搬送法を駆使して救助を模擬体験。班対抗のゲーム形式でプログラムを展開。レスキュー隊員のデモンストレーションや資機材展示もある。
健康と安全 HES 命（いのち）	和の道	災害について知る
	救急法	応急処置の実演と指導（三角巾の使い方、止血法等）を行なう。心肺蘇生法の体験、AEDの使い方について学ぶ。救急車両を見学し、役割と機能について学ぶ。
	自分の体を知る	身長、体重、座高、胸囲、腹囲、腕を広げた長さなどを計測し、それを基準にした計測法を学ぶ。血中酸素濃度、血压、体脂肪測定をし、体調と数値の変化について学ぶ。最新医療機器について学ぶ。
	五感ゲーム	目で見る、耳で聞く、触る、味を見る、臭いを嗅ぐなどの五感をフルに使ってのゲーム。生活する上で、スカウト活動で「五感」が大切なことを体験により学ぶ。
	キャップハンディ	車イスで肢体の障害を、ブラインドサッカー・白杖体験で視覚障害を、手話体験で聴覚障害を体験。盲導犬の活動実演・パネル見学を通じて、盲導犬の育成と役割について理解する。
	自然エネルギー	自然エネルギーを体験。風車発電機を組み立て、電力量計を接続し、風力発電量を計測。ソーラーパネルを接続して風車を回し太陽光発電を体験。自転車に発電機を取り付け、風車を回し、人力発電を体験。
科学の都市 COS 環（わ）	Out Door Shop	ごみを分別し、分別したごみから再生品（リサイクル）、使えるもの（リユース）を選び出し、環境にやさしい生活必需品（エコバック等）を製作。牛乳パックの帽子、アルミ缶のかまどを作成してみよう。
	青い地球を取り戻せ！	未来の地球。このままでは、どのような環境になるのか？酸性雨と同じ成分を植物にかけ、その変化を見て酸性雨の危険性を知る。
	未来都市創造	科学の都市の中でできる省エネとは何か？家庭にある電気製品（テレビ・ビデオ・冷蔵庫・パソコン等）の待機電力を調べてみよう。省エネ住宅を設計してみよう。
	天地創造	CO ₂ （ドライアイス）を発生させ地球温暖化現象と同じ状況を作る科学実験を体験。地球の成り立ちの歴史を知る。
	未来環境エネルギー	最新技術である燃料電池・ロボット・電気自動車の展示等を予定。《何がそこにあるのか？当までの楽しみ！》
	まぼろしの名車を走らせろ	そこにある名車とは？（当までの楽しみ！）エコを体験する名車（迷車？）も登場予定。
	早籠レース	8人で協力して早籠（竹棒・板）を作つてタイムレース！
冒險と 自然探求 AEX 技（わざ）	投げ縄まわし	カウボーイになって、投げ縄廻し。
	ロープ渡り	ロープ渡り。スカウトが持参したロープで座席を作る。
	ターザンロープ	ワイヤーロープに滑車・ロープをつけ、ロープにつかまってすべり降りる。
	班旗立て	竹棒3本と班旗棒を巻き縛りを使ってつなぎ合わせ、より高く班旗を大空に掲げる。
	火起こしげーム	8人で協力して火を起こして、麻紐を切るゲーム。
	パイオニアリング 1.2.	1. 丸太でピラミッド塔を組み立てる。2. 丸太で見張塔を組み立てる。
	野草観察	野草観察スケッチおよび野草探求。冒険と自然探求に行く途中で気に入った野草をスケッチする。
	薪割り	単純な作業であるが奥が深い薪割りを行う。25cm×35cmの玉切りを薪用に割る。オノの使い方、種類、用途を知る。
	ブレッドクッキング	パン生地とアンを受け取り、パンの生地にアンを包み、好きな形に成形をしてアンパンを作る。指示書（地図）を頼りに指定された時間内に目的地に到着する。ポイントにて課題に挑戦。
	ウォークラリー	ネイチャーエクスプロアリング
自由参加	マウンテンバイククロスカントリー	手紙の指示に従い進む途中、プログラム挑戦。
	フィールドアーチェリー	自然の中をマウンテンバイクで駆け巡る。
	ターゲットバードゴルフ	コース内に隠れた獣を発見し、アーチェリーで射る。何頭の獣が潜んでいるか、スカウトの洞察力で発見し得点を競う。
	ネイチャーゲーム	羽根がついたボールを二人一組で打ち合ひながらコースを廻り、スコアを競う。
	間伐材作業	プログラムエリアの豊かな自然を、五感を研ぎ澄ませて探検。
	間伐材クラフト	班員が協力して、間伐材を指定された長さにそろえる作業。
	絞り染め体験	間伐材を利用したウッドクラフト。
	フライングディスクゴルフ	世界で一枚のパンダを作成する。
	グリーンアドベンチャー	フライングディスクを何投でゴールに投げ入れられるかを競う。
	ジャンボリー広場「世界派遣団本部展示」	コースに従って自然観察とスケッチを行うプログラム。
	ジャンボリー広場「信仰奨励サイト」	日本全国および海外の参加国の特色ある展示が行われる。お国自慢プログラムも実施。
	ジャンボリー広場「スカウト展示コーナー」	世界を代表する各教宗派の展示や、カウンセリングが行われる。自分の信仰する宗派以外も積極的に訪問しよう。

（4月上旬時点の計画であり、今後の調整により変更される場合があります。）

■ 15NJ 場外プログラム

15NJの場外プロは奉仕活動だ!!

場外プログラムでは地域社会との交流・環境保護を主題に、東海自然歩道整備、巻き枯らし間伐作業、巨大雑草（ダイオウ）駆除等の奉仕活動をダイナミックに行います。

また、これらの奉仕活動にあわせ、以下のようなアクティビティにも参加します。

- 自分のカヌーは自分で漕げ！（カヌー@田貫湖、または@本栖湖）
 - フィッシング（鰯釣り）
 - 西湖・青木ヶ原樹海ツアー①、②-1、②-2（青木ヶ原樹海ハイク・ガイド付き※②-2のみ鳴沢氷穴・富岳風穴も）
 - 富士山の不思議①A、①B（自然探訪フィールドワーク@湧玉池、本栖湖、青木ヶ原樹海他）
 - 史跡ハイク「曾我兄弟の想い」（白糸の滝周辺のハイキング）
 - 自転車ハイク「富士の湧水めぐり」（湧水ツアーハイク）
 - 開拓の心・朝霧満喫ハイク（ミルクランドゴルルハイク）
 - 酪農体験「朝霧高原の香り」（酪農体験：バター・チーズ・乳絞り）
 - 東海道16番宿場に向けて（薩埵峠ハイキング＆東海道由比の宿場町見学）
 - 大切な友（盲導犬センター「富士ハーネス」見学）
 - 近未来の道（第二東名見学）
 - ゴールドラッシュ（砂金採り）
 - ツリークライミング（ツリークライミング@ふもとっぱら）
 - 宝永山お中道の旅（@富士山富士宮口新5合目～御殿場登山口）
 - 360度の世界、竜ヶ岳（竜ヶ岳登山）
 - 富士山の痛み（大沢川砂防工事見学）
- PC 組み合わせなどの詳しい情報はホームページをご覧ください。
- プログラムガイドブックはPDF版での配布を予定しています。詳しくは大会ホームページをご覧ください。
<http://www.15nj.org>



■配給(食材・薪)について

食材の配給 食料は1こ隊(40人分)のセットで、8月1日(日)の夕食から8月9日(月)の朝食までの23食分が配給されます。これまで参加者が持参していた主食のお米も、15NJでは環境に配慮して生活排水を減らすために無洗米と一緒に配給します。

配給は朝夕の1日2回行われる(ただし、8月9日朝食は8月8日夕食時に配給)、昼食には携行食が朝の配給時に配られます。また、配給時の梱包資材を減らすため、折りたたみコンテナを使用し、次回配給に繰り返し使用します。食料の取り扱いについては、特に衛生面に注意を払い、残材については次の食事に持ち越さずに各食ごとに廃棄してください。食材の一時保管や飲料の保冷のために、氷を毎日各派遣隊へ配給します。

炊事用燃料(薪) 炊事用の燃料には薪を使用し、食材と同じ期間分が配給されます。ジャンボリーでは、日々のキャンプ生活もスカウトの大変なプログラムの一環であるとともに、スカウトキャンプの基本を再確認する意味からも炊事用燃料は「薪」の活用を取り上げました。環境に配慮した大会として、間伐材、除伐材を使用した薪を地元静岡県内で準備しました。

配給される薪は、間伐材、除伐材を使用した雑木(広葉樹)50%とスギ・ヒノキ(針葉樹)50%の混合で、長さ約30cm、太さ一辺約8cm。各サブキャンプにはバラ薪を1m³の袋で運搬・設置し、1こ隊あたりには25束相当として袋の約2/3を配給します。

前回14NJでは、スカウト・指導者に関わらず、ナタ等による切創のため救護所で縫合処置を受けた患者が相当数いました。使い慣れない道具や利き手に合わない道具の使用による事故が多く発生しました。目的にあった道具を正しく扱えるよう、オノ・ナタ等を用いた薪割りの実技を事前訓練で徹底しましょう(本誌24~25頁参照)。



基本献立 開催地である静岡県の特産品を取り入れながら、栄養のバランスや環境、安心安全等に配慮して献立を検討しました。夕食には、調理の充実感を高めるために調理食材を増やし、昼食時には調理不要の携行食を配給する他、日々の活動に応じてレトルト食材や調理食材を組み合わせています。

8月5日の朝食は、「スカウト平和の日」の一環の活動として、食を通じて飢餓で苦しむ国の子どもたちについて考える「トウモロコシプロジェクト」を実施します。トウモロコシの粉を各隊の創意工夫により、おいしい野外料理の主食に変身させてください。

〈基本献立表〉 食材の仕入れ状況により、変更になることがあります。

日程	行事	朝食	昼食	夕食
8月1日(日)	到着・設営			【選択】牛丼・中華丼 お新香、味噌汁、プリン
8月2日(月)	開会式	ホットドック、果物 【選択】野菜ジュース・牛乳	おにぎり、魚肉ソーセージ お茶、お菓子	デミタマハンバーグ、目玉焼き キャベツ、マカロニサラダ ごはん、スープ、果物
8月3日(火)	プログラム	鮭塩焼き、オムレツ 味付け海苔、ごはん、味噌汁	ランチパック、デザート 【選択】アップルジュース・オレンジジュース	マーボー豆腐、浜松餃子※1 シュウマイ、ごはん、スープ デザート
8月4日(水)	プログラム	HLTサンド、卵スープ ヨーグルト	調理パン、デザート 【選択】アップルジュース・オレンジジュース	焼肉、焼野菜、ごはん わかめスープ、大学芋
8月5日(木)	スカウト平和の日 ジャンボリー大集会	トウモロコシプロジェクト トウモロコシの粉、豆 温野菜サラダ 【選択】野菜ジュース・牛乳	おにぎり、お菓子、お茶 【選択】魚肉ソーセージ・チーズかまぼこ	ビーフカレー、スパゲティサラダ シュークリーム
8月6日(金)	プログラム	イングリッシュマフィンサンド (ハンバーグ)、果物 【選択】野菜ジュース・牛乳	おにぎり、お菓子、お茶	パエリア、アスパラベーコン 温野菜サラダ、ドーナツ
8月7日(土)	プログラム	オムレツ、ソーセージ 味付け海苔、ごはん、味噌汁	ランチパック、フルーツゼリー 【選択】アップルジュース・オレンジジュース	富士宮焼きそば※2 アメリカンドック
8月8日(日)	閉会式	HLTサンド、コンソメスープ ヨーグルト	おにぎり、チーズかまぼこ お茶、お菓子	【選択】ハヤシライス・豚丼 お新香、温野菜サラダ 味噌汁、今川焼き
8月9日(月)	退場	調理パン、ヨーグルト 【選択】アップルジュース・オレンジジュース		

※ 波線の食材は、レトルトまたは調理済み真空包装で配給されます。

※ 【選択】の献立は、各隊に2種類の食材が配られ、参加者が嗜好に合わせて選択します。

※1 浜松餃子: 豚肉のコクとキャベツをたっぷりと使った甘味が特色で、薄い塩味で軽く茹でたモヤシを必ず添えます。お店により、タレやラー油にこだわりがあり、自らお店に赴いて、「お持ち帰り」が独特のスタイルです。

※2 富士宮やきそば: 腰のある麺、炒め油にラード、隠し味に肉かす、歯応えのよい地元産キャベツを使用し、削り粉をふりかけます。B級グルメの全国大会「B1グランプリ」2年連続チャンピオンです。

※ 昼食で配給される携行食の「ランチパック」は、山崎製パン(株)の製品名です。

■サブキャンプの設備

水・生活雑排水

炊事やトイレ、シャワーなどで使用する大会の「水」は、富士山の伏流水を水源とする深井戸から、仮設水道で各サブキャンプまで配られます。

15NJでは、生活雑排水を土壤浸透させないよう、シャワーで排出される汚水だけでなく、各サブキャンプの水汲み場に隣接して雑排水処理の汚水槽・設備を設け、汚水をろ過処理します。炊事など各隊で排出した汚水も汚水槽に運び、ろ過します。

「無自覚に地面に水を流さない」というマナーはもちろん、それ以前に「水を汚さない」という参加者一人ひとりの意識が欠かせません。炊事、洗濯、洗面、シャワーなどキャンプ生活にも汚水を発生させることはたくさんありますが、できるだけ水を汚さない工夫を考えてみてください。

ポイントは「排水を①少なく、②汚さず、③流さない」こと。

トイレ

各サブキャンプには、汲み取り式の仮設トイレを設置します。水洗式のトイレが普通となった現在、汲み取り式トイレには不便を感じるかもしれません。生活環境の変化に慣れ、食事や排便など普段のリズムで生活できることが毎日の健康管理につながります。また、次に利用することの人を思い、きれいに利用することや、利用者自身によるこまめな清掃を心掛けましょう。

シャワー

各サブキャンプには、仮設のシャワー設備と洗面所を設置します。使用する水や汚水を抑制するため、各シャワーには節水式のカランを使用します。一人ひとりが節水に心がけるとともに、より多くの参加者が利用できるよう短時間で入浴しましょう。また、成人はスカウトと時間帯を分けて利用します。シャワー利用後に、衣類や洗面用具等の忘れ物チェックもしっかりと行いましょう。

洗剤

食器や洗濯をする時に使用する洗剤は、できるだけ石鹼やバイオ洗剤を使用してください。合成界面活性剤の多く入っている化学洗剤は洗浄能力が高いですが、自然界での分解に問題が残り、また、それが自然界の環境ルールを乱す原因と考えられています。いろいろな考え方があり、石鹼もよくないという意見もありますが、二千年以上にわたり使われてきた実績もあり、やはり石鹼の安全性が高いという考えには一理あります。

ジャンボリーは環境を考え、環境プログラムを展開する絶好の機会です。細かな部分にも目配り、気配りをしましょう。

ごみ

大会期間中に出るごみは、各隊サイトで富士宮市の分別に従い、各サブキャンプに設置された集積場に集めます。確実な分別と少量化をはかりましょう。

- ①可燃物：生ごみ、紙くず、木くず、プラスチック製品、衣類等
- ②不燃物：金属ゴミ、傘、異物が入った缶・びん、調味料等汚れのひどいびん、割れたびん、ガラス類
- ③リサイクル：①空缶：飲料の缶、スプレー缶、カセットボンベ等 ②空びん（透明と色付きに2分別）：飲料・調味料等のびん ③ペットボトル

■15NJの歌

「でっかく 羽ばたけ！」完成！

3月20日(土)に大会公式ホームページ上に15NJの歌(曲・歌詞・楽譜)を掲載しました。また、3月下旬に県連盟を通じて各派遣隊へ、CDを配付しています。

今回の大会ソングは、日本語歌詞の「でっかく 羽ばたけ！」とともに、英語歌詞バージョンである「TO FLY」があります。「曲のダウンロードなどに関するお願い」をお読みいただき、ご了解いただいたうえでダウンロードして、ご活用ください。

■会場へのアクセス



○定期路線バス(快速バス) 時刻表改定について

本誌3月号でご案内した定期路線バス(快速バス)のダイヤが平成22年4月に改正になりました。新しい時刻表は、ホームページをご参照ください。

○高速バスによるアクセス

●富士宮～東京線＜ヤキソバ EXPRESS＞

東京駅八重洲口～富士宮市内間を平日5便、土日祝日6便運行、7月29日～8月9日はこのうちの4本が大会会場まで路線を延長して運行されます。

東京駅からの運賃は、大人片道3,000円・大人往復5,600円(乗車日を含め7日間以内の利用)、座席は全席指定です。発車オーライネット(<http://www.j-bus.co.jp/web/index.html>)にてご予約ください。受付期間は乗車日1か月前より7月25日までとなります。

●ヤキソバ EXPRESS の他、横浜駅・羽田空港、成田空港、大阪駅・京都駅方面から富士市、富士宮市方面への高速バス、新宿駅から河口湖方面などへの高速バスが運行されています。

○大会会場行き臨時バスの運行

7月29日～8月9日に限り大会会場行き臨時バスが新富士駅～富士宮駅～大会会場間で1日3便運行されます。運行時刻、運行区間、料金は、ホームページをご覧ください。事前予約が必要ですので、ホームページのチェックをお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。

第十五回日本ジャンボリーの歌
でっかく羽ばたけ！(あさぎり)
/ TO FLY (F.I.Y.)

あさぎり 2010
15th NIPPON JAMBOREE

JASPER
R-1030165

NEVER
ボイスカウト日本連盟

け羽で うばが たく

作詞 chidori
作曲 樋口康雄
編曲 寺田鉄生

焚き火と薪

春から夏にかけて新緑のこの季節は、野外のキャンプを楽しむにとてもよい季節なのだ。

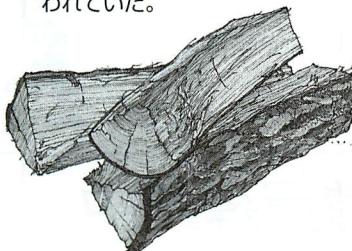
若草色に光る葉の下、幾人かの仲の良い友だちと、小さな焚き火を熾しながらお湯を沸かし、温かい飲み物や軽い食事の数々を作り、分け合いながらながらつまみ食いする楽しさには、もってこいの季節だ。

キャンプでは、ナニは無くとも「焚き火」だけは必要である。それは、太古から、野外で「火」とともに生き続けてきた、わたしたち人間の培ってきた「本能」のような気がする。

みんなで、近くの森を散歩しながら、雪の重みで朽ち折れた灌木や枯れ枝を集め、薪を確保して、調理の火と雨や夜の寒さに備える。

森を歩くことで、美しい色の見知らぬ花々、初めて見る昆虫や鳥類の数々、逆光に光輝く若葉の黄緑色などなど、初めて見る多種多様な命の輝き、その美しさに出会うことだろう。

「森は、そこを歩き、見、驚き、考える者を、哲学者に変える」と、古代ギリシャではいわれていた。



小枝を拾い集め、小さな「火」を起こし、その火を育てながら、調理のできる「焚き火」へと小さな薪をくべ足してゆく。肌寒い暮れなずむ森の薄暗さの中に、オレンジ色の暖かな炎が立ち上がり、みんなの手のひらとホッペタにその温もりが染み込んでゆく。そしてみんなの笑顔とともにキャンプサイトがオレンジ色に染まってゆく。

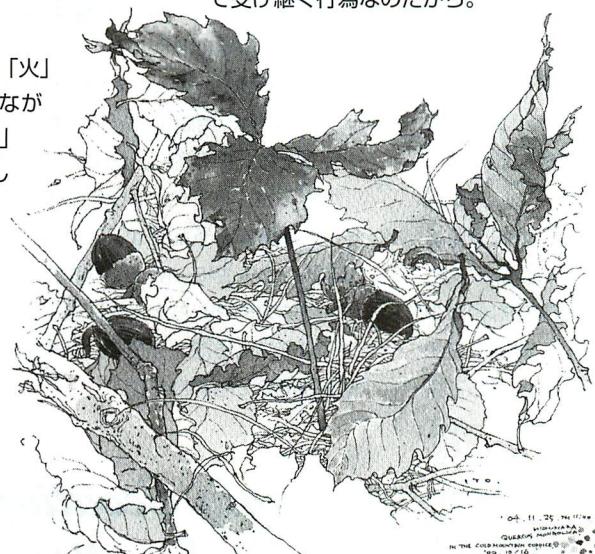
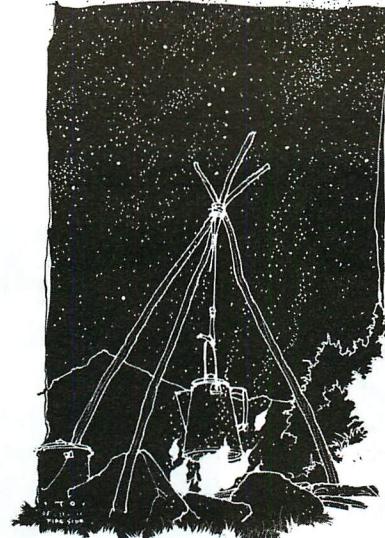


イラスト & 文：伊東孝志

いとうたかし／南海の無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する奄美大島生まれの小学48年生。ヤドカリ君を人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として古今東西南北の日々を漂流する。

多くの雑誌・書籍編集およびアートディレクション/デザインの世界にて30年の永きを駆け抜け、信州の山里にてガスと洗剤を使わない薪ストーブ生活を3年間過ごした後、現在は奄美・沖縄→東京を拠点に、アウトドアライフおよびシーカヤックやサバニ(琉球の手漕ぎ帆走古舟)による海旅をとおしての絵画および執筆作品作りに専念している。目指すは、2本マストのヤンバル船(マーラン船)の復元、その大航海の旅。

●伊東孝志オフィシャルサイト：<http://rakugaki.b.station50.biglobe.ne.jp/>

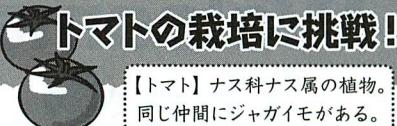


そうそう、ここで気づいたことなんだけど、小さな「焚き火」は、肩を寄せ合うほど、みんなを自然と近づけるけど、大きな「炎」は、みんなを自然と遠ざけるよね。「焚き火」は、小さいほどいい感じがするよ。

いくつかの焚き火を重ね、多くの木々と触れ合い、いくつかの木々を「薪」として燃やし、炎や火の明るさ、その温もりのありがたさに実感をとおして気づいたとき、わたしたちは、森や木々の大切さと尊さを思い、命の根源である多くの植物の数々に、畏敬の念を抱かずにはいられないのだ。なぜなら「焚き火」とは、小さな一つの実に始まった、水と太陽の光、そして大地と大気の織りなす、長い時間に育まれ築きあげられた樹木の生命エネルギーを、わたしたちが燃やすことで「炎」というエネルギーに置き替え、それをわたしたち人間が、生きてゆくための次なる生命エネルギーとして受け継ぐ行為なのだから。

栽培して学ぼう

プランターで
夏野菜を栽培しよう!



【トマト】ナス科ナス属の植物。
同じ仲間にジャガイモがある。

栽培する時の注意点

直射日光や曇り夜の温度差を好み、乾燥に強い。高温多湿では病気になりやすいため、雨よけが必要だ。5月に入ってから土に植えると、うまく育ちやすく、だいたい7月ごろにはおいしく食べられる。

栽培方法

①園芸店などでトマトの苗を入手。プランターに入れた培養土に穴を開けて苗を植え、苗の周囲の土を軽く押さえる。支柱を立て、苗をヒモで軽く結びつける。苗の成長を考慮して、苗を植えすぎないようにする。



②苗が成長したら、支柱を高さ150~180cm位のものにする。苗の先を成長に合わせてヒモで結び、茎と葉の間から出る「わき芽」を手で摘む(「わき芽」を摘むと、花やトマトに栄養がまわる)。わき芽摘みは栽培の最後まで続ける。また、この時から2週間に1度、追肥するとよい。



③最初の花が咲いたら中心がめしべら受粉させる。花をトンと軽くたたいたり、綿棒などでおしべの花粉をそっと取り、トマトの花めしべに軽くつけると受粉しやすい。咲いた花すべてを大きなトマトにするのは難しいため、房の先端の方の花は、はさみや手で摘む。3個ほど残しておくと、数は少ないが、実の大きなトマトになる。



④実の上の方に少し緑色を残し、全体が赤く色づいたらよいよ収穫だ。実を持ってはさみで柄を切るか、そっとトマトを回すときれいに収穫できる。

トマトとバジリコの不思議な関係

トマトとバジリコ、一緒に育てるどうなる?

トマトとバジリコと一緒に育てると、防虫効果や成長促進等、様々な効果が期待できると言われている。このような組み合わせをコンパニオンプランツという。



ウェルカム・ザ・ワールド キット5公開



「ウェルカム・ザ・ワールド」プロジェクト、皆さんの団・地区ではすでに取り組んでいただいているか？ 3月号でも取り組みの一部を紹介しましたが、次第に様々な取り組みの様子や準備の報告が届くようになってきました。

しかし一方で、「普段の活動に国際的なプログラムを取り入れるのにはハードルが高い」という声も多くいただきます。そこで、簡単な準備で実施できる国際的なプログラムのアイデアを掲載した「ウェルカム・ザ・ワールドキット5」を作成・公開しました。

今回のキット5では10分程度でできる簡単なゲームのアイデアが掲載されています。例としている国の内容から、ウェルカム・ザ・ワールドの担当国など、取り上げたい国の内容に変えれば簡単に実施できるプログラムばかりですから、ぜひ集会の導入や雨天時のプログラムなどとして活用いただければと思います。

ウェルカム・ザ・ワールドキットは「ウェルカム・ザ・ワールド」プロジェクト専用ホームページからダウンロードできます。 <http://www.scout.or.jp/wtw/>



第22回世界スカウトジャンボリー派遣員募集中

2015年には山口県きらら浜で第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)が開催される予定ですが、来年、2011年の夏には第22回世界スカウトジャンボリー(22WSJ)がスウェーデンで開催されます。現在、この22WSJに参加する派遣員を募集しています。

22WSJは、「シンプリー スカウティング」をテーマに、環境など地球的規模の課題について考える「地球開発村」、地域の環境問題などに向き合うために必要な理科的要素を学ぶ「地球」、文化や民族に直に触れ合い考えることができる「人々」、精神的な側面やスカウト運動の実践的な側面を生かした「夢」、そして班全員で一丸となって取り組みコミュニケーション力や問題解決力、そして協調性を身につける「探求」という、5つのプログラムモジュールが

展開される予定です。

また、今回の世界スカウトジャンボリーでは、「キャンプ・イン・キャンプ」という、期間中に周辺の森へ出かけて地元のスカウトたちと一緒に一夜をともにするプログラムも予定されています。

世界スカウトジャンボリーには世界中の160の国と地域から約3万人が集まる予定です。スカウトとして参加できるのは年齢制限があるため一生に一度きりの機会。

世界中の仲間たちとともに過ごす約2週間のキャンプ生活は一生の想い出になるだけでなく、世界を身近に知ることのできる非常に貴重な機会でもあります。



22nd World Scout Jamboree Sweden 2011
22^{ème} Jamboree Scout Mondial Suède 2011

<http://www.worldscoutjamboree.se/>

*Simply Scouting
Simplement du Scoutisme*





空を見る

-紫外線から身を守るために-

気象庁地球環境・海洋部

環境気象管理官付

オゾン層情報センター オゾン層解析係長

桜井 敏之

気象庁 マスコット
キャラクター
はれるん

「ウェルカム・ザ・ワールド」プロジェクト

国際活動サービスチーム員募集



海外派遣国際交流事業の充実、様々な国際行事の運営に役立つ人材育成と組織作りを目的に、日本連盟では平成19年度より、国際委員会の下に「国際活動サービスチーム」を編成しています。この国際活動サービスチームの活動に参加してくださる方を募集しています。

奉仕内容としては主に、外国スカウトが招聘事業や主催大会等で訪日した際の各地訪問同行や案内、空港送迎等を行う「外国スカウト案内」の活動、国内におけるフォーラムやセミナーの実施、あるいは海外派遣事業準備への支援といった「国際交流事業への協力」、世界機構などからの英文資料等の「翻訳」が上げられます。詳しくは日本連盟ホームページの国際交流のページをご参照ください。

なお、奉仕を希望される方はお手数ですが、日本連盟ホームページの国際交流のページ等から申込書を入手いただき、所属県連盟を通じてお申し込みください。



募集の概要

参加者の対象は、1993(平成5)年7月25日から1997(平成9)年7月27日までに生まれ、かつ、2009(平成21)年度から継続して登録しているスカウトです。なお、原則として応募時点において、ボーイスカウトは1級以上、ベンチャースカウトはベンチャー章(またはボーイ時に1級)以上を取得しているスカウトが対象となります。

また、これより上の年齢のスカウト・指導者の方は、国際サービスチーム(IST)のチーム員として、あるいは参加隊指導者(20歳以上)として参加することができます。ISTは大会の運営に必要なサポートを行うメンバーであり、活動に必要な最低限度の英語、あるいはフランス語の能力が必要になります。



22WSJ 大会概要

■テーマ

「シンプリー スカウティング」

“Simply Scouting”

■会場

スウェーデン王国スコーネ県

クリスチャンストード市郊外 リンカビ地区

■派遣期間

【参加隊】2011(平成23)年 7月26日(火)～8月10日(水) 16日間

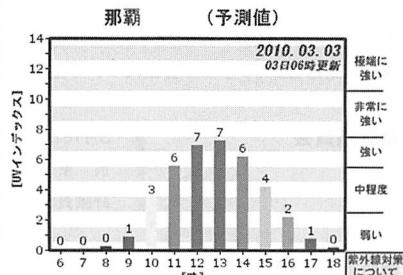
【IST】 2011(平成23)年 7月24日(日)～8月11日(木) 19日間

※航空便の事情により1日前後することがある

夏に屋外で遊んだ後、肌が赤くなつて痛んだ日焼けの経験はないでしょうか。これは日光に含まれる紫外線を浴びすぎて、皮膚が炎症を起こしたためです。紫外線を長い間浴び続けると皮膚がんや白内障などを発症する危険性が高くなることが指摘されており、野外活動の際には紫外線対策を行うことが重要です。

紫外線の強さに応じた上手な紫外線対策に役立つよう、気象庁では、当

から翌日までの1時間ごとの紫外線の強さを予測し、UVインデックスとして気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/jp/uv/>)で公開しています。UVインデックスとは紫外線が人体に及ぼす影響の度合いを指標化したもので、予測値の他にも、国内3か所の紫外線観測値や、過去の紫外線の強さの全国分布図などを気象庁ホームページで見ることができます。



国内で紫外線が最も強くなる時期は7～8月頃ですが、晴れの日であれば5月から9月頃までは非常に強い紫外線が降り注ぐことがあります。野外活動を行う前に紫外線情報をチェックして、日焼け止めやサングラスの利用、肌をおおう服装をするなどの紫外線対策の検討に役立ててください。なお、標高の高い山岳地域や雪の上などでは、紫外線情報の予測よりも紫外線が強くなる場合がありますので、登山や春スキーなどを行う際には、より入念な紫外線対策が必要です。



WEB版で少し詳しい情報、気象庁の各種情報サイトへのリンクなど掲載。ぜひチェックしてください!

日本連盟情報 May 2010

■プログラム委員会

2月13日（土）13:00～14日（日）11:00

於 東京・ボーイスカウト会館 上道委員長他7人出席
 平成21年度の事業評価と次期委員会への引き継ぎ事項、VS部門プログラムのBS部門との一貫性、継続性を考慮した一体化の改善についての研究開発、平成21年度富士章受章スカウト代表表敬、平成22年度第18回全国スカウトフォーラム、平成22年度スカウトの日、教育規程案の検討について協議しました。

■広報委員会

2月13日（土）13:00～14日（日）11:00

於 東京・ボーイスカウト会館 有野委員長他4人出席
 平成21年度の事業評価と次期委員会への引き継ぎ事項、「スカウティング」誌平成22年度年間企画、「スカウティング」誌中期企画、平成22年度全国大会テーマ別集会、「ブランドマニュアル」の作成について協議しました。

■安全委員会

2月13日（土）13:00～14日（日）10:30

於 東京・ボーイスカウト会館 南委員長他4人出席
 担当事業の取りまとめ、検討課題の取りまとめ、今年度の委員会の評価・反省、次年度への申し送り事業・検討課題について協議しました。

■国際委員会

2月13日（土）13:00～14日（日）11:00

於 東京・ボーイスカウト会館 中野委員長他5人出席
 平成21年度事業報告書国際関係原稿の取りまとめと事業評価、平成21年下期国際関係事業への取り組み、平成22年度国際委員会への申し送り事項、平成22年度国際関係事業計画、今後の国際協力プロジェクト、世界に通用する人材の確保について協議しました。

■会員拡大タスクフォース

2月13日（土）13:00～14日（日）11:00

於 東京・ボーイスカウト会館 中橋委員長他3人出席
 アウトドアチャレンジ事業への協力他について協議しました。

■教育本部会議

2月14日（日）13:00～16:30

於 東京・ボーイスカウト会館
 井上教育本部コミッショナー他17人出席、2人参席

新公益法人移行に伴う教育規程の制定、日本連盟医療チームワッペンの着用、ベンチャー2009の決算、平成22年度への教育本部関係申し送り事項、文部科学省「青少年体験活動総合プラン」への参画について協議しました。

■評議員会

3月18日（木）13:30～16:15

於 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
 評議員51人出席、10人参席

■理事会

3月25日（木）13:30～16:15

於 東京・尚友会館
 橋本理事長他理事18人、監事1人出席

平成22年度事業計画、平成22年収支予算、新公益法人移行に伴う教育規程の制定、新公益法人移行に伴う「感謝・表彰規程」の対応について協議しました。

■23WSJ準備委員会・JMT・JCT合同会議

3月20日（土）13:00～17:00

於 山口・ボーイスカウト山口県連盟事務局
 市川委員長他9人、中野JMTチアマン他JMT3人、
 鈴木国際コミッショナー他JCT5人出席

準備状況、23WSJおよびブレジンボリーの参加費設定と予算案・アウトライン、今後の取り組みと検討課題他について協議しました。

JMT: ジャンボリー・マネージメントチーム/JCT: ジャンボリー・コアチーム

■トレーニング委員会

3月27日（土）13:00～28日（日）11:00

於 東京・ボーイスカウト会館 戸部委員長他4人出席

平成21年度事業評価、次期委員会への申し送り、平成22年度事業について協議しました。

③月末までの会議・研修など**2月1日（月）**

■傷害共済運営委員会（第21回）

■平成21年度日米・日韓スカウト交歓計画実行委員会（第3回）

2月3日（水）～15日（月）

■アラブ地域・第4回国際ユースギャザリング（19頁に関連記事）

2月5日（金）～14日（日）

■平成21年度日米スカウト交歓計画（19頁に関連記事）

2月6日（土）

■VS・BS部門プログラム改定タスクチーム会議（第3回）

■23WSJ準備委員会・JMT・JCT予算検討会議

2月6日（土）～7日（日）

■平成21年度日米スカウトフォーラム

2月7日（日）

■15NJゲストサービス専門部会（第3回）

2月11日（木）

■15NJ大会本部要員サービス専門部会（第5回）

2月13日（土）

■アウトドアチャレンジ運営協議会（第4回）

■平成21年度トレーナー選考委員会

2月13日（土）～14日（日）

◀プログラム委員会／広報委員会／安全委員会／国際委員会／会員拡大タスクフォース（すべて第4回）

2月14日（日）

◀教育本部会議

2月20日（土）

■15NJプログラム専門部会（第5回）

2月21日（日）

■15NJ配給専門部会（第4回）

2月23日（火）～3月7日（日）

■平成21年度アジア太平洋提携プロジェクト（バングラデシュ）派遣

2月27日（土）～28日（日）

■15NJサブキャンプサービス専門部会（第2回）

2月27日（土）～4月4日（日）

■平成21年度スカウト・オーストラリア短期留学（学習旅行）派遣

3月7日（月）

■安全促進フォーラム（第6回・石川会場）

■15NJ全体行事専門部会（第6回）

■15NJ正副実行委員長会議（第6回）

■新任副リーダートレーナー研修会（東会場・西会場）

3月13日（土）

■教育本部常任会議

3月14日（日）

■23WSJ・JCT会議（第1回）

■平成21年度国際活動サービスチーム集会

3月18日（木）

◀評議員会（第3回）

3月20日（土）

◀23WSJ準備委員会・JMT・JCT合同会議（第2回）

■平成22年度全国大会実行委員会（第3回）

3月21日（日）

■15NJ配給専門部会（第5回）

3月21日（日）～22日（月）

■15NJ施設・資材専門部会（第2回）

3月25日（木）

◀理事会（第3回）

3月27日（土）～28日（日）

◀トレーニング委員会（第4回）

3月28日（日）

■中央名誉会議（第2回）

そなえよつねに

宗教關係代表者會議
土山 和雅

本誌3月号にスカウト章の説明が掲載されていました。今さらの感がないわけではありませんが、スカウティングの本質を忘れ、一般の方が行っているオートキャンプのようなキャンピングを行っているスカウターが現に存在していると聞きます。そんな自戒をこめて「そなえよつねに -Be Prepared-」の原点を見直すことが肝要です。

スカウト精神の原点が「そなえよつねに」にあることは「ちかい」をたてたスカウトなら誰でも知っていることです。このスカウトのモットーは短い言葉ですが「つねにそなえよ」ではなく「そなえ」が先にあることに深い意味と精神（こころ）が宿っていることに気づいていきたいと思います。

「そなえよ」というと、何にそなえるのか、何をそなえるのかの二通りのとらえ方があります。スカウトの場合、台風とか地震とかの災害にそなえることでなく、もちろんそれもありますが、信仰をもてる人間としてあらゆることにそなえていくことと受け止めねばなりませんし、先達の中村知先生は指導書の中で“役立てつねに”と考えたら良いと指導されています。これは、「いつも他人々を助けます」から出発して、おきての「親切である」「感謝の心をもつ」につながるこころの在り方を理解するのにわかりやすい受け止め方だと思います。

あらゆることにそなえるためには何をそなえなければならないか、それは、こころと体の健康をそなえながら、いろいろな技術を身につけることです。

スカウティングの進級・進歩制度（バッジシステム）には、世の中のあらゆる事に対してつねに自分自身が役立つことができるよう、年齢に応じた技術を身につけることが、プログラミングされています。

お駕迎様は、人の歩む道としてハレラビド（次の機会に述べます）を説かれました。スカウトのハつのおきてを重ね合わせて実践することにより「そなえよつねに」が輝くスカウティングになると思います。

維持会員（敬称略） 2010年1月度・2月度

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方々です。

ご支援ありがとうございます

[北海道]	[神奈川]	上 村 進
吉田 源彦	佐藤 安弘	高橋 周一
渡邊 伸夫	南雲 則雄	今井 浩二
BS帯広7育成会	熊谷 康治	新潟駐車場(株)
B S 羽幌 2	浜田 雅弘	笛菊 薬品(株)
B S 札幌 12	岩壁 孝夫	(株)ホルオーラ新潟
[岩手]	川合 逸平	[石川]
千田 庄寿	安部 伸也	中 出 修
[宮城]	河合 武夫	[福井]
安達 清守	三橋 佳子	岩堀 嘉和
[秋田]	[東京]	日々 今村百子
坂本 賢生	中島 静香	田中 廣昌
B S 秋田 19	辻村 真知子	佐藤 博
[福島]	田尻 紀夫	大脇 阳次
増子 恵二	幸田 雅夫	駒野 與説
[茨城]	大野 茂	清水 一成
佐藤 一郎	赤星 龍寛	加藤 隆
[群馬]	守安 信介	安藤 彰彦
江原 一郎	[新潟]	[長野]
[埼玉]	樋口 政文	林 敬順
三日月 勝三	金澤 理久夫	瀬野 義隆
高橋 義雄	山田 梢治	大脇 博
猪山 吉徳	高野 雅	田中 廣昌
[千葉]	関川 憲司	佐藤 陽次
根本 孝英	土田 高義	大脇 博
閔口 陽市	渡辺 誠	平田 新二
花田 健二	宇野 明子	坂口 隆
西出 功	西山 好英	遠藤 一美
	坂上 洋司	遠藤 克己
		岡村 誠子

[京都]	久 富 真	[徳島]
遠藤 真弓	長谷川 繡二	天羽クリニック
蒲生 健司	國友 政治	[香川]
渡辺 義昌	戸田 篤	川勝 賢一
大山 正行	奥田 実	宮野 義久
川田 基弘	福田 長治	余土 B S
[静岡]	[兵庫]	今城 英一
長澤 實	武貞 健治	[奈良]
榛村 賢治	牧野 保	[佐賀]
杉本 忠重	永広 逸子	中島 来
[愛媛]	岩井 均	[長崎]
[和歌山]	[長崎]	高見 英明
林 敬順	谷口 善志郎	[熊本]
瀬野 義隆	森下 石油(株)	千歳 忠尋
大脇 博	[大阪]	[宮崎]
佐藤 陽次	岸 智	新坂 勇介
澤田 清	丸 谷 登	河野 一平
岡谷 綱機(株)	櫻本 照子	村川 保訓
[三重]	高見 篤志郎	[沖縄]
樋山 己佐雄	福室 忠正	西銘 恒三郎
小池 幸夫	土井 靖士	[日本]
鯵澤 優	膳師 功	北白川 道久
中道 宏	BS尾張中地区	玉水スカウト
寺尾 岩次	B S 豊中 16	守口 隆雄
岩崎 雄	[岡山]	林 康兵
服部 久司	笛木 久雄	白井 菲子
小石川 巧史	板野 元次	妹尾 義春
[広島]	小石川 巧史	松田 美歌
猪野 明雄	[広島]	(株)ユースエス
B S 鈴鹿 7	第一企画印刷(株)	トップツア(株)
[岐阜]	鶴永 博文	
[滋賀]		
[山口]		
谷口 岩人		
岡村 誠子		



今月末、平成22年度全国大会開催!!

5月29日（土）～30日（日）、静岡市にて平成22年度全国大会が開催されます。公益財団法人になって最初の全国大会になります。参加申込はすでに締め切っていますが、ツインメッセ静岡にて開催される“スカウティングエキスポ”は、事前申し込みなしで当日会場にいらしていただければ、どなたでも無料で入場することができます。(株)タミヤや(株)バンダイなど企業による出展、静岡県の名産品コーナー、ボーイスカウト静岡県連盟によるスタンプラリーやウッドクラフトコーナー、世界のスカウト切手展等、様々な展示・体験コーナーを予定しています。

ぜひ、ご家族連れて、地域の方々と皆様お誘いあわせのうえご来場ください。



ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ……地区
- ……都道府県連盟
- ◇ ……その他



愛知 ■祝 愛知連盟創立60周年 ～各種記念事業の実施～

愛知連盟事務局長 浅井 裕己

愛知連盟創立60周年を迎えた平成21年度は、年間を通じて様々な記念事業が展開されました。県内に23ある各地区では、創立60周年を祝うビーバー、カブ、スカウトラリー等の記念事業が実施されました。

県連盟による記念事業も企画され、なかでも21年8月5日から10日に新城吉川野営場にて行われた1,400人参加（内、外国スカウト5か国140人）による「第17回愛知連盟野営大会」は、県下のボーイ隊が一堂に会し、5泊6日の野営生活を楽しみました。参加スカウトは、日常の班活動での成果を発表する場として、様々なプログラムへ果敢に挑戦し、期間中に手にすることのできる課題達成の証「アウルプラウス」を取得していました。

平成22年2月21日には、ガールスカウト愛知県支部と「世界友情の日の集い」を共同開催し、於保信義氏の講演をはじめとし、ユース年代のスカウトおよび成人指導者の交流を図りました。

そして、記念事業の締めくくりとして計画された「第2回愛知ベンチャースカウト大会」を、3月20日から23日に岐阜県荘川高原にて開催し、雨や風、吹雪など刻々と変わる天候に対応しながら、3泊4日の雪上野営生活を楽しみました。

大会運営は、ユース担当指導者を中心にローバースカウトで行われ、ベンチャースカウトおよび成人指導者総勢200人が参加しました（写真はいずれもベンチャード大会の模様）。

参加スカウトは、大会前より活動チームを編成し、事前提供された情報をもとに様々な準備・訓練を経て、大会期間中は雪上での生活をベースとして、一色の森キャンプ場でのスノーモービルライディング、雪洞・イグルー作り、地元の方の指導によるソバ打ちや間伐体験、愛知連盟荘川野営場でのスノーシュートレッキングなどに挑戦しました。

平成21年度は、愛知連盟における年間受章者数の最多となる23人のベンチャースカウトが富士章を取得し、愛知連盟創立60周年記念に華を添える形となり、ベンチャー・ローバー年代を中心としたユーススカウティングの更なる活躍に期待が高まっています。

山形 ■ 10年ぶりの新隊員

山形県連盟事務局長 野村 正博

山口県・埼玉県で活動してきた山田裕司さんが、山形に移り住んでボーイスカウトの姿を見かけないことを残念に思い、「なんとかしない」という思いから、近隣のすべての小学校を回るなど努力して、団の再興に奮起しています。

**10年ぶりの新隊員
募金協力呼び掛け**

最上地域のボーイスカウト

最上地域のボーイスカウト

山形第11団（本部・新庄市、柴田忠志団委員長）の隊員2人が6日、新庄市内のスーパーで街頭募金を行った。これが10年ぶりの活動休止状態だったが、このたび井上拓斗君（左）が、このたび新規に加入した。同山形第11団は、新庄市内のスーパーで街頭募金を行った。見つけた兄弟が入団。来春から

（43-12）52279。

募金を呼び掛ける新隊員の菅

心君（右）と井上拓斗君（左）

新庄市

山形新聞 (2009.12.10)

東京 ◇ハイチ募金

小平第5団 ボーイ隊隊長 内野 修次

1月12日にハイチ共和国を襲った大地震について、その事態の大きさに強い関心をいただき、復興の協力をできないかとスカウトたちと考えました。

まずはハイチってどんな国? どこにあるの? と図書館に行って調べた結果、大きな産業もない、決して豊かとはいえない国だとわかりました。

なんとかしたい、その思いから2月に予定されていた活動をキャンセルして街頭で義援金を募ることに。当初は集まるか不安でしたが、市民の関心の高さから予想をはるかに超える義援金が集まりました。

そのお金をスカウトたちと一緒に集計しました。スカウトたちからは「すげえー!」「おもーい!」などの声が上がりました。彼らに「それが人の心の重さだよ!」と声をかけたら、義援金を前にして誇らしげでした。

その義援金を直接ハイチの人に手渡したいとの思いからハイチ大使館に連絡を取りましたら、ぜひとも子どもたちと会いたいと駐日大使から回答がありました。

春休みを待って、大使館へ行きました。

スカウトたちは大使館に入るには初めてどころか外国人と話すのも初めて。出迎えてくれたのは大使のジャン・クロード・ボードさんで、ご自身も子どものころスカウト経験があり、

気さくな中にも「敬礼はちゃんとしなさい、しっかりと気をつけをする!」などスカウトに指導する厳しい面も持ち合わせた方でした。

ハイチの現状を語っていただき、また一日も早い復興を約束してくれました。玄関から何度も何度も手をふってくれた大使に感激しながら帰路につきました。

この活動を通じていろいろな心と触れることができ、スカウトたちにも将来きっと役立つ経験をもたらすことができました。



平成21年度日韓スカウト交歓計画実施報告



1月9日(土)～18日(月)、韓国連盟よりスカウト132人、指導者21人の合計153人が来日し、日韓スカウトフォーラム、都内見学、ウィンタースポーツプログラム、京都見学、ホームステイ等を実施しました。

平成21年度日米スカウト交歓計画実施報告

2月5日(金)～14日(日)、アメリカ連盟よりスカウト32人、指導者7人の合計39人が来日し、日米スカウトフォーラム、都内・鎌倉・熱海・富士箱根見学、文部科学省表敬訪問、ホームステイ等を実施しました。



PC 日程やフォーラム決議等、詳細はホームページをご覧ください。

日本 ◇アラブスカウト地域

ユースギャザリングに参加して

福岡第18団ローバー隊
明治大学ローバースカウト部 財部 憲治



用を足した後は「左手でお尻を拭く」という手荒い洗礼受け、始まったアラブ地域ユースギャザリング。80か国130人のスカウトが一堂に会し、あっという間の2週間。砂漠の中でのキャンプ生活は、1日の気温差20度以上という環境との闘いででした。会議での知的戦略の発表、砂漠の中でクルージング、ブルジュハリファ（ドバイにある世界一高いタワー）、すべてが新しい発見、体験。やはり世界は広い。日本のスカウトも、どんどん世界に出てぜひ体験してほしいなと思いました。



福井 □ 敦賀市のスカウトが港の森づくり

敦賀スカウト連絡協議会 顧問 古市 謙三

敦賀市内のボーイスカウト、ガールスカウトは、11月16日、新しく整備された新敦賀港の空き地に植樹をしました。

この植樹は、新敦賀港施設周辺を港の森にしようとするもので、平成21年を皮切りに毎年この時期に植樹をしようと長期計画で始められました。当初、福井県鯖江市の小学生を対象に森づくりの実践教育を行っているNPO法人「越の郷地球環境会議」のメンバーから働きかけがあり、スカウト活動の趣旨に合致することから共同実施することにしました。

当日は、曇り空に北風の吹きつける寒さ厳しい一日となりましたが、スカウトたちは防寒具を身にまとい、元気に参加してくれました。開始にあたって、港を管理する福井県港湾管理事務所の所長さんから挨拶があり、続いて「越の郷地球環境会議」



の方から植樹の仕方について説明を受けました。苗木は、今回はNPOの方が3年育成したものを植樹することになりましたが、次回以降は自分たちの育てた苗木を植えなければなりません。そこで、ボーイ隊を中心とする植樹班とビーバー、カブ隊によるどんぐり等の種や発芽した苗などを採取する班に分かれて活動することにしました。植樹班は、苗植えつけ、土掛け、寸法測り、名札つけ、記録等、息つく間もない忙しさでした。また、採取班も近くの山の中に入り、種や苗木を探すのですが、なかなか見つからず、思ったより長い時間を要しました。しかし、スカウトたちには初めての経験もあり、寒さも忘れての大ハッスルでした。植樹班のボーイ隊は、植樹終了後、港湾管理事務所の係官に導かれ、新しい港の見学会を行い、港湾設備の大きさに感動していました。苗木採取班の戻ったところで、全員でポットに種植えや苗木の植え替えを行い、来年の無事成長を願いながら、めいめい宝物のように大事に持ち帰りました。

スカウティングの 知っててちょっと良い話 No.5

日本連盟事務局長 吉田 俊仁

清規三事について

「日本のスカウト運動は後藤新平先生によって、スカウト教育は佐野常羽※先生によってその礎が築かれた」と三島通陽第4代総長が述べておられます。

3月号までは、後藤新平の“自治三訣”についてでしたが、5月号からはいよいよ佐野常羽の“清規三事”的話です。1925(大正14)年8月、山中道場(第2回指導者訓練所)が開設された時、指導者訓練の指導方針とされたのが、“清規三事”と題した「実践躬行、精究教理、道心堅固」です。

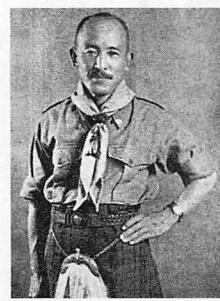


1925年、第2回指導者訓練所にて。中央が佐野常羽。

当と思うのは、「シンギ サンジ」です。禅宗では「シンギ」、広辞苑でも「シンギ」です。ただ、黄檗宗(おうばくしゅう)に限っては、お經で「チンキ」(シンギとは濁らない)と讀んでいます。また、「シンギ」と濁るのは禅の宗門特有の読みくせで、「規」は「キ」ですが「清」が上にくれば「シンギ」と濁ると臨済宗円覚寺派宗務本所が述べられています。ですから今後は、「清規三事」を「シ

ンギ サンジ」と読み方を統一してはと思います。

さて、「清規」の意味ですが、仏教大辞典では、「禪宗僧侶が集まって座禅する道場において起居動作等のことについての規則を云う。清らかな規則の意味である。」と記してあります。



スコットランドの服装をした佐野常羽。1926年ごろ。

佐野常羽は、なぜ「清規」の語をつかつたのでしょうか？ 情熱ある訓練コース入所生の求道の姿を禅僧になぞらえ、同様に実修体得の修行者であるべきこと表現されたのではないかと思います。現在、我々指導者は果たしてその気概を引き継いでいるでしょうか？

本気で佐野常羽が我々に訴えたかったことを、今、考えてみたいと思います。

(後藤新平の「自治三訣」につきまして、多数の方から温かいご意見を頂戴しました。この誌面をお借りして感謝を申し上げます。そして次の言葉が心に響いております。「清規三事も楽しみにしている」と。)

※さの・つねは(1871~1956) 伯爵、元海軍少将。日本人として初めてイギリス・ギルウェルの指導者トレーニングコースに参加。日本ボーイスカウトの指導者訓練の先駆者。1953年、日本連盟「長老」。

お知らせ：ビッグニュースです。佐野家のご好意で、ベーデン・パウエルから贈られた英國連盟最高の功労賞「シルバーウルフ章」(日本人では昭和天皇と佐野常羽の2人のみ)を、今月静岡で開催される全国大会で皆様にご披露することができます。ぜひ全国大会をご覧いただきたいと思います。

兵庫**□尼崎第25団初の菊スカウト誕生**

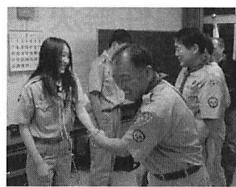
尼崎第25団 ボーイズ隊長 光造 久雄



しかし、正直のところ、第25団では、菊や富士は無理かなと勝手に限界を決めていた自分が去年までいました。そんな弱気な隊長のしりをスカウトのガバーラがたたいしてくれました。

面接での二人のスカウトの受け答えを聞いていて、ハンディを持った兄と一緒にゲストとして隊集会に参加していた二人の幼い顔を思い出し、成長したなあと涙が出そうでした。指導者をしていて、本当に良かったと思う瞬間でした。

面接の最後に将来何になりたいかとの質問に、一人は建築家、もう一人は薬剤師と間髪をあけずに答えていました。そして二人とも富士スカウトを目指しますと力強く答えていました。今度は、“ベンチャー富士かあ…夢はデッカク！ 頑張れよ！”とつぶやく隊長でした。



3月11日の地区菊スカウト面接会におきまして、第25団では初めての菊スカウトが二人誕生しました。

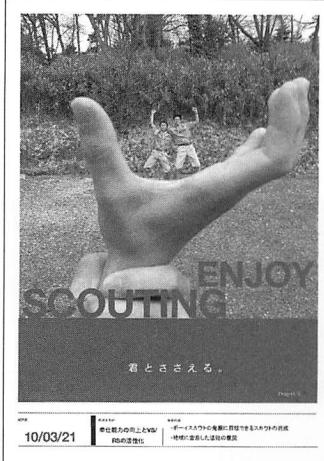
尼崎第25団は、心身に何らかの障がいをもったスカウトたちのために9年前に発団したまだ若い団です。ハンディをもつスカウトが32人とその兄弟スカウトが4人所属しています。団の構成上、ハンディをもつスカウト中心のプログラムを開設しつつ、兄弟スカウトのためのプログラムも展開してきました。

神奈川**■青年の意見を聞こう
発信する神奈川力**

Youth involvement decision making is promoted.
神奈川連盟理事 高森 茂範

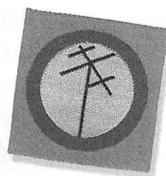
神奈川連盟では3月21日にローバーフォーラムを開催しました。他県連盟や海外からも（留学生）参加者があり、二日間じっくりと話し合いました。主催者からテーマの提案はなく、話が進んでいく中から、青年たちが今のスカウティングをどのような活動にしていくのかその「目指すもの」が見えてきたようです。詳しくは神奈川連盟ホームページをチェックしてください。

BS 神奈川 検索



10/03/21

広告

**スカウト活動にアマチュア無線！****無線通信章をとろう**

スカウト活動の様々な場面でアマチュア無線が役立ちます。

キャンプ大会、奉仕活動やオリエンテーリング等の野外活動には、アマチュア無線があればもっと時間を効率よく使うこともできます。

仲間や日本全国のアマチュア無線家と交信してお互いの交信証(QSLカード)を交換すれば、技能章「無線通信章」の獲得にも役立ちます。無線の知識がない初めての方でも2日間の受講でアマチュア無線の資格が取れる養成課程講習会「第4級標準コース」をお薦めします。



第4級標準コース

法規
6時間

+

無線工学
4時間

+

修了試験
1時間受講料等
22,750円

養成課程講習会に関する資料請求やご相談は、JARD養成部にお気軽にお問い合わせください。

JARD 財団法人 日本アマチュア無線振興協会 養成部
TEL 03-3910-7210 ☎170-8088
東京都豊島区巣鴨3-36-6 共同計画ビル

<http://www.jard.or.jp>

Voice 読者の声

3月号スカウティングについて

●表紙

◇宇宙飛行士の野口さんに、15NJのワッペンを持っていっていただいたことは、「青少年の皆さん、ジャンボリーで社会に羽ばたき世界のために役立つ人になる経験を積んでください」と励ましている写真だと思います。

●特集 スカウト・ユニフォーム

「象徴的枠組み」を考える

◇いま、緊急の問題ではない。もっと身近な問題を取り上げてほしい。

◇スカウト章の復習ができました。いろいろなスカウト制服の着方があることを知りました。

●元気団紹介 大阪・大阪第165団

◇学校が主体となってのスカウト活動。校長自らがこの運動に参加し積極的に他の教員も取り組んでいるとのこと、他校にも広げたいものですね。このような学校がたくさん増えると日本の青少年は、すばらしい社会人になることでしょう。



トピック

男児連れ去り事件解決! 東京・清瀬第2団BS隊 大谷副長に警視総監から感謝状

3月17日の夜、東京都東久留米市のスーパーで2歳の男児が連れ去られた。

翌朝、通勤電車の車内で泣きじゃくる男児と一緒にいた男を不審に思い、大谷さんが声をかけた。対応がおかしいので大谷さんは男児を抱きかかえ、男とともに下車。駅員に引き渡したところ

事件の解決に至り、男児は無事家族の元に帰った。

4月8日、警視総監名での感謝状が贈られる贈呈式に、大谷さんはスカウトユニフォームで出席。多くの新聞やテレビでその姿が報道されました。これは快挙! というわけで、大谷副長にお話を伺いました。以下は大谷副長の談話です。

『スカウティング・フォア・ボーイズ』の第I章に出てくる“エルズドンの殺人事件”。事件の現場の足跡と風変わりな男の靴底の鉢から、少年が観察と推理で犯人を見つけ出した話です。これと、連盟歌の2番「眼開きて 見きわめよ 耳そばだてて ききたせ」。この二つが私の根底にあり、いつも私の行動の大きな指針になっています。今回の事件についても、それが役立ったのだと思います。

こうしたスカウトとしての技能を日々の暮らしの中でも発揮して、社会の役に立っていくことは、スカウトの誇りです。スカウト仲間の皆さんなら、きっと私と同じことをされただろうと思いますので、このようなスカウティングのすばらしさをもっと広く社会に伝えていけたらいいなとユニフォームを着ました。

2010
No.678
7

SCOUTING 次号予告

特集テーマは

行うことによって学ぶ ～LEARNING BY DOING ばい!～

次号のスカウティングは2010年7月1日発行。

なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 「スカウティング」投稿係
〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
電話 0422-31-5163 FAX 0422-31-5162
Eメール pr@scout.or.jp



『スカウティング』誌インターネット版もぜひご覧ください!
今月号の「こぼれ話」や各記事の関連資料など、お楽しみ & お役立ち情報が見つかるかも!

<http://www.scout.or.jp> 日本連盟ホームページ上段右の「スカウティング」誌バナーからどうぞ。

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟機関誌「スカウティング」2010年5月号 No.677 平成22年5月1日発行
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10 <http://www.scout.or.jp/>

「スカウティング」は、全国のボーイスカウト指導者（隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員）に一冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしておりますので、住所の誤り、変更がある場合は団・地区・県連盟を通じた登録住所変更の手続きをお願いします。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。
詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ<http://www.scout.or.jp/>から、スカウティング誌のページをご覗ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟総務部広報・出版課（TEL:0422-31-5163）までご連絡ください。

◇巣箱作りの留意点として、「巣箱をかける地域の野鳥の種類によって「穴」の大きさが違う」ことが抜けていて残念。

教示ありがとうございました。

●その他

◇年々スカウトの数が減少傾向かと思います。一般的の方々にも読んでいただけるような内容も面白いと思います。地域のマスコミに送付するのも良いかもしれませんね。

一家庭に二人以上の成人加盟員がいらっしゃる方や読書後廃棄される方等、近くの図書館や記者クラブ等に「スカウティング」誌をご寄付いただき、一般の方やマスコミの方にもスカウティングを知っていたらチャンスが作れる良好なと思います。

■皆さんの声をお寄せください。

目次記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。

お詫びと訂正

本誌1月号3頁の表題に誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。

[誤]SYMBOLIC FRAMEWORK



[正]SYMBOLIC FRAMEWORK

●本連盟は平成22年4月1日に「財団法人ボーイスカウト日本連盟」から「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」に移行しました。『スカウティング』平成22年5月号送付用封筒の差出人が「財団法人ボーイスカウト日本連盟」のままになっておりますが、環境を配慮し、今回限り在庫封筒を使用することいたしましたのでご了承ください。

SCOUTING

スカウティング

1991.5 No.456



特集 ようこそ! ボーイスカウトへ ボーイスカウトとは

さわやかコットンと上手につきあう

—ユニフォームはコットン100%

カブのキャンプ(完結編)

新連載 今年もがんばる「スカウトの日」

第18回全国ボーイスカウト写真コンテスト入賞者発表!

連載中

歴史の中のベーデン-パウエル、安全各論、ローバー通信

第17回世界ジャンボリー参加に向けて、GNA情報、

実践 地球を守るプログラム



財団法人
ボーイスカウト日本連盟

自然が、フィールド



誌上ショッピング



野外活動に欠かせない きれいな水と

ナベ、カップ、洗面器。炊事するときも、水を飲むときも、顔を洗うときも、ボーイスカウト用品は、きれいな水の友だちです。

炊飯セット(大)

81016 ¥15,000

ボーイスカウト向けに開発し、長くその信頼に答えてきたベストセラー。肉厚2mmのアルミニウム製。セット内容: 6L・4L・2Lの炊飯缶、取っ手、おたま、しゃもじ。

重量: 3.2kg。

収納時サイズ: 直径25cm×高さ15cm。



布洗面器

81107 ¥3,000

使わないときは小さくたためる麻製の便利な洗面器。直径30cm×高さ15cm。



BSシェラカップ 81022 ¥900

熱い飲み物でも、縁が熱くならないカップ。

素材: 18-8ステンレス / 容量: 280ml

サイズ: 直径12.1cm×高さ3.8cm

重量: 91g

誌上ショッピングご利用にあたってのお願い ○ご注文は本誌とじ込みの払込通知票をご利用ください。お電話によるご注文はお受けできませんのでご了承ください。○送料は自動車便に限り着払いとさせていただきます。

★需品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けますので、ご注文の際は加算してご送金ください。

特集

ようこそ！ボイスカウトへ

ボイスカウトの指導者・ 関係者の皆様へ

この特集は、ボイスカウト運動に
関心をお持ちの方のために、ボイス
カウト運動の概要についてまとめたも
のです。ボイスカウトを紹介する際
や、「ボイスカウト説明会」の資料の
一部としてご活用ください。

ボイスカウトについて 知りたいとお考えの皆様へ

もちろんキャンプも奉仕活動もボー
イスカウトの活動の一部分ですが、そ
れは「元気でたくましい少年を育てる」
「人の気持ちのわかる、やさしい少年
を育てる」などの目的があつて行われ
ていることです。また、キャンプにし
ても奉仕活動にしても、実際にはさま
ざまな内容があり、少年たちが楽しく
行い、いろいろなことを学んでいるの
です。

ボイスカウトは、健全な青少年の

「ボイスカウト」をご存じでしよう
か。名前だけは知っている、街中やキ
ャンプ場周辺でユニフォーム姿の子ども
たちを見たことがある、という声は
多くお聞きます。

では、具体的にはとくに、キャン
プをする子どもたちの団体とか、公園
の清掃や街頭募金の呼びかけなどの奉
仕活動をする団体というお答えが返っ

てきます。

これからボイスカウト運動につい
ての概要をご紹介します。

目次

スカウティング 1991.5 No.456

特 集

ようこそ！ボイスカウトへ.....	3
一ボイスカウト紹介一	

資 料

さわやかコットンと上手につきあう	12
—ユニフォームはコットン100%—	

カブスカウトと野外活動 杉原 正	14
------------------------	----

連 載

歴史の中のベーデン-パウエル② 田中治彦	18
----------------------------	----

情 報

スカウトの日	20
--------------	----

連 載

安全各論⑥ 救急車と家庭内事故 原山金三	21
----------------------------	----

ローバー通信	24
--------------	----

第17回世界ジャンボリー参加に向けて⑧	26
---------------------------	----

6NA情報⑤	28
--------------	----

実践 地球を守るプログラム⑤ 矢島 巍	30
---------------------------	----

人物逸話事典⑩ 太田信行・文、伊藤展安・絵	34
-----------------------------	----

発 表

第18回全国ボイスカウト写真コンテスト 入賞者	40
-------------------------------	----

日連情報

ボーイスカウトの楽しい活動

まず始めに、ボーイスカウトの楽しい活動について紹介しましょう。

ボーイスカウトの活動は、キャンプなどの野外活動が中心です。キャンプの他、ハイキング、登山、野外のスポーツやゲームなどを通じて、テントの張り方、炊事や工作の仕方、ロープの結び方、手旗信号などの野外活動の基本技術や、気象や天文や動植物などの自然に関する知識を楽しく学びます。

また、野外の活動以外でも、音楽、絵画、写真、演劇、コンピュータ、アマチュア無線、茶道、スポーツなど、少年たちが興味に応じて自主的におこなっている活動もあります。

これらの活動は、少年たちの年齢や発育を考慮して、自主的に段階的に知識や技術が身についていくよう配慮されていて、少年たちのことをよく理解している指導者によって温かく見守られています。

また、日頃の活動の成果を発揮したり、多くのボーイスカウトの仲間との出会いの場として、都道府県規模や全国的規模、さらには国際的規模のキヤンプ大会なども開催されます。これら

の大会への参加も、少年の年齢や経験の進みぐあいによって違いますが、例

えば、県のキヤンプ大会である県キヤンボリー、全国では日本ジャンボリー、世界では世界ジャンボリーなどがあります。ジャンボリーとは、ボーイスカウトのキヤンプ大会のことで、日本の大会も世界の大会も、四年に一度開催されています。

ここで紹介したボーイスカウトの活動はすべて、ただ楽しいだけではなく、少年たちの成長を願つて目的を持って行われていて、そのため、自分たちの活動だけではなく、他の人のための奉仕活動なども展開しているのです。どのような目的を持っているのかは、このあとの「ボーイスカウト運動の理念」の項目で紹介します。



ボーイスカウト活動の中心は野外活動。



自分の食事は、自分で作ります。



日本ジャンボリーのアトラクション。



共同募金に、ありがとう。

ボーイスカウト運動の歴史

■ボーイスカウト運動の始まり

ボーイスカウト運動は伝統と国際性のある青少年教育運動です。運動の創始者は、イギリス人の将軍、ベーデン・パウエル卿という人です。

彼は斥候術（偵察や観察）にかけた人でした。軍隊では、斥候兵のことをスカウト、斥候術のことをスカウティングといいました。彼は兵隊の訓練用に『斥候の手引』という本を出しました。長い海外勤務からロンドンに戻つてみると、この本が観察力と推理力の訓練用テキストとして、目的からは

ずれて学校で使われていることを知つて驚いたのです。

軍隊式の訓練では、少年の興味を満たし、自立心を養うことができないと

考えたベーデン・パウエルは、野外生活の経験をもとに一九〇七年（明治四十一年）ブラウンシーア島という島で二十人の少年たちと実験キャンプを行いました。そして、その結果をもとに『少年オア・ボーイズ』という本を著したのです。この本は、爆発的なベストセラーになり、多くのイギリスの少年たち

が読みました。本が出たのが一九〇八年（明治四十二年）のことですから、今から八十三年も前のことです。

世界中にボーイスカウトの仲間がいます。

この本は、野外での活動のすばらしさを教えていました。本を読んだ少年たちは、この本に書かれている内容のとおり、自分たちでグループを作り、それがイギリス中に広がりました。これがボーイスカウト運動の始まりです。その後、ボーイスカウト運動はヨーロッパに、アメリカに、そして世界中に広がり、八十三年たった今では、世界百二十一か国、一千六百万人のボーイスカウトの仲間がいます。

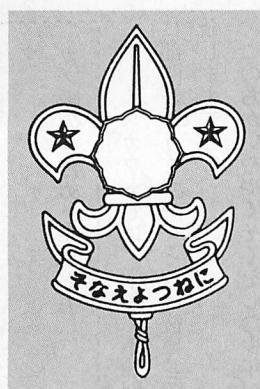
■日本のボーイスカウト

運動の歩み

日本では、一九二三（大正一二）年、東京、京都、旭川、沼津、静岡、大阪、福岡、富山などで、少年団という名称で発足しました。『スカウティング・フオア・ボーイズ』が出版されてから、わずか五年後のことです。一九二〇（大正九）年のロンドンでの第一回世界ジャンボリーには、日本からも参加しています。

一九二三（大正十二）年、少年団日本連盟が設立されました。現在のボーイスカウト日本連盟は、この時から数えて六十九年目にあたります。

戦後の一九四九（昭和二十四）年、



日本のボーイスカウトのマーク。

財團法人ボーイスカウト日本連盟となり、一九五六（昭和三十二）年に第一回日本ジャンボリーが軽井沢で開催されました。昨年の一九九〇（平成二年）には、第十回日本ジャンボリーが新潟県妙高高原で開かれています。現在の加盟員数は、二十六万八千八百十二人です。（平成三年三月末現在）

ボーイスカウト運動の理念

■ 目的

ボーイスカウトの活動は目的を持つて行われています。その目的とは、次のようなことです。

ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ、誠実、勇気、自信および国際愛と人道主義をは握し、実践できるよう教育することをもつて目的とする。

一・神(仏)と国とに誠を尽くします。
二・おきてを守ります。
三・いつも、他の人々をたすけます。
四・からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

このちかいは世界中のボーイスカウト共通のもので、一番目は社会のために、二番目は他の人のために、三番目は自分のために、行動の信条としてちかうのです。

このうえで他の人の信仰を尊重し、他の国を理解することが必要なことだと考へているのです。
また、年少の少年(小学校一~五年生)が入るときには、ちかいの代わりに、次のやくそくをします。

カブ隊のさだめを守ります
(ボーイスカウトでは、学年・年齢別に部門がありますが、それは後ほど紹介します)

このちかいややくそくをした少年がボーイスカウトであり、ちかいとやく

宗教または政治的な団体ですか」という質問を受けますが、ボーイスカウトは特定の宗教または政治団体を支持しません、これらの団体からの制約も受けません。

ビーバースカウトのやくそく
(小学校一~二年生)
ぱくはみんなとなかよくします
ぱくはまじめにしつかりやります

ボーイスカウト運動の目的を具体的に達成するために、ボーイスカウトに入るときは、少年(小学校五年生以上)も指導者も、次のちかいをたてます。

■ ちかいとやくそく

スカウトのちかい
私は、名譽にかけて、次の二条の実行をちかいります。

おきてとさだめ、きまり

スカウトのおきて

1. スカウトは誠実である

スカウトは、信頼される人になります。

真心をこめて、自分のつとめを果たし、名譽を保つ努力をします。

2. スカウトは友情にあつい

スカウトは、兄弟として仲よく助け合います。

すべての人を友とし、相手の立場や、考え方を尊重し、思いやりのある人になります。

3. スカウトは礼儀正しい

スカウトは、規律正しい生活をし、目上の人を敬います。

言葉づかいや服装に気をつけ、行いを正しくします。

4. スカウトは親切である

スカウトは、すべての人の力になります。

幼いもの、年寄り、体の不自由な人をいたわり、動植物にもやさしくします。

5. スカウトは快活である

スカウトは、明るく、朗らかに、いつも笑顔でいます。不平不満を言わず、元気よく、進んでものごとを行います。

6. スカウトは質素である

スカウトは、物や時間を大切にします。

むだをはぶき、ぜいたくをせず、役立つものは活用します。

7. スカウトは勇敢である

スカウトは、勇気をもって、正しく行動します。

どんな困難なことがあってもくじけずに、新しい道をきり開きます。

8. スカウトは感謝の心をもつ

スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。

お礼の心で、自然をいつくしみ、社会に奉仕します。

カブ隊のさだめ

1. カブスカウトは すなおであります

2. カブスカウトは 自分のことを自分でします

3. カブスカウトは たがいに助けあいます

4. カブスカウトは おさないものをいたわります

5. カブスカウトは すすんでよいことをします

ビーバー隊のきまり

1. ビーバースカウトは げんきにあそびます

2. ビーバースカウトは ものをたいせつにします

3. ビーバースカウトは よいことをします

そくの文中にあるように、おきて、さだめ、きまりといったボーイスカウトが守るべき項目があります。(表参照)

これは目的に達するために、ボーイスカウトとなつた少年が常に心がけるべき具体的な内容で、特に難しいことはありません。ご覧になつていただければ分かるように、むしろ人間としてあたりまえのことと、日頃から少年たちに教える内容です。

モットーとスローガン
ボーイスカウトでは、次のようなモットーとスローガンがあります。

モットー「そなえよ つねに」
カブスカウトのモットー「いつも元気」(小学校一~五年生)
ビーバースカウトのモットー「なかよし」(小学校一~二年生)
スローガン「日日の善行」「そなえよ つねに」は、ボーイスカ

ウトの少年がいつでも正しい行動がでるよう、常に準備はできているという構えをしめています。年少の少年の「いつも元気」と「なかよし」は、この年代で何よりも大切なことです。

「日日の善行」は毎日の生活に感謝の気持ちを持って、世の中にお返しをしていこうということです。

ボーイスカウトの理念ということです。一部を紹介しましたが、これは特別なことではなく、むしろ、すべての少年たちに伝えたいことです。

ボーイスカウトのおきてやさだめやきまりは、規則といったものではありません。おきてとは、心の置き(おき)どころと、その行く手(て)をしめしているともいえます。少年たちの自発的な活動の体験を通して、一つひとつ実感していく様子がねらいです。

ボーイスカウトの制度と組織

ボーイスカウトが活動していく基盤ともいえる制度と組織について紹介します。

まず、ボーイスカウトでは少年たちのことを、一般的にスカウトと呼んでいます。また、スカウトたちを見守っているのが指導者です。

■班制度と進歩制度

ボーイスカウトの教育方法の基本となるのが「班制度と進歩制度」です。

班制度とは、六~八人の小さなグループである班(年少のスカウトでは組といいます)を作り、ちかいとおきての実践の場として、スカウトたちが自

発的な活動を行なう制度です。また、班

(組)の構成はスカウトたちの年齢や学年が異なっていますので、友情、協力、責任感、指導性などについて体験

し、身につけていくことができます。

進歩制度とは、スカウトが知識や技能、体力などの発達に応じて進歩していく制度で、スカウト自身が個人的な目標を設定して、それに合わせて活動の内容を高めていくことができます。

具体的には、スカウトとして必ず身につけておかなければならぬ進歩・進級課目と、スカウトが興味に応じて自主的に取り組んでいく選択課目の組み合わせにより、上の課程や部門へと

進んでいくことです。

ボーイスカウトは次のようないくつかの部門に分かれています。

ビーバースカウト部門

小学校就学直前(一~三月)から仮入隊できます。

ビーバースカウトは、ビーバー(小学校一年生)とビッグビーバー(小学校二年生)に分けられます。ビーバースカウトの活動では

友だちとの遊びの中で、自然に親しんでいきます。



▶かわいいビーバー。

カブスカウト部門

ら。

小学校二年生九月から、仮入隊することができます。カブスカウトは次の課程に分けられます。

りすの課程・仮入隊者の課程です。うさぎの課程・小学校二年生九月か



ボーイスカウト部門

小学校五年生九月以後、中学校三年生以下の少年は、仮入隊することができます。

ボーイスカウトは、

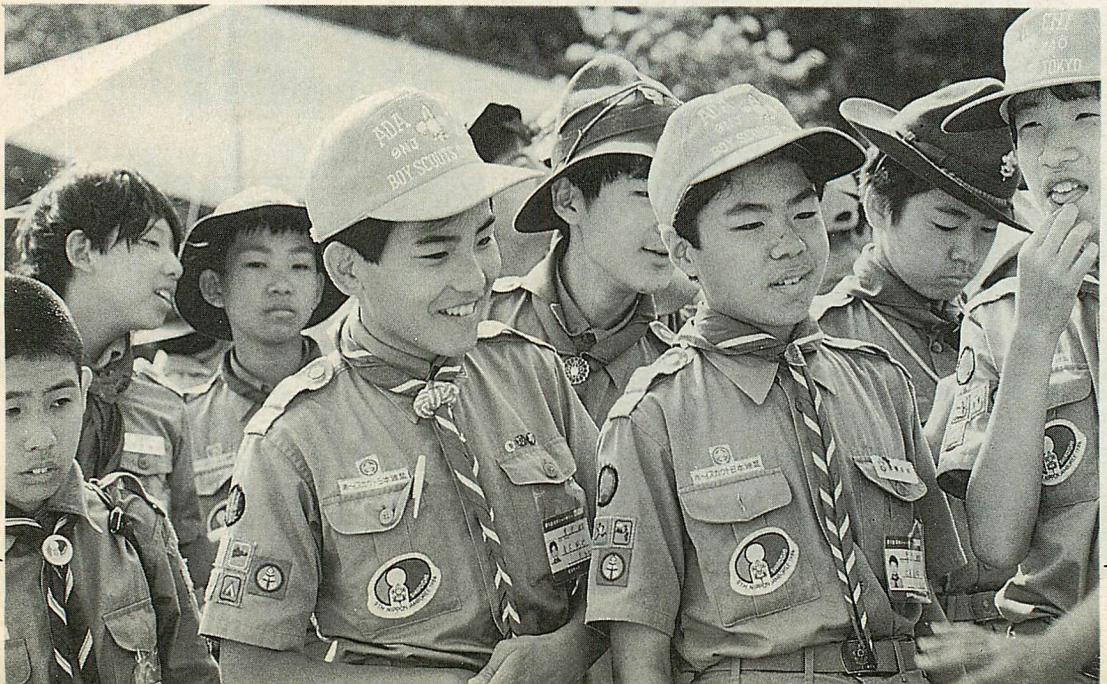
見習いスカウト、初級

スカウト、二級スカウト、一級スカウト、菊

スカウトの順に進級していきます。この進級は年齢や学年とともに上がるのではなく、スカウトが自分で計画して必要な課目を学び、指導者に認めてもらつて上がっていく自発的なものです。

ボーイスカウトでは、野外活動の基本的な技能、知識を学んでいきます。

がんばるボーイ。▼



シニアースカウト部門

士スカウトの順に進級していきます。

十五歳以上または中学校三年生八

月以後で、十八歳未満の少年は入隊

できます。

シニアースカウトは、グリーンシ

ニアースカウトは、隼スカウト、富

級の最高点で、到達するためには自
主的な計画性と実行力が必要で、た
いへん栄誉あるスカウトです。

シニアースカウトは、活動的で冒
険にみちた野外活動に挑戦します。



▲挑戦／シニアー。

ローバースカウト部門

隊することができるようになります。

十八歳以上の者は、入隊できます。

見習いローバーからローバースカ
ウトとなりますが、平成三年四月一
日から女子もローバースカウトに入

ります。

ローバースカウトは高度な野外活
動を行い、社会に対しさまざまな
奉仕活動を行います。



▲たのもしいローバー。

■隊と団と地区

仮入隊とか入隊という言葉が出てきましが、それぞれの部門をビーバー・スカウト隊、カブスカウト隊、ボーイ・スカウト隊、シニアースカウト隊、ローバースカウト隊などの「隊」と呼びます。この隊の中に班(組)があります。

各部門の隊が集まつたものを「団」といいます。

隊は部門別の活動の単位であり、団はその全体の運営の単位です。ですから、団はボーイスカウトの基本的な組織といえます。現在、団は全国に三千五百七十七団あります。(平成三年二月末現在)

また、団が地域的に集まつたものを「地区」といいます。地区は、その地域のボーイスカウト運動の保護と発展のための組織です。

■都道府県連盟から世界スカウト機構まで

世界のボーイスカウトは百三十一か国一千六百万人の組織ですので、「世界スカウト機構」という世界のボーイスカウトをまとめている組織が、スイスのジュネーブにあります。

世界のボーイスカウトは百三十一か国一千六百万人の組織ですので、「世界スカウト機構」という世界のボーイスカウトをまとめている組織が、スイスのジュネーブにあります。



▲見守る指導者。

ヨーロッパ地域、インターナショナル地域、アフリカ地域、アラブ地域の五つに分けられていて、日本はアジア・太平洋地域の一員です。

■指導者の養成

ボーイスカウトの指導者は、この運動に理解と情熱を持った、子どもが大好きな人たちです。さまざまな職業や立場の人たちが、スカウトたちのために無報酬で奉仕しています。指導者はボーイスカウトの目的を達成するため常に知識や技能を磨き、情報を交換して、スカウトたちの成長を見守っています。

ボーイスカウトの指導者になるためには、まず「ボーイスカウト指導者講習会」を受講して、ボーイスカウト運動の全体について学び、理解します。

そのうえで研修所や実修所といった、より詳しい知識や技能を学び身につけていく、指導者養成の機関があります。

成員や、団や都道府県連盟などの組織は、ボーイスカウトへの加盟の登録が必要です。これは、スカウトたちのことを確実に把握し、指導者やその所属する組織が責任を持つて、ボーイスカウト教育を行うためです。この加盟登録の制度により、ボーイスカウト運動はしっかりと基盤を持つ組織となっているのです。

■制服と加盟登録

ボーイスカウトと一緒に見てわかるのが、

スカウトも指導者も着用する制服です。制服

は野外活動に便利で、

世界各国のスカウト組織には、お国柄の出たさまざまな制服があります。しかし、基本となるところは同じです

ので、すぐにボーイスカウトの仲間とわかります。

ボーイスカウトの構成員

成員や、団や都道府県連盟などの組織は、ボーイスカウトへの加盟の登録が必要です。これは、スカウトたちのことを確実に把握し、

指導者やその所属する組織が責任を持つて、ボーイスカウト教育を行

うためです。この加盟登録の制度により、ボーイスカウト運動はしっかりと基盤を持つ組織となっているのです。



▶指導者は、スカウトのために常に研修をしています。

案内

ボーイスカウト 都道府県連盟

連盟	〒	所 在 地	電 話
北海道	062	札幌市豊平区平岸4条14丁目3-40 北海道ボーイスカウト会館内	011-823-7121
青森	030	青森市大字荒川字藤戸119-7 青森総合社会教育センター内	0177-39-0660
岩手	020-01	盛岡市みたけ3-38-20 岩手県青少年会館内	0196-41-1995
宮城	981-12	名取市手倉田字諷訪288-2 大久保 孝方	022-382-4602
秋田	010	秋田市山王中島町1-2 秋田県立子ども博物館内	0188-63-4247
山形	990	山形市旅籠町2-5-12 山形新聞放送会館内	0236-22-5271
福島	960	福島市黒岩字田部屋53-5 (財)福島県青少年会館内	0245-46-4155
茨城	310	水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内	0292-26-8482
栃木	320	宇都宮市桜5-5-5	0286-36-2917
群馬	371	前橋市荒牧町2-12 (財)群馬県青少年会館内	0272-32-7620
埼玉	336	浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内	0488-22-2463
千葉	260	千葉市天台6-5-2 千葉県青少年婦人会館内	0472-87-1755
神奈川	241	横浜市旭区中尾町55-33 スカウト会館内	045-365-3421
山梨	400	甲府市塩部3-15-12 大和石油(株)内	0552-53-3305
東京	151	渋谷区代々木神園町3-1 国立青少年総合センター内	03-3469-4081
新潟	951	新潟市下大川前通4の町2195	025-229-5454
富山	930	富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内	0764-32-6505
石川	920	金沢市本多町3-2-15 県立社会教育センター内	0762-61-8064
福井	910	福井市大手2-9-10 福井県電気ビル内	0776-27-5977
長野	390	松本市中央4-9-13 県連スカウトハウス	0263-34-1300
岐阜	500	岐阜市美江寺町1-2 中部事務機(株)ショールーム内	0582-66-9540
静岡	420	静岡市田町1-70-37 静岡県青少年会館内	0542-55-6185
愛知	454	名古屋市中川区八熊1-6-13 愛知県不動産評価事務所3F	052-332-4841
三重	514	津市栄町1-171 三重合同ビル5F	0592-23-4199
滋賀	520	大津市京町4-1-1 滋賀県教育委員会生涯学習課内	0775-22-3681
京都	604	京都市中京区四条通千本西入花井町23 芝ビル2F	075-811-4133
兵庫	650	神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県西庁舎内	078-341-8633
奈良	635	大和高田市西三倉堂1-3-20 けんしん高田支店3F	0745-22-2650
和歌山	640	和歌山市市小路198 畔柳直弘方	0734-51-2800
大阪	540	大阪市中央区森之宮中央2-13-33 府立青少年会館内	06-943-0043
鳥取	680	鳥取市市川町2-178 岡田一寿方	0857-23-7410
島根	690	松江市大庭町1751-13 島根青少年会館内	0852-25-7599
岡山	719-01	浅口郡金光町大谷 金光教本部内	086542-3111
広島	730	広島市中区小町4-33 中国電力2号館内	082-242-2495
山口	753	山口市神田町1-80 防長青年館内	0839-28-0079
徳島	770	徳島市下助任町1-38 濑戸興宣方	0886-52-6625
香川	760	高松市玉藻町5-12	0878-21-8987
愛媛	790	松山市一番町4-4-2 県教育委員会生涯学習課内	0899-43-4978
高知	781-02	高知市瀬戸東町2-284 矢吹了一方	0888-42-7378
福岡	810	福岡市中央区荒戸2-4-46 中牟田栄蔵方	092-721-1496
佐賀	849-15	鹿島市大字飯田甲4784 木原清喬方	09546-2-8940
長崎	850	長崎市五島町3-15 西日本商事(株)五島町駐車場2F	0958-27-1656
熊本	860	熊本市古京町3-5 藤崎台童園内	096-355-2989
大分	870	大分市中央町3-7-32昭和ビル3F 県教育公務員弘済会内	0975-32-9566
宮崎	880	宮崎市大字恒久字原池田4183-3	0985-52-6188
鹿児島	899-51	姶良郡隼人町内山田2195-2 東中道和雄方	0995-42-3682
沖縄	900	那覇市奥武山町51-2 体協会館3F	098-858-1451

ボーイスカウト運動の概要について紹介しましたが、これはごく大まかなところです。ボーイスカウト活動は、土曜日や休日、夏休みなどの余暇時間を利用したものですから、少年たちの勉強などの

妨げにはなりません。むしろ、健康で自立心や探究心のある少年を育んでいますので、普段の生活や勉強に役に立ちます。詳しいことにつきましては、団や地

にぜひご参加ください。経験豊かな指導者から、ボーイスカウト運動の楽しさや意義を、生の声でお届けできます。ボーイスカウト説明会の開催予定やその他のご質問につきましては、お近くの団や地区の指導者までお尋ねください。また、お近くの団や指導者がご不明の場合は、各都道府県連盟または日本

● ボーイスカウトの都道府県連盟表をご覧ください。
 ● 財団法人、ボーイスカウト日本連盟
 〒一八一 東京都三鷹市大沢四一十一
 (十) 電話0422(31)5161
 フリーダイヤル
 0120-333159

盟までお問い合わせいただければ、ご紹介いたします。

スカウトもできる

手入れ 自分の ユニフォームの



コットン100%の衣類は、ジーンズと同様に「縮む」という性質があります。とくに家庭用にも普及しているタンブル乾燥の場合は著しくスカウトパンツで初めの寸法に対して、1回目3.4%、3回目4.75%、5回以上で5%の縮みがありました。

しかし、吊り干しの場合は10回目でも3%程度に抑えられ、一旦縮んだものも、ぬれたまま干すとある程度回復します。したがって、1、2度洗濯したあと裾上げし、タンブル乾燥は避けることをお勧めします。

洗う

- ① ポケットに入っているものを取り出し、ボタンやファスナーを止める。
- ② キャンピングシャツとセーターは、たたんで洗濯ネットに入れる。
- ③ 洗濯機に水と洗剤を入れ、よく搅拌する。洗剤は多すぎても少なすぎても駄目。
- ④ 洗うのは7~10分。洗濯物は洗濯機の中でよく回り、上下に行き来するくらいが適量。
- ⑤ 1分脱水→3分すぎ→1分脱水→3分すぎ。きれいな水に汲み替えて、ためすぎなら水の節約になる。

- ② 袖は、肩や脇の折り線を作つて背中側から。



- ⑧ 裾の部分から三つに折って、出来上がり。

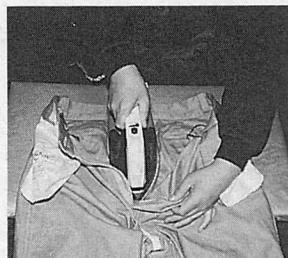


- ③ 襟は、先から中心へ。



〈パンツ〉

- ① 裏返して、まずポケットの裏側、そのままお尻の部分を。



- ④ 手を交差して持ってから裏返し、もう片方の袖と表襟を。



- ② 表に返して、ズボンの4本の縫い目を揃える。



- ⑤ 肩と襟の回り、そして後ろ身頃（背中の部分）。



干す

- ① 風通しのよい日陰に干す。着ている姿に近い形で干すのがコツ。
- ② しわは、掌で軽く叩いたり、繊維の方向に引っ張って伸ばして干すと仕上がりが違う。キャンプ中有効な方法。
- ③ セーターは板や網の上に広げて平ら干しにすると形が整う。
- ④ またはタオルを巻き付けたハンガーに吊るす〈写真〉。

- ⑥ 前身頃は裾から上へ。ボタンの間も忘れずに。



- ③ 当て布をして、内側の縫い目から矢印の方向へ。



仕上げのアイロン

準備 アイロンをかける部分に霧吹きをかけておくと、きれいに仕上がる。

コツ アイロンを持たない手で、しわを伸ばしながら、また縦横の織り目に合わせてアイロンを滑らせる。

〈シャツ〉

- ① 初めに肩のエポレットや、ポケットのふた、カフスなど細かいところをかけておく。

- ⑦ 前身頃を合わせて、ボタンを2、3止め、裏返して前身頃を折る。



- ④ 同様に外側をかけて終わり。

〈キャンピングパンツ〉

腰のアジャスター、ポケットとそのふたと裏側部分、お尻部分、とかけにくいところから始める。

〈セーター・キャンピングシャツ〉

ニット地なので、ぬらしたハンカチを当てて、上から軽く押さえ るような感じでアイロンをかける。

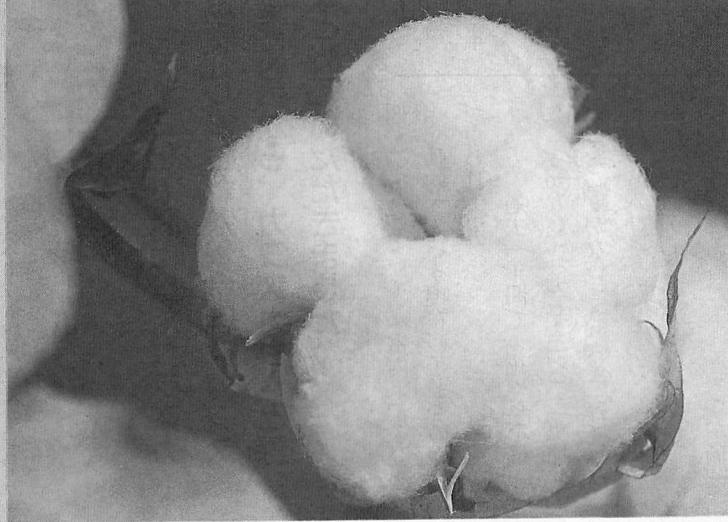
さわやかコットンと 上手につきあう ——ユニフォームはコットン100%

コットン(綿花)

植物の種子が作り出すこの白く柔らかで丈夫な繊維は、自然が人類に与えた素晴らしい贈り物。

1個のコットンボル(写真)には30個ほどの種があり、それぞれの種から1,200~7,500本もの綿繊維が放射状に生えています。

これが摘み取られ、紡績、製織、染色、防縮、縫製と約60もの工程を経てユニフォームに仕上がるのです。



写真提供：東洋紡績株式会社

トンとの混紡によってそれぞれの特長を生かした繊維も開発されています。

ところで私たちの新しいユニフォームは、混じり気なしのコットン100%です。なぜ完璧にこだわるのか、そこにはデザイナー、ラルフ・ローレンのボイスカウトに対する大きな期待があるのです。

「野外で自然の恵みを受けて活動するボイスカウトにこそ、大地から生まれたコットンを身にまとめる喜びを知ってほしい」と。そしてこれは採用した私たちの意図でもあるのです。

新しいユニフォーム

新しいユニフォームを手にされた方から「C」というほどデザインに変化がない「洗濯するとしわや縮みがある」などの、ご意見が寄せられています。しかし、常に活動と共にあり、仲間意識の象徴であるユニフォームにスカウティングの将来に向けて熱いメッセージが込められていることをお見逃しなく！

この小文から、その意味をご理解いただき、誇りをもって着用されることを願っております。

人に優しい繊維

コットンは天然繊維。農業によって毎年生産される植物であり、また廃棄されても土に還る自然そのものです。

21世紀にかけて地球環境は、廃

棄物問題、資源の有効利用、生態系の破壊など大きく取り上げられるようになり、日常生活にも意識改革が着実に進んできました。

その意味からもコットンは、化学繊維に代わって見直され、いま一番注目を浴びている繊維でもあります。

見直されるコットンの特性

コットンが肌に馴染みやすい風合いで、昔から親しまれてきたことは誰もが認めるところです。コットンは、成分の約94%がセルロースで、形が偏平・中空であることから、衣料用繊維として次のような優れた特長をもっています。

吸水性 自然においた状態での水分(公定水分率)が8.5%。ポリエチレンの0.4%をはるかに上回ります。これは、汗を吸い取りやすいということで、野外活動には最

適といえます。

汚れが落ちやすい 石油を原料としている合成繊維は油と化学的に吸着する性質がありますが、逆にコットンは親水性なので油汚れが落ちやすく清潔さが保てます。ぬれると10~15%強くなるため繰り返し洗濯にも耐えられます。

耐火性 野外炊事やキャンプファイアなどで、はぜた火を受けたとき、コットンはその部分が炭化するだけで済みますが、合成繊維は溶けて直接肌に触ると火傷する危険性があります。

着る楽しみと喜びを求めて

しかし、合成繊維にも優れた特長はあります。その代表的なポリエチレンは、しわ、型くずれ、洗濯による縮みなどの変化がなく、コットンに比べると極めて形態安定性に優れています。そこでコッ

スマートネスとは

ユニフォームのデザインを改めることは、単なる思い付きや、目先の受けをねらうだけではしません。ボイスカウトのシンボルとして社会に定着するだけのレベルをもったものが出来なければ、40年以上着用されてきたものを変更する意味がありません。

新しいユニフォームには今風の、ゴム靴を履くような便利さはありません。むしろ、スマートネスとは何なのか考えさせられるような、皮靴を手入れしながら履きこんでゆくような〈着こなし〉が求められます。消費が美德だった時代を超えて、スカウトとしての生活様式がこれからの時代を先取りしているのだ——と新しいユニフォームはわれわれに訴えているのです。

カブスカウトと 野外活動

カブスカウト特別委員会委員長

杉原 正

先月号特集で、カブのキャンプを中心としたカブスカウトの野外活動について紹介しましたが、今回はカブスカウト特別委員会の杉原委員長から、カブスカウトと野外活動の関係についてまとめていただきました。

自然との関わりの欠如

「青少年問題の現状と対策」(平成二年版青少年白書)

が発表されました。今回の白書は、青少年の友人関係や遊び方について分析していることが特徴です。

遊びに関して、普段よく遊ぶ場所は「自分の家」が七九・八%と最も多く、次いで「友人の家」(五六・一%)、「校庭・体育館」(一七・四%)、「公園」(一六・七%)、「本屋 レコード店」(一四・三%)の順になっています。遊びの内容は「テレビ」(五五%)、次いで「マンガ、雑誌」(三四・八%)、「ボール遊び」(二二・四%)、「テレビゲーム」(二・五%)などです。

「受動的」という現在の子どもの様子が窺われます。

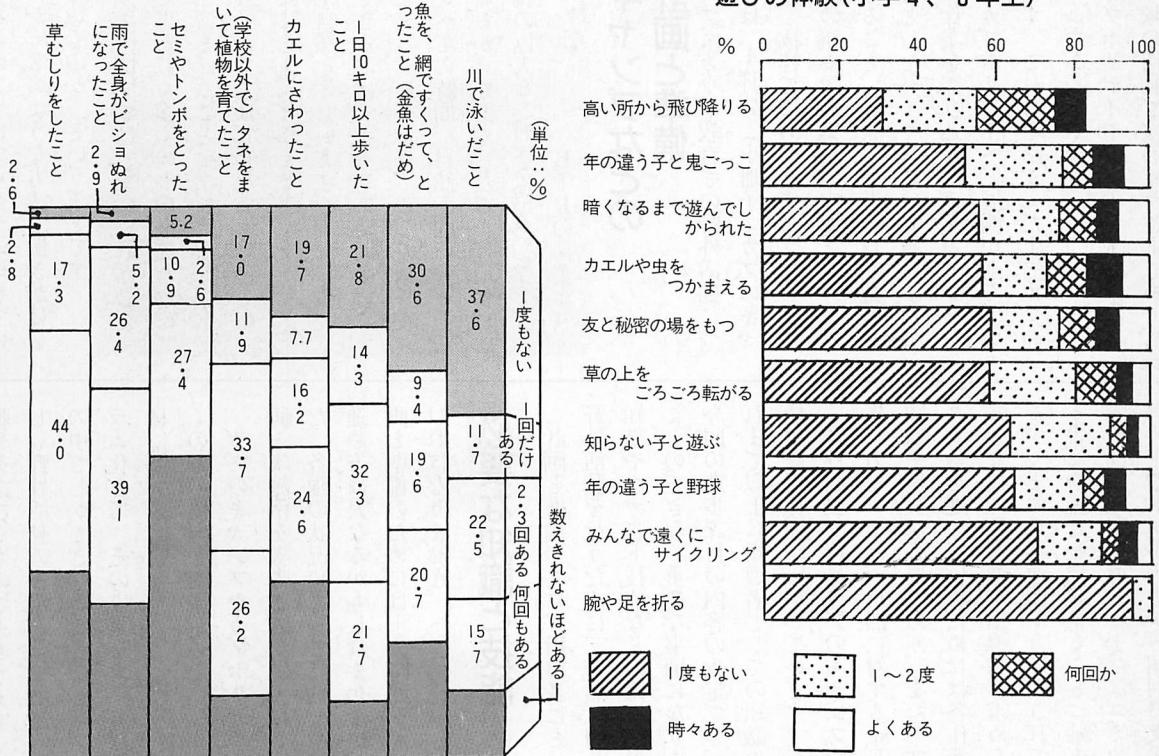
一方、過去一年間で「花や草を摘んだことがない」(七三・一%)、「虫捕りをしたことがない」(五六・一%)、「高い所から飛び降りたことがない」(三〇・四%)という子どもがいます。

(表参照)

遊びについては、「放課後、友だちと一緒に遊ばない子どもが多く、外遊びよりテレビや雑誌を見たり、テレビゲームを楽しむなどが中心で、屋外で活動性や創造力を高めるような遊びの体験が不足している」と指摘されています。このことは、現代の青少年がいかに自然



遊びの体験(小学4、6年生)



総務省「青少年白書」(昭和61年・平成2年版)より

- との関わりが少ないと示しています。
 - 学校教育においても、小学校の学習指導要領から自然や崇高なものとの関わり合いに関する事を抜粋すると、
 - 第一学年および第二学年
 - ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。
 - ・生命を大切にする心を持つ。
 - ・美しいものに触れ、すがすがしい心を持つ。
 - 第三学年および第四学年
 - ・自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物を大切にする。
 - ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。
 - ・美しいものや気高いものに感動する心を持つ。
- 〔第五学年および第六学年〕
- ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。
 - ・生命がかけがえのないものであることを知り、他の生命を尊重する。
 - ・美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念を持つ。挙げています。
 - このことは、人間が人間として成長する過程において、野外での活動や自然を通して学び、身につけることが大切であり、必要であることを示しています。

野外活動への誘い

スカウト活動は、野外を教育の場の中心として位置づけています。指導者がハイキングやキャンプという野外活動の手段を用いて、スカウトたちに自然教育を行うことは、彼らの心の中に自然に対する感動あるいは畏敬の念を育ませようとするためです。

自然教育は、人間と自然との関係をどのように感じさせ、認識させるかであります。その最も基本となるものは、まず日常の生活の中でスカウトに素朴な自然に対する感覚を養わせることになります。

素朴な自然に対する感覚は、幼児が「どうして?」と発する言葉から始まり、雲の動き、星の輝き、陽の暖かさ、肌で感じる風、水の冷たさ、草木の芽吹き、昆虫の羽化、そして夕焼けと、う日常ではごく当たり前のことである現象について、彼らが興味や関心を抱くことによって養われていきます。

しかし、少年たちはあまりにも忙しくなり、自然を知らないなっています。指導者として考えなければならないことは、野外活動の在り方として、スカウトたちに自然の中できちんできないことや、自然と対ししなければできないこと、そして自然を知ることができます。

活動をどのようにプログラミングしていくのか、どのような方法で働きかけをしていくのか、ということです。

「キャンプでは、家にいれば必要と思われる多くのものを使わないで済ませることを学び、また平常自分たちではできないと思っていましたことも、多くできることが可能である。なぜなら、ここでは昼夜すべての時間、自然に向い合っているからである。たぶん、最初に神の巨大なみわざを悟るであろう」

B-I-Pの言葉より

キャンプなどの計画と準備

カブスカウト教育での野外活動については、先月号（小冊子『カブのキャンプ』抜粋）にありますように、まず日常の組や隊の集会の中でプログラミングすること、健康の増進と自然観察を中心としたハイキングの実施、また各種の作業を織り込んだデイキャンプを経てカブホリディへと展開が進んでいきます。これらを踏まえた上でカブのキャンプが行われます。

カブホリディやカブのキャンプは、カブ隊の活動ではハイライトであり、

脚光を浴びるものでもあります。しかし、野外活動の一環として前述の自然の中できちんとことをなどをプログラミングして、その成果をあげるために周到な計画と着実な準備、そして多の方の協力と支援が必要になります。

カブのキャンプやカブホリディの企画と実施例を参考までに別表にしました。各隊の状況によって計画と準備の進め方は異なるかもしれません、計画と準備のためには十分時間をかけなければなりません。

必要な知識と技能

計画と準備と共に、指導者にとって野外活動を行うために、自然に関わる知識やスカウト技能などの修得は欠くことのできない重要な事柄になります。今回の進歩課目の内容の改定でも、これまで以上に指導者としての知識や技能の修得範囲が広がっています。

野外活動、特にカブのキャンプの実施にあたっては、自然に対する正しい知識や理解が必要であり、また、プログラムを進めていくためには各作業に必要な技能の習熟が指導者に求められます。まず日本連盟から発刊されている書籍や雑誌を精読することに始まり、隊や団の先輩指導者、またはコミュニケーターから個別の支援を得ることもできます。

カブスカウト教育にあつては、野外活動は全くことのできないものです。野外活動の展開もいろいろなものが挙げられます。

今回の改定にあたっては、諸条件が整えられれば、テントを利用したカブのキャンプができるよう考えました。しかし、カブのキャンプは必修ではありません。カブホリディの運用によって、カブスカウト活動での野外活動は十分展開できます。よいカブホリディが実施てきてから、カブのキャンプへと段階的に発展してほしいと願っています。

カブのキャンプは、単にボーイ隊のこと

受け取ることが大切になります。さらに、地区などで行われる各種の技能研究会や研修会に参加することによって修得することもできます。

カブ隊の指導者だけでは十分でないときは、団内の他隊指導者やインストラクターの支援を受けるなど、多くの方々を活用することを考えましょう。

指導者としては、まず自らが学ぶ姿勢が大切になります。知ること（理解）に始まり、自分ができること、そしてスカウトたちに教えられるという二つの要素が必要になります。

おわりに

カブスカウト教育にあつては、野外活動は全くことのできないものです。

野外活動の展開もいろいろなものが挙げられます。

今回の改定にあたっては、諸条件が整えられれば、テントを利用したカブのキャンプは、必要かつ全くことのできない野外活動、特にカブのキャンプは、必要かつ全くことのできない野外活動としてカブ隊に関わる後継続する課題としてカブ隊に指導者が取り組まなければなりません。

よりよい野外活動、特にカブのキャンプは、必要かつ全くことのできない野外活動としてカブ隊に関わる後継続する課題としてカブ隊に指導者が取り組まなければなりません。

諸条件を整えられて初めて実施するこ

とになります。周到な計画と準備、指

導者の知識や技能、そして健康管理と安全対策が十分備えられて、よいカブ

のキャンプが実施できることが期待さ

れています。

最後になりましたが、『カブのキャンプ』の小冊子をご活用いただくと共に、さらに内容を検討していただき、カブ隊にとつてよい野外活動が展開されることを願っております。

カブのキャンプは、単にボーイ隊のこと

キャンプのミニチュア版としては絶対に行わないでください。カブスカウト活動がねらいとしている野外活動の在り方とは、大きくかけ離れてしまうカブのキャンプになってしまいますからです。今回は誌面の関係で触れませんでしたが、カブのキャンプやカブホリディで最も重要な課題となるスカウトの健康管理（指導者も含めて）と安全対策については、十分な配慮をしなければなりません。先月号に掲載されている安全各論「カブの宿営場を検討する」（金営と安全）も実施面で参考になる資料ですから、大いに活用してください。健康管理と安全対策については今後継続する課題としてカブ隊に関わる指導者が取り組まなければなりません。

よりよい野外活動、特にカブのキャンプは、必要かつ全くことのできない野外活動としてカブ隊に関わる後継続する課題としてカブ隊に指導者が取り組まなければなりません。

諸条件を整えられて初めて実施するこ

とになります。周到な計画と準備、指

導者の知識や技能、そして健康管理と安全対策が十分備えられて、よいカブ

のキャンプが実施できることが期待さ

れています。

最後になりましたが、『カブのキャンプ』の小冊子をご活用いただくと共に、さらに内容を検討していただき、カブ隊にとつてよい野外活動が展開されることを願っております。

カブのキャンプは、単にボーイ隊のこと

前年6月頃

3月頃

4月頃

7月

実施上の注意点

年間計画
会議

第1回
委員会

現地調査
団委員会

第2回
委員会
保護者会

準備と
責任分担
団会議
保護者会

点検・整備

実施

- (1)秩序の維持、厳正な規律
- (2)プログラムの運営
- 天候や現地の状況の変化にもスムーズに対応できるように。
- (3)食事、睡眠、便秘など。
- (4)安全管理
- ・切りキズ、ねんざなどのケガ。

カブのキャンプ・カブホリデイの企画と実施(例)

- ◎下見の結果を検討
- ・キャンプ地を決定し団委員会にはかり承認を受ける。

- ◎説明
- ・ローバー、シニア、ボーイの協力、応援を依頼する。

- ◎備品の整備、点検、発送
- ・健康管理。
- ・プログラム。

- ◎開催時期
- 6月末～7月末頃
- ・新年度運営の概要決定。
- ・カブキャンプ・カブホリデイ実施月の決定。
- ・プログラム委員の選出。
- （カブのキャンプ委員長）

- ◎キャンプ委員会を発足!
- ・キャンプ委員長を中心
- にカブ隊全リーダーと
- 保護者の中からお手伝い願える何人かの人々。

第一回目の会合日

- (1)いつ……実施日
- (2)どこへ……候補地選定
- (3)どのように……期間、経費
- (4)テーマとプログラム夢とロマンにあふれた普段の集会では味わえないスケールの大きい迫力のあるもの。(アイデア発表)
- (5)下見実施日の決定

- ◎キャンプ候補地下見実施!!
- ・原則として現地施設一泊。
- ・カブ隊全リーダー参加。(参加できる日時・数回に分けて)
- ・組宿舎の点検、室内ホール。
- ・食堂、洗面所、浴場なども。
- ・野外集会場(広場、營火場)
- ・急救連絡所の確認。

- ◎自然環境は?
- ・野外プログラムの実施可否。
- ・カブのハイキングコース。
- ・宿泊、食費、おやつ、資材購入など。

- ◎準備
- (1)プログラムの再検討
- ・詳細時間表の作成
- (2)キャンプ実施要項
- ・しおり原案作成
- ・キャンプ概要。
- ・役務分担。
- ・携行品。
- ・費用など。

- ◎準備と責任分担
- (1)できるだけ早目に交通機関、宿舎、その他への申込み。
- (2)キャンプのしおり作成
- ・隊・組備品の調達、購入
- ・健康管理の応援依頼
- (3)隊・組備品の調達、購入
- ・役務分担。
- ・携行品。
- ・費用など。

- ◎点検・整備
- (1)できるだけ早い機会に申込書の作成
- ・(2)健康診断・調査書、参加申込書の配布。
- ・(3)健康診断・調査書、参加申込書の配布。
- ・(4)健康管理の応援依頼

- ◎記録・反省
- (1)できるだけ早い機会に(2)記録の整理。
- ・記録の整理。
- ・反省会の実施。

- ◎記録・反省
- ※次のキャンプの最もよい材料となる。
- ・キャンプのしおり、健康調査書配布。
- ・キャンプのしおり、健康調査書配布。
- ・参加申込み受付。
- ・懇談。

◎リーダー会において詳細打合せ

岡山大学助教授
田中治彦

B-Pの軍人生活

一九七六（明治九）年、B-Pは父親がかつて教授をしていたオックスフォード大学の入試を受けて見事に失敗した。ベーデン・パウエル一家は失望したが、続いてB-Pは英國陸軍の試験に七一八名中五位という立派な成績でパスして面目を保った。祖父が海軍提督、叔父が陸軍大佐であったので軍人になることについては、給料が安いということを除いて一家としては異存はなかった。

大英帝国の尖兵として

こうしてB-Pの三十一年に及ぶ軍隊生活が始まる。表を見ていただきたい。B-Pが現役で活躍した一七七〇年代から一九一〇年頃までは、英國がその歴史上最も対外的に伸張した時代であった。一八六〇年に約六五〇万平方キロの面積、約一億五百万人の人口を擁していた英領植民地は、世紀末の一八九九年には世界の全陸地面積の四分の一に相当する二〇〇〇万平方キロ、人口三億五千万人を抱え

る一大帝国となつたのである。大英帝国の軍人であつたB-Pがいかに忙しかつたかは、この事実だけでもわかるであろう。

十九歳で騎兵士官候補に任官したB-Pは、二カ月経たないうちに船上の人となつて、印度人の傭兵であるセポイの反乱（一八五七年）をかろうじて鎮圧したイギリス政府は、翌年東インド会社よりインドの支配権を奪い、全土の直接統治をはじめる。B-Pが赴任した翌年（一八七七年）には、ビクトリア女王が印度の皇帝を兼ねることになり、印度は「大英帝国の王冠にとちりばめられた最も大きな輝かしい宝石」と謳れ、ここにインド支配の最盛期を迎えるわけである。

七八年、B-Pがインドの猛暑に負けて病氣で一時帰国している最中に、アフガニスタンで戦争が起きた。ソ連の侵略に対して十年間戦い続けたアフガニスタン人の勇敢さは私たちの記憶にも新しいが、当時も英國軍はアフガニスタンの反乱に手を焼き、植民地戦争中

でも記録的な大敗を喫している。B-Pも途中から戦列に加わり偵察などに活躍する。結局、八一年英軍はカンダハルをアフガニスタン王に渡し、インドに引き上げる。

B-Pは一八八二（明治十六）年に二十八歳で南アフリカに向かう。B-Pはこの時も含めて軍人として五度、足掛け十六年に渡って南アに赴いている。南アの状況については、次回「ボーア戦争」でまとめて解説しよう。

一八九五（明治二十八）年、B-P三十八歳の時にガーナに行く。ガーナは当時黄金海岸と呼ばれ、その名のとおり十四世紀以来、海岸の砂金にヨーロッパ人たちが群がるが、後には奴隸貿易の基地となる。イギリスは七年にオランダ人より黄金海岸を買収し、フランスの北方からの進出に対抗する形で内陸征服を開始する。海岸のすぐ北にあつたアシャンティ王国軍は、七三一七四年、イギリス軍と戦つて領土を譲らなかつた。イギリスは九年、再び征服戦争を開始した。B-Pが従軍したのは、この時である。イギリス軍は首都を占領して、九七年アシャンティを保護国とした。

昔も今も植民地下の民衆の苦しみは変わらない。インドでは十九世紀末の二十五年間に十八回の飢饉がおこり、千五百万人もの餓死者を出している。B-Pが植民地の民衆に対してどのような感情を持つていたのか、残念ながらそれを推測する資料に欠けている。



偵察と余興と

軍隊生活を知らない私たちは、軍人は常に戦闘を控えて緊張しているのだと思いがちであるが、実は退屈と弛緩との戦いなのだそうである。異国で楽しみも少ない軍人たちにとって、劇も歌もでき舞台の演出までできるB-Pの存在は貴重であった。B-Pの名が初めて新聞に出たルックノー・タイムス紙は「部隊はタレントのあるコメディアンを発見したことの大いに誇るべきだ」と報じている。

B-Pの趣味は野豚狩であった。これは象に野豚を追い出させ、馬に乗つて追いつめ串刺しにするという危険なスポーツである。B-Pはこれが得意で、八九年には「豚刺しと野豚狩り」という本まで出している。皮肉なことに、これはスカウトのおきて第六項「スカウトは動物の友人であり、むやみに殺傷してはならない」に反する。スポーツはスポーツ、動物愛護は動物愛護ということなのだろうか。

B-Pは最初のインド駐在時代に偵察術を身

軍人としてのB-Pの足跡

1876	騎兵士官候補としてインドへ
1878	病氣のため一時帰国
1879	再びインドへ
1883	南アフリカへ
1885	帰国
1886	スペイとしてドイツ等へ
1888	司令官付副官として南アヘ
1890	マルタ島へ
1895	黄金海岸（現ガーナ）へ
1896	一時帰国し、再び南アヘ
1897	司令官としてインドへ
1899	南アヘ（ボーア戦争始まる）
1901	帰国して再び南アヘ
1903	帰国。米國出張
1906	南ア、ケニア出張
1907	中将として退役

この時代のB-Pをめぐるエピソードは数多くあるが、誌面の関係で紹介できない。スカラライブラー『ベーデン・パウエル伝』、志村武『ベーデン・パウエル』などをお読みいただければ幸いであります。

この時代のB-Pをめぐるエピソードは数多くあるが、誌面の関係で紹介できない。スカラライブラー『ベーデン・パウエル伝』、志村武『ベーデン・パウエル』などをお読みいただくのである。

あと5ヶ月で

スカウトの日

9月
15日

目的

「スカウト奉仕の日」として昨年スタートした9月15日の全国一斉活動を、将来のより幅広い展開を目指して「スカウトの日」と改めた。

奉仕活動をはじめ、様々なイベント等を全国加盟員がこの日一斉に街へ出て展開することにより、広く社会にスカウト運動をアピールする。

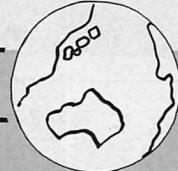
4つの活動内容



スカウトカントリー 大作戦 PART 2

昨年よりもっと楽しく、もっと効果的に。この日の全国メイシイベントとして、もう一度挑戦！

街に投げ捨てられた空缶を回収し、資源の再利用を目指します。



環境を 大切にする活動

今年の8月31日まで「世界スカウト環境年」です。自然の中で遊び、学ぶスカウトたちの環境を大切にする心はこれからもずっと続いていくでしょう。

(土を、水を、空気を美しく。植物を守ろう等)



「スカウトの日」の活動資料が4月下旬に各都道府県連盟を通じて配布されています。

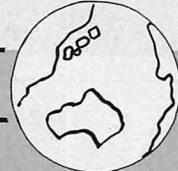
6月号、8月号とスカウティング誌に掲載されるこのページとあわせて、ご利用下さい。



敬老の日に 沿った活動

9月15日は敬老の日。地域のお年よりといっしょに楽しい時間を。お年よりとスカウトたちの良い関係をこれからも続けていきたいものです。

(老人ホーム訪問、手入れのお手伝い、敬老会への参加等)



各団オリジナル プログラム

9月入団のスカウトたちに、まずは楽しい催しを。地域の人たちにも声をかけて、スカウトの輪を広げよう。どんな楽しいプログラムを展開できるか、全国で知恵くらべです。

救急車と家庭内事故

原山 金三 東京消防厅中野消防署長

救急車の利用

東京消防厅の昨年の救急出場件数は、東京消防厅所有の救急車百六十八台で三十九万件を超え、あの独特のピーポーサインが一分二十秒に一回出場しました。これは、都民二十九人に一人が利用した割合になります。救急隊員は一般消防隊員から選抜された三人が一チームとして乗車します。一定の専門教育を受けたベテランで、あらゆる救急処置に対応できる知識、技術をもつておりますので、安心して利用していただけて結構です。ただし、利用条件として「緊急性」があることが必要です。サイレンを鳴らして一刻も早く医師の管轄下に置くからには、「タクシ一代り」の利用は困るのであります。

一一九番への通報は、「火事か、救急か」「住所」「目標物」「状況」などを、冷静に的確に伝えます。特に子どもた

ちには自分の住所をしつかり覚えさせ、さらに電話のそばに住所などを書いた紙をはっておくと役立ちます。

しかし、核家族化が進み、親から子へ伝えられてきた家庭内の応急救手当の知識も乏しくなってきた昨今では、あまり緊急性にこだわらないで遠慮なく「一一九番」を回してください。

大手町にある東京消防厅指令センターには医師が常駐しておりますから、利用者にも救急隊員にも適切なアドバイスができます。ただし、救急車を呼ぶほどではないが目や歯が痛くて朝まで待てないといった場合は東京消防厅災害情報センターを利用して下さい。

電話は、テレホンサービス 東京03(3212)2323です。

時間との戦い

ファーストエイドとは「応急救手当」と訳しますが、私は「時間との戦い」と意訳する必要があると考えます。出血している人には一秒でも早く止血の処置をしてやらねばなりません。また、呼吸が停止している人には、やはり一秒でも早く人工呼吸を実施しなくてはなりません。救護を要する人に最初に手を差しのべるまでの時間は、短いほど良いことはもちろんだからです。

(一) ドリンカーの生存曲線(表1)

(時間と蘇生率との関係)

このグラフでもお分かりのように、呼吸が停止してから五分以内に人工呼吸を開始した場合で、生存率は二十五%ですが、十分後ではなんと〇%になってしまいます。

訓練された人が、二分以内に開始してくれれば、

九十秒以上の確立で生命が救われるのです。

(二) 血液の量と失血危険

成人の全血液量は、体重の約八分の一から十四分の二で、約

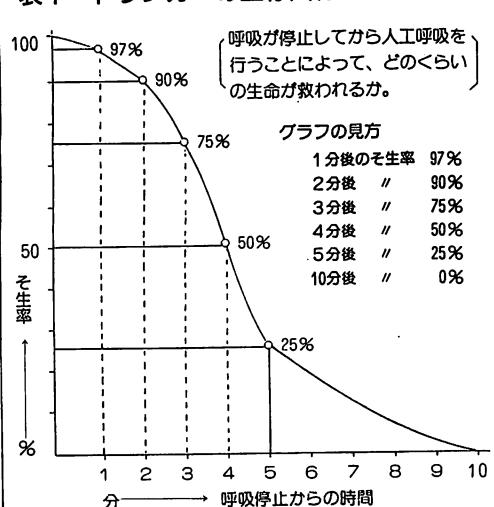
五千ccと見られておりま

す。大量出血の多い切り

傷の場合、全量の三分の一

を失えば

表1 ドリンカーの生存曲線



これらの、いずれも重要な止血点ですが、脈をとるのは手首が多いようですね。

ファーストエイドが、時間との戦いであることが理解できただしょーか。

- ・手首(橈骨動脈/親指側)
- ・首の両側(総頸動脈)
- ・両脇の下(腋下動脈)
- ・両股の内側(大腿動脈)

生命が危険であり、二分の一(二千cc)を失えば死亡するといわれています。こんな時には体表に近い動脈の位置を正確に知つていて、早期に止血処置をしてやれば、救命率はぐんと上がるに違いありません。

ちなみに、私たちの脈拍数は毎分六十から八十回ですが、どの部位で測っていますか。

それでは、応急救護の方法や救急制度などを簡単に説明させていただきます。

応急救護の方法

(一) 観察

スカウト活動においても、「観察」は最も重要なことの一つです。それは、正しい知識や行動の基本となるからです。応急救護においても、迅速かつ正確な観察は、適切な応急処置と搬送そのための基本となります。具体的には、周囲の状況や二次的危険はどうか、傷病者の状況やバイタルサイン(意識、脈拍、呼吸を数値で表すもの)、血圧などです。

このほかいくつかの観察によって、最初にするべき処置が決まってくるのです。

ある例で、救急隊が到着して観察や質問を始めたところ、そんなことより早く病院へ運んでくれと怒鳴られたといいます。これでは助かる患者も助かりません。観察の重要性を理解してもらいたいのですね。

(二) 人工呼吸と心肺蘇生

人工呼吸は自分の力で呼吸のできない傷病者及び呼吸困難な傷病者に対し、人工的に空気を肺胞に送り込み、血液の中に酸素を供給し、呼吸を回復させようとするものです。

心臓の停止の三徴候

・呼吸をしていない

・瞳孔が大きく開いている

・生体が低酸素症状態におかれると、脳細胞は重大な障害を受け、最悪の場合には植物人間になってしまいます。

最悪の結果に至るまでの時間は極めて短く、ドリンカー曲線が示す通りです。

家庭においても、スカウト活動においても、このことを忘れないでください。

この場合、気道を確保して酸素吸入マスクなど各種の人工呼吸法と胸骨圧迫マッサージ、そして心肺蘇生法などを、できれば二人の経験者が処置できれば理想的です。なお、人工呼吸の送気回数などが最近変りましたので念のため。

(三) 止血

日本酒の一升瓶は一・八リットル、つまり千八百ccであります。とすると、人間の体には約二升弱の血液が流れていることになり、そのうち一升瓶一本分の血液を失うと生命に危険があるということです。

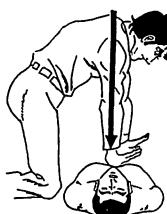
先に述べた動脈の圧迫止血なども、技術的にはいろいろの方法(手拭や棒の使用)がありますから、実際に経験してみて覚えることと、出血現場ではとにかく冷静さを失いかねませんので、

(東京消防庁資料より)

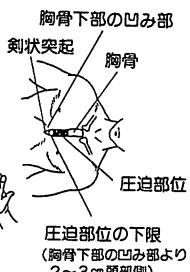
表1 心肺蘇生法

(呼吸がなく、脈もふれなくなったら実施します。)

◎ 心臓マッサージのしがた 圧迫部位と手のおき方



- ① 圧迫部位を確認する
- ② 圧迫部位に手をおき、もう一方の手を重ねる。
- ③ 垂直に圧迫する(肘は曲げない)。



- ④ 胸から手がはなれるくらいに力をゆるめる

押す力は、大人で胸が3.5~5cm沈む位、圧迫する。
(小児(10歳以下)は片手で2.5~3.5cm
乳児(1歳以下)は中指、環指の2本で1.5~2.5cm)

表2 人工呼吸

① 頭を後にそらせたのち、鼻をつまむ。



② 大きく口を開けて、傷病者の口を覆い、息を吹き込む。



③ 吹き込みが終ったら、口と指をはなし、傷病者は息を吐き出し息と胸腹部の動きを見る。



人工呼吸のリズム

最初の1回は静かに吹き込み、気道の開通状態を確認する。続いて1回速く強く吹き込む。その後は、5秒に1回のリズムで吹き込み(成人)。吹き込みは1秒から1.5秒かかる。



(四) その他

このほか、患者をいかに安全な体位で搬送するか、また、骨折の場合の副

子固定法、そして傷口の被覆包帯など、基本的に習熟しておかねばならない応急手当が、まだまだたくさんあります。

スカウト活動のカリキュラムには救急法がありますが、レサシアン（人体模型）を使つたり、お互いに傷病者になりあつて、実際に訓練し体験する必要です。近い将来予想される大地震の発生時には、是非ともスカウト組織が救護活動に大活躍してもらいたいものです。一昨年に、サンフランシスコ周辺で発生したロマプリータ地震においては、民間ボランティアの活躍のすばらしさが全世界に紹介されましたのも、記憶に新しいところです。

最近の事故例など

(一) ハイムリック法

一九番に「おじちゃんが餅を喉につまらせた」との通報がありました。受信者の指導で背中をたたいたが効果がなく、救急隊が早期に到着して、ハイムリック法（患者の後部にまわり、患者の腕の下から自分の腕を前にまわして、横隔膜下腹部を圧迫する方法）でつかえた餅を取り出せたことから一命を取り止めたが、これも時間との戦いの一例でした。

(二) 水の事故（それも家庭に多い）

平成一年中の溺水事故件数は百六十

九人でしたが、河川や池などの転落が約二十パーセントなのに對し、家庭内の浴槽、水槽、洗濯機などでの事故が六十三パーセントにも及んでおります。老人や児童に多いことは痛ましいことで、予防はもとより、早期発見、早期処置が何よりも大切なことです。

(三) 感染症に注意

ボランティアとして応急救護にあたる場合、相手がどんな病歴の人か分かりません。そんなことから感染症を恐れるあまり、消極的になつても困りますが、出血の場合などには、肺結核、B型肝炎、エイズなどに注意する必要があります。特に自分に傷があつたりした場合は感染症の恐れがありますから、正しい知識とそれを知った場合の事後処置（消毒）などが必要となります。

救急制度の現状

(一) 医療機関の選定

救急車は患者の容態をそれ以上悪化させないようにして、適応医療機関に運ぶのが任務です。搬送先は一次医療（軽傷）、二次医療（中等症）、三次医療（命に危険がある場合）に分かれ、救急指令センターに常駐する医師や救急隊員の判断により搬送しています。特に夜間には専門医の当直などをコンピュータの端末に入力しておくなどの

対応をしています。

(二) 発信地表示システム

今まで一一九番ただだけでは、場所を確認することが困難でした。しかし

昨年からの新システムにより、一一九番を回すと指令センターのディスプレーに相手の場所が表示され、「苦しい」と言つて受話器を置いても救急隊がその現場に到着することができるようになります。すでに、このシステムが功を奏した例がいくつか報告されており、画期的な進歩といえます。なお、従来より早い現場到着が可能になる、出場予告というシステムも同時に導入されました。

(三) 救命率の低い日本の救急

アメリカのパラメディック（医師に近い处置のできる特別救急隊員）制度や、フランスやソ連などの医師同乗制度のある諸国は、プレホスピタルケア（病院前救護）ができますから、救命率（社会復帰をした患者のみ）は二割から三十割に達するのに比べ、日本ではプレホスピタルケアが認められていないことから、救命率は二割から五割という低さなのです。

そこで医師法との整合を図りながら、特定の資格者を救急隊員とする「救急救命士」制度を今年中に法制化し、「気管内送管」、「除細動」（電気ショック）、「輸液」（点滴）などができるよう

になります。そうすれば欧米並の高い救命率が期待できることをご紹介しておきます。

応急救護知識と技術の修得を

健康で安全な生活は、誰もが望むはずですが、そのための不斷の努力をしているでしょう。

関東大震災（大正十二年）の教訓として、数寄屋橋公園の記念碑に「不意の地震に不斷の備え」と刻まれております。ボーラーク（モットー）も「そなえよ、つねに」でしたね。

正しい応急救護の知識を、自分の体に覚えさせておく。つまり、いざというときには自然に体が必要な動きをするまでにならねばなりません。空発事故に遭遇した時に、何をしたら良いのか考えていたのでは間に合いません。これから高齢化社会には、是非とも皆さんの協力が必要です。最初に書きましたように、人間は呼吸をして心臓を動かして尊い命を維持しているのですから、その人体構造と機能を知った上でのファーストエイド（応急救急）が大切です。傷病者のために救急車の到着までの貴重な数分間、あなたの温かい手を差しのべてください。

大 大 大 募 集

ローバームート'91のテーマソングとシンボルマーク、そしてスタッフ（ローバームートの準備から運営まで一緒に参加してくださるキミ）を大大大募集。アイデア、作品、お申し込み、お問い合わせなど、ドシドシお寄せください。連絡先・〒181 東京都三鷹市大沢4-11-10 ボイスカウト日本連盟事務局内「全国代表者会議」係

カーバー
通信

ローバームート'91 ムートニュースNo.1

発行：(財)ボーイスカウト日本連盟 編集：ローバームート'91委員会

表 あなたの参加が大切です!!

ローバーのみなさん、ついについにムートの復活です。日本でムートが途絶えてから、19年が経過しました。その間各地でのムートやローバーの大会が継続して行われてきましたが、第1回ローバーシンポジウム・第2回ローバーシンポジウムを経て、今年はムートを開催いたします。

開催期間：1991年8月29日（木）～9月1日（日）

山中を再びローバーのメッカに!!

日本ローバームートは過去に青年合同野営と称して数回開催された後、昭和47年（1972年）山中で開催されたのを最後に中断をしていました。山中野営場への奉仕も積極的に行われてローバーのエネルギーを生かす場所として親しまれてきました。このローバームート'91もムートの復活を期してここ山中野営場から出発します。

開催場所：ボーイスカウト日本連盟山中野営場
参加予定人員：400名

参加資格：ローバースカウトおよび同年代の指導者。同年代のガールスカウトも招待する。

*詳しい内容については逐次スカウティング誌上

今後のムードニュースに掲載いたします。

メッセージ

☆僕ら委員会のメンバーはおいしい素材をたくさん用意しています。作るのはあなた!? 食べるのは僕!?" という君。ぜひ参加しよう。

☆東京で、愛知で、大阪で、北海道で、全国各地からローバーの積極的な活動の声が届いています。その輪をここで大きな輪にしましょう!!

☆いつも受身でいるそのローバー、いまこそ自分からローバー活動のアクションを始めるチャンスです。

僕らが作るローバー活動にヒーロー・ヒロインが必要です。楽しむためには自分からという人、募集中です。

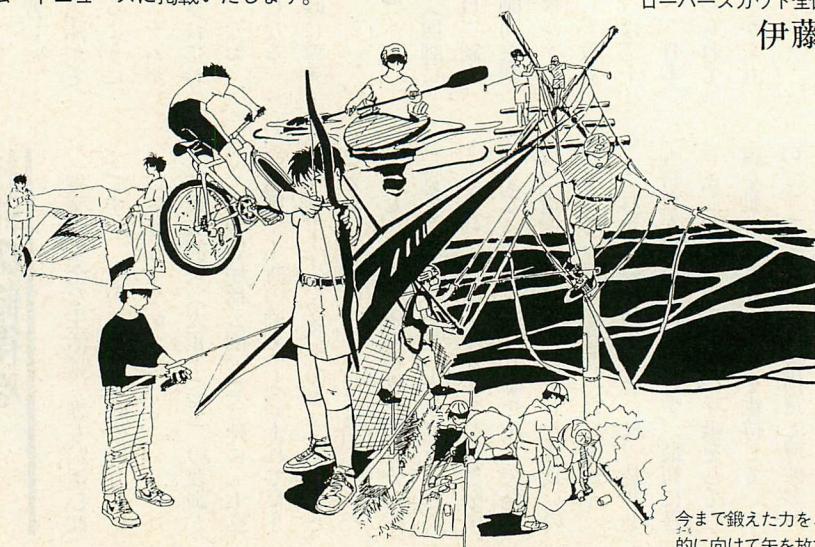
☆とりあえず、参加してみるのがいいですね。だって参加しなくちゃわからないのだから。山中はよいところです。

☆今、エネルギーッシュにローバー活動に取り組む私。週に5日はローバーのためにせっせと会議に参加しているのです。この熱意をあなたに伝えたい。

☆楽しむためにどうしたらしいとお嘆きのあなた。
とってもいい方法がありますよ。それはムートに参
加することです。思い立ったが吉日。申し込みをして
ください。

日一バースカウト全国代表者会議

伊藤 芳績



ムート人
夢

これからの大学ローバー活動 (入学シーズンを終えて)

新井 誠



昨年11月の国士館大学楓門祭にて。出店で料理の腕を披露。

ローバー活動をするには恵まれた環境にあるはずの大学ローバー。なぜ、大学ローバーは日本におけるローバーリングのバイオニアになり得ないのか? また、なぜ多くのスクワット関係者の誤解すらまねいているのか?

昨年から、我が隊は今までの体質から脱皮

すべく新しい活動の模索を始めた。その経過の報告を以下に述べたいと思う。

その前に、大学ローバーの置かれている特徴性を我が隊の紹介を兼ねて説明しなければならない。

我が隊は東京連盟世田谷第二十五団ローバー隊だが、大学内では国士館大学「ローバーゲイズクラブ」として大学から部室や活動費の援助を受けている公認の部である。大学ローバーは学内と学外にそれぞれ異なる顔を持つている。つまり、团委員長は学内では部長、隊長は学内では監督、スカウトの代表である隊付は主将と呼ばれる。学外ではボーライスクウトの加盟団だが学内では学生部の指導下にある一つの部として扱われる。大学関係者は特にボーライスクウト活動には理解や興味を持っていない。

① 経験者確保の方法について

現在のスカウト数は十名、その内の七名は一般入試に先立つて行なわれる推薦選考(特技・特能の優先入試)願書の提出書類に添えて、そのスカウトのスカウト活動における各章レポート、奉仕記録、所属隊長の推薦文を提出する方法を行なった者たちである。我が部としても有能な人材の確保のために、それらの書類の効果的な書き方などをアドバイスした。受験生側の努力もあって昨年五名、本年二名の確保に成功した。また、事実、入部後も彼ら主導の活躍で我が部の活動はそれまでと比べ、はるかに飛躍をとげたし、本来のスクワッティングから脱線して、ただの野外活動部に変形していく可能性はなくなつたと私自身は思っている。来年も有能な人材確保の

ために本年と同じ方法をとつていきたいと考えている。

② 具体的な活動方法について

私たちが彼らに望む事は、自らのニーズを

具体的な活動にまで高めるために自分たちで企画・立案させ、それを実際に計画通り展開・

実施さらに終了後自らの計画や行動を評価・反省するところにある。大切な点はシニアの一頃と異なりリーダーが一切手出ししないことである。もちろん、計画書や報告書の提出については厳しく言うが、それ以外はプロ

ジェクトはグループでも個人でも構わないし無理な注文をつける気はない。それは彼らの意志やプライドを傷つけるだけだ。さらにもっとも重要な点は「これら活動の基盤にはスカウト精神「ちかいとおきて」が存在しなければならない。

③ 大学ローバーのローバーリング
ローバーリングはビーバーから一貫して活動してきた最後の仕上げ部分である。それが他隊の奉仕に忙殺され、自ら「自分は今までボーライスクウト活動を通じて何を学んできたか」を振り返る時間さえ与えられず、いわば未完成のままリーダーの道に入つていく。自分自身で自分を磨く最後のチャンスを逃してしまう。その機会が充分に与えられるのが大学におけるローバーリングである。また、地方から東京の大学へ進学したスカウトがそのまま音信不通になつてスクワッティングからタイアしてしまったケースも防げるはずだ。学内や地区の行事にユニフォームを着て積極的に活動する我が隊のローバーたちに昔の「体育会」的な影は見えない。多くの関係者のさらなる理解を得ると共に「大学ローバーでローバーリングがやりたい」と思つてくれるスクワットたちが一人でも多く増えるように努力をかさねていきたいと思う。

(東京 世田谷第二十五団 国士館大学
ローバーガイズクラブ 隊長)

投稿
待つてます!

I ムート人
夢

ボーライスクウト運動について、教育について、今の若者について、このページで語られた内容について、はたまた広く社会事情全般について……。キミが思つてることを自由に語つてもらおう——ナード。
題材の形式は自由、ペンネームOKだ。ローバーの皆さん、また、「ローバー活動についてチョット言いたいんだけど」という皆さん、投稿待つてます。

II ローバー ローバー

全国のローバー隊で行なつた楽しい活動を紹介。できれば活動中の写真も送つてください。入隊希望者のために、隊のご連絡先もお忘れなく。また、「これからウチの隊でこんなことやるんだけど……」という活動予定のPRも受け付けられるからね。

★このページへの投稿先

西一81 東京都三鷹市大沢4-11-10 ボーライスクウト日本連盟事務局「ローバー通信」係

「こんなコーナーをつくってほしい」なんて声もドンドン待つてます。



第17回世界ジャンボリー、ジョンソン・ジャンボリーのテーマ

一つの世界 多くの地域

第十七回世界ジャンボリー 各国参加予定者数

ボーリスカウト韓国連盟から発表された、第十七回世界ジャンボリーへの各国参加予定者数（スカウト、指導者数）は、次のとおりです。

この数字は今年一月二十五日現在のものですが、今後若干の変更はあるものと思われます。

●アフリカ地域	計四二〇名
ガーナ	三三
ガボン	八〇
ガンビア	八
ケニア	八

●アラブ首長国連邦	計六四名
オマーン	一九
チュニジア	一一
アラブ首長国連邦	一四
計六四名	一四

●アジア太平洋地域	計四、六一六名
オーストラリア	二〇
バングラデシュ	一四
ブルネイ	一二
中国（台湾）	四四〇
フィジー	二〇
香港	一三三
インド	三三
インドネシア	七七二
日本	一〇
モルジブ	七八
ニュージーランド	一八
パプアニューギニア	八八
フィリピン	二六
サイパン	一七二
シンガポール	三八
タイ	一八
●ヨーロッパ地域	計四、〇九〇名
アルメニア	一三
オーストリア	六二
オーストリア	六二
ベルギー	三〇
キプロス	三一八
フランス	一九七
フィンランド	一八一
ドイツ	一八
ギリシャ	一九七
ハンガリー	一七〇
アイスランド	一七
イタリア	四〇
リヒテンシュタイン	四五
計四、〇九〇名	四五

●その他地域	計一、三〇一名
カナダ	一八
アルゼンチン	一八
バルバドス	八
ブラジル	三三三
チリ	三五
コロンビア	一二
コスタリカ	一七〇
ジャマイカ	四
メキシコ	四
トリニダード・トバゴ	三三
アメリカ合衆国	三三
タヒチ	三三
ソ連	三三
アラブ首長国連邦	三三
（フランス領ポリネシア）	三三
バーミューダ	三三
計一、三〇一名	三三
合計 七一か国	七一
一〇、八三〇名	一〇、八三〇名

第17回世界ジャンボリー前後の イギリス、アイルランド、アイスランド 派遣団の来日予定一覧

第17回世界ジャンボリー（IWJ）に前後してイギリス、アイルランド、アイスランドの派遣団が来日します。総計で1,480名が日本各地に滞在することになります。

滞在中はホームステイをし、各地区、各県連によってさまざまな歓迎プログラムが用意される予定です。

札幌（千歳空港）

8／1～8／7	40名
2～8	40名
•••••	
8／16～8／22	42名

計122名

東京（成田空港）

7／30～8／5	40名
31～6	40名
8／1～7	42名
•••••	
8／16～8／21	80名
•••••	
8／16～8／21	82名
•••••	
16～19	2名
18～23	40名
20～23	2名

計244名

大阪空港

7／30～8／5	40名
31～6	40名
8／1～7	42名
2～7	40名
•••••	
8／16～8／21	25名
16～22	80名

計267名

新潟空港

8／2～8／7	80名
•••••	
8／16～8／21	82名

計162名

名古屋空港

8／1～8／7	80名
2～7	80名
3～7	2名
•••••	
*8／13～16	11名

8／16～21	120名
17～22	70名
18～23	40名

*“ゴー・フォー・ミリオン”
計画優秀班のスカウト9名
(12～15歳) 及び指導者

長崎空港

8／2～8／7	80名
•••••	
8／16～8／22	82名

計80名

計202名

計403名

総計1,480名



参加申し込み締め切りせまる！

- ・健常スカウトの場合も同じ方法で申し込みをしてください。
- ・指導者、介添者の人数は必要最小限度に留めてください。
- ・日頃、一緒に活動しているガールスカウトの障害児の団からの参加希望についても同一の方法で申し込みをしてください。

第6回日本アグーナリー参加申し込み書			
選 → 遠送		月 日 提出	
遠送 → 日達		月 日 提出	
財団法人ボイスカウト日本連盟 事務局長 荒尾雅也様	ボイスカウト 連盟事務局 _____ 兼		
次のとおり参加申し込みがありました。芦ヶ谷を希望する指導者、スカウトは平成3年度登録を完了しており、 参加資格をそなえていますので参加費をそえて申し込みます。			
参加員 : _____ 名 分 ￥ _____	連絡先 住 所 _____		
送金方法 : _____ 月 日 _____	(選 → 遠送)	□ _____	

1. 指導者及び介護者	
No.	ふりがな 氏名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

見本

2. スカウト	
No.	ふりがな 氏名
1	

第6回日本アグーナリー本部員参加申込書

氏 名		所 属		役 務	
住 所	〒 ・都・道 ・府・県				
□	自宅		勤務先		
生 年 月 日	大・昭 年	年 月 日	満 令 成	特 技	
奉 仕 希 望 部 署	見				
	本				
	本部員は、次の各部に奉仕していただきます。				
	① 総合サービスセンター (施設、医務、広報に関する業務)				
	② 生活管理センター (参加者の生活援助、会場、施設資料、給食に関する業務) (業務、ならびに交付事務に関する業務)				
③ 活動センター (行事全般、参加者の登録、申込調整、 (講師登録)の輸送に関する業務)					
④ 勤務仕事部 (会員本部に所属し、参加隊との連絡、調整、援助) (にあたる業務)					
上記の①②③④のうち、希望する部署を○で囲んで下さい。 但し、希望のどおり配置ができない場合があります。 予めご了承下さい。					
<input type="checkbox"/> この用紙を3枚1葉りになります。1枚は本人控、2枚を連盟へ提出して下さい。 <input type="checkbox"/> 連盟は1枚を控、もう1枚を日本連盟へ提出して下さい。					

6 NA 参加申し込み方法

第6回日本アグーナリーへ参加を希望する方は、次の手続きにより、申し

2 本部員

本部員として奉仕していただく方は
別紙（B5判）申込書用紙に必要事項

部署の記入欄がありますので、希望する部署に○をつけてください。
・但し、各部の編成上、希望どおりに配属できない場合があります。あらかじめご了承ください。

1 スカウト（障害スカウト・健常スカウト）、指導者、介添者

参加希望者は、隊または団で一括して別紙（B4判）の申し込み書用紙に

必要だ。雪野を詰りし、参加費一人一千円を添えて、県連盟へ提出していください。

期日が決まりましたので、ご確認ください。
・参加申し込み書は三三

増合がみ

・参加申し込みは、平成三年五月十五日までに行ってください。（県連盟にて）

・なお、宿泊定員などの都合により、
ご奉仕いただけない場合があります。

※参加申し込みについての詳細は、所
属県連盟にご確認ください。

・参加申し込み書用紙の中に奉仕希望申込みます。一部は本人持として会場へ携行し、二部を県連盟へ提出してください。

キヤツ・ブハンディ活動とは

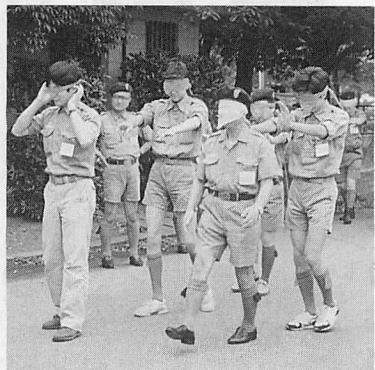
日本連盟障害児スカウティング委員会

キヤツ・ブハンディ、その内容

町の中で、白い杖を持った目の見えない人が横断歩道で困っている姿や、車イスに乗った人が階段や段差の有る所で立往生している姿を見かけたことがあります。

その時、あなたはスカウターとしてどのようにされますか。スカウターでなくとも、きっと、手を差しのべてあげたいと思われるのではないでしようか。ただ、目の見えない人の誘導法や車イスの扱い方を知らないばかりに、その手助けをためらわれているのではないでしょうか。

キヤツ・ブハンディ活動は、障害をもたない人に、車イスに実際に乗つてもうなどして、その障害を体験していく活動です。



障害児スカウティング研究会でのキヤツ・ブハンディ風景

回世界ジャンボリー（昭和五十年・ノルウェー）で初めて実施され、今年の夏に韓国で開かれる第十七回世界ジャ

ンボリーにおいても、第一サブキヤツ・ブが担当して展開される大変重要なプログラムになっています。

それではここで、キヤツ・ブハンディの基本的な内容について簡単に触れてみます。キヤツ・ブハンディは、主に障害の種類別に展開されます。

①オリエンテーション
ここでは、キヤツ・ブハンディの体験の仕方について説明をすると共に、障害児スカウティングの歴史や現況、障害の種類についての学習をします。

☆車イス体験
②肢体不自由

白杖でのサイン（目の見えない人が手助けをしてほしいときに、白杖を上方に上げる）などを知つてもらうと共に、白杖の使い方や盲人誘導の方法を学習します。

☆点字

点字の仕組みや点字の打ち方、点字の読み方などを実際に点字板や点筆を使つて学習してもらいます。

④聴覚障害 ☆手話法・口話法

手話や指文字、口話法についての学習をしてもらいます。

プログラムへの導入

わが国では、第一回日本アグーナリー（昭和四十八年・愛知青少年公園）において「福祉体験コーナー」という名称で実施されたのが最初で、以後、ジャンボリーやベンチヤーなどでも実施され、多くのスカウトたちが挑戦し学習してきました。世界的には第十四

実際に車イスに乗り、操縦法や車イスを動かすときの注意事項などを知つてもらうと共に、車イスのたたみ方やひろげ方、そして階段や段差の有る所での介助の仕方や車イスの持ち上げ方などを学習します。

☆片手体験

さき手以外の手で、ハサミやお箸などを使つて、その難しさを体験してもらいます。

④隊キャンプで

数種の課題を隊キャンプのプログラムに組み入れて行う。

③ジャンボリー、キャンボリーで

一連の課題からなる規模の大きいキヤツ・ブハンディ活動を、ジャンボリーなどのプログラムの一つとして行う。

④地域社会で

スカウトが障害をもつ人々とともに歩み、積極的な援助活動を行つてることに対して、広く地域社会に理解を促す意味を含め、一般の人たちを対象にキヤツ・ブハンディ活動の場を提供。

以上、キヤツ・ブハンディについて簡単に述べましたが、第六回日本アグーナリーでは、スカウトやリーダーが見学し、体験できるように、キヤツ・ブハンディコーナーを用意していますので、他の展示・見学コーナーへの来訪と共に、是非ともキヤツ・ブハンディコーナーへの参加をお勧めします。

になつてきています。その進め方については、次の四形態に類型できます。このいずれかの方法、あるいはさらに発展させた方法で、効果的なキヤツ・ブハンディの実施を試みていただきたいと思います。

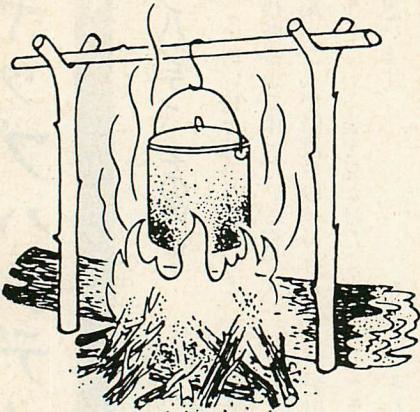
△隊集会で

週間シリーズとして設定したキヤツ・ブハンディ活動の課題を、一つずつ隊集会ごとに行う。

〈実態編〉 地球をダメにする野外活動

〈実態編〉

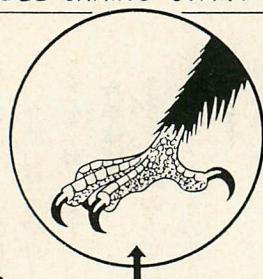
"DEADWOOD" IS NOT DEAD!



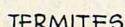
EVERY TIME YOU
BURN A LOG
YOU DESTROY
A LIVING WORLD!

USE ONLY
COMMERCIAL FIREWOOD

MANY FOOD CHAINS START IN LOGS!



**Every
Log's a
Living
World!**



EVERY LOG'S ALIVE WITH
BACTERIA, FUNGI, INSECTS, ETC.

載せましたが、たぶん、おわかりいただけなかつたかもしれません。

火の粉をまきあげ
天までこがせ!?

代から、オバアさんは川へ洗濯にオジイさんは山へ柴刈り（小さなボールを打とうとして芝を掘りくるゲームでは

つた食物の連鎖の中で釣合ってきたのです。
そして、たとえばシロアリは、森林の“掃除屋”らしく枯木を食べて自分
の役目を果たしながら小鳥に捕食され、

にボツとしなければならないでしょう。ちなみに、この歌はスカウト歌集に
はありません。市販の歌集には「星か
げさやかに」フランス民謡・作詞者不明となっています。しかし、この歌は
明るい前

（なく）に行つて仕事を分け、枯木を燃
料として使つてきたので、あの図に不
思議はなかつたと思ひます。
けれども、あれとペアになつてゐる
下の図をよおしく見てください。
もともと、私たちが枯木だと思つて
いたひとつかみの世界に、細菌やカビ
やキノコや虫などの生活があり、それ
ぞれが創造主の決めた取り分にしたが

それをトビやタカのような猛禽おほきがエジキにする、という「自然界の撻おき」があり、とくに自然界の食物連鎖の大切な最初の段階が、この枯木の小さな生命から始まることを知っていたら……。

食物連鎖は枯木の中から始まる
(オーストラリア連盟「国際自然保護プロジェクトキット」より)

五十年以上も前のスカウト指導者の訓練機関、中央実修所の大先輩が「フラン

スの古曲に詞をつけたもので、題は「ひと日の終り」。詞はスカウト歌集のとおりで、さきにあげた「もえろよもえろよ……」はありません。どうやらここ二、三十年のレジーヤーキャンプのムードから生まれ、大自然の営みに無神経な野外活動が拡がってきたのでしょう。

トンデモナイ!! この怒りを、枯木のシロアリに代って……。

野性はどこに?!

食べる。家庭や学校や職場や社会生活の普段の枠組みを外して自然に近づき、そこで非日常的な食事をする。

ワクワクするようなその楽しみは、私たちの深層に未開人だった頃の「満腹願望」が消えていない証拠です。それにも増して、一九三〇年代までに生まれた人々の多くが体験した太平洋戦争と戦後の食糧難を知っているなら、その満腹願望の強さは、いつになくても消えないようです。

そこで野外での食事といえば、宮中の園遊会はさておき、ごちそうを持ち寄るピクニックランチ、現地で調理するバーべキューや芋煮会などの会食、

キャンプ生活での食事、また特殊な例の捕食など、その範囲も行楽から保命^{サバイバル}へと遷移する緊急時に生存のため

までの幅があります。

さて、こうした食事のプランは、①メニュー②材料の調達③熱源と炊具の選定④食べ方⑤後片づけ(食器炊具の洗浄・残飯の処理・周辺の原状復帰)などを目的と合わせ、質と量とかたちを決めて進めるわけですが、実は、ここに自然環境をダメにする野外活動の全要素が含まれているのです。その実態を挙げてみましょう。

①メニュー: ひとつくちにオイシイモノ

といつても年齢によつても違うし、栄養を優先させると残飯を作るまずいメニューにもなります。表1~3に子どもやおとなが好むメニューと残菜の処理方法の事例を掲げましたが、味・栄養・簡便さ・経済性・残飯や後片づけの環境汚染の度合いなどについて考えさせられるデータといえましょう。

②材料の調達: 一にも二にも適量。どんなに安くても余れば鮮度が落ちるし、捨てれば環境汚染。野外料理のゴミ袋のマキが、地球にどんな影響を与えるかがわかります。

この問題で戸惑うとしたら、このシリーズを始めから(一九九〇年四月号から)読みなおしてみましょう。一キガソリンか? ガスか? 太陽熱か? 原子力か? (マジメです)

表1 小学6年生の好きなメニューBEST 5

ごはん類
①すし ②カレーライス ③おにぎり ④チャーハン ⑤ごはん
めん類
①ラーメン ②スパゲッティ ③ヤキソバ ④うどん ⑤マカロニグラタン
肉料理
①ハンバーグ ②焼肉 ③フライドチキン ④ステーキ ⑤すきやき
たまご料理
①ハムエッグ ②たまご焼き ③オムレツ ④目玉焼 ⑤茶碗蒸し
魚料理
①さしみ ②塩焼き ③フライ ④酢の物 ⑤かばやき
中華料理(ベスト3)
①ぎょうざ ②シーフード ③マーボー豆腐
野菜料理(ベスト3)
①野菜サラダ ②野菜いため ③おひたし

出典:「小学生の食生活と給食についての調査」(1988年)
大日本水産会調べ

表2 日本人の身体が要求する料理

しばらく食べていないと、体がどうしても要求してくる料理ベスト10
①カレー ②すし ③焼肉 ④肉料理 ⑤ラーメン ⑥酢の物 ⑦さしみ ⑧ステーキ ⑨天ぷら ⑩お好み焼き
出典:「カレーと健康に関する調査」(1988年) ハウス食品工業調べ

表3 残ったオカズの処分方法

日本人主婦の、残ったオカズの処分方法は、
①次の食事や翌日に自分が食べる 51.0%
②次の食事や翌日に家族で食べる 45.3%
③捨てる 33.7%
④弁当に入れる 21.7%

出典:「家庭料理に関する調査」(1988年) ハウス食品工業調べ

の中を指導者はよく観察しては?

③熱源と炊具の選定・生食をのぞいて、焼く、煮る、炒める、揚げる、蒸す――の加熱方法をどう選び、どんな炊具と合わせるか。マキか? 木炭か? 灯油か? ガソリンか? ガスか? 太陽熱か? 原子力か? (マジメです)

ところどころに盛った野菜サラダを箸で取るとき、だれかがその上下を持ちかえてつかむ……。しかし、家族ではしない。もしもこれがエチケット化して、うかつなだけが野外活動でこそばかりでなく、いくら洗つても手の汚れにひそむ細菌が逆さにした箸を通じて食べ物に移つて行きます。

箸をそのままにすれば、口に触れた

個所の接触になりますが、人間の口の中に一体どんなバイ菌がいるのでしょうか。もしそうであつたら、kissという美しい習慣は無くなつていたことでしょう。

ところで、箸の環境問題を耳にしますが、これは使い捨てされるワリバシについてです。

野外に親しむ活動でワリバシが必要だとしたら? また使わないとしたら、どうするか、大きな問題です。

また食器も各自に取り分けるより、大鉢か炊缶をテーブルの真ん中に置いてめいめいで盛れば、汚す食器の数も減り、家族ですきやきを食べるような楽しさで食欲を刺激し、残飯を出さないで済むことでしょう。ところが多くの野外活動では、いぜんとして個人中心の盛りつけと逆さ箸で大量の残飯を出しているのです。

⑤後片づけ…食べ終つた。ここからが環境汚染を左右するポイントです。ふつうは同じ大きさや同じ種類の食器を重ねますが…それがイケマセン。カレー皿や納豆のついた食器はそのままでも洗いにくいためですが、重ねたら、汚れの面が外側にも移つて倍増することになります。

私は、食後の食器はティッシュや紙でよく拭つてから洗うようにしていますが、パン食ならば、皿のスープなど

表4 ワリバシに関する数字

・日本の年間消費量	20,500,000,000膳
(林野庁統計)	木材に換算すると 410,000m ³ (国産材60% 輸入材40%)
・1人当たりの年間使用料	平均 269膳 (関係団体調査)
・1週間当たりの男女別使用量	平均5.1膳 (関係団体調査) 男性6.9膳 女性3.9膳

もうすぐ食事ができる。野外での食事も様々な点で自然に関係している。その視点で見つめ直せば今までとは少し違った食事の姿が浮かび上がってくるだろう。



自然に囲まれ食事をする。自然に育まれ、自然を育む——そんな関係を楽しむ。
これが野外での食事における最高のソースだ。

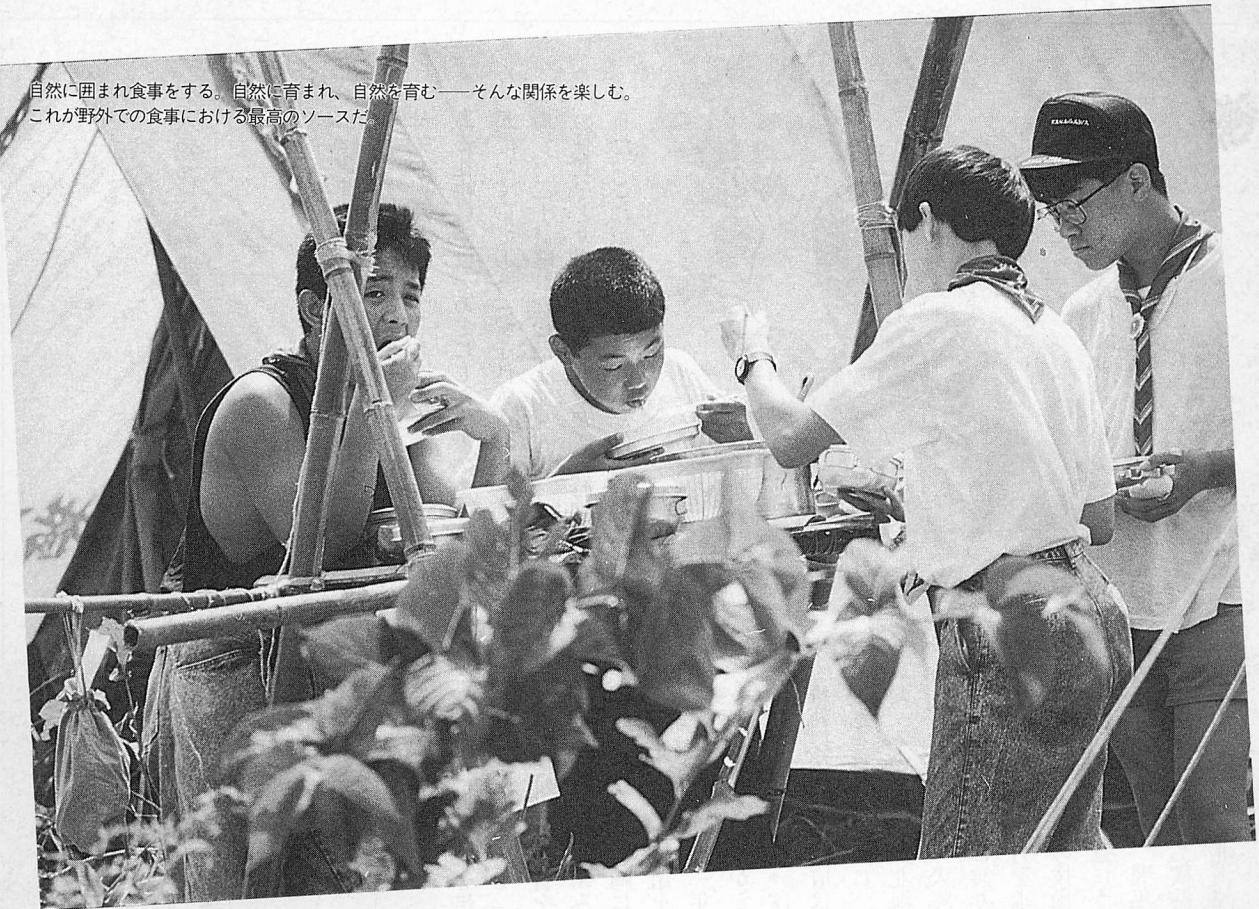


表5 食品类の水質汚濁負荷量（生物学的酸素要求量：BOD）と
きれいな川に流すときの必要最低希釈水量（ドラム缶換算）

食品類	BOD基本量 (mg/l)	1食当たり発生量 (mg/l)	必要最低希釈水量 (ドラム缶：本数)	発生量の根拠
米のとぎ汁	3,200	30,000	83.4	米3lを5倍の水でとぎ BOD平均2,000mg/lと推定
みそ汁	26,000	5,200	14.4	1杯200ml
魚卵	20,000	5,000	13.9	1杯250ml
おもと	500,000	75,000	208.3	1料理150ml
そば	74,000	37,000	102.9	1料理500ml
牛乳	230,000	11,500	31.9	1食50ml
インスタントコーヒー	82,000	8,200	22.8	1人1食100ml
	100,000	20,000	55.6	1本200ml
	50,000	7,500	20.8	1杯150ml

注1 「きれいな川」とは、河川環境基準A類型（BOD2mg/l以下）を適用。

注2 ドラム缶は、内容量を1本180lとした。

うどうしようもない生き物に、どうして
たら自然とウマクつき合えるのかを教
えようとしている野生動物の親心のよ
うにも思えます。

しかし、目をおおいたくなる人間の
無謀な野外活動は無くなりません。
缶やビンを投げ捨てたり、ゴミを持
ち帰らない行為のほかに、磯や草にか
らんだ切り捨てた釣糸に触れて宙吊り
になつたり飛べずに死を待つ鳥たちの
増加や、投げ捨てのプラスチックなど
をクラゲだと思って飲みこみ、腸を詰
ませて死んでいくウミガメやイルカ
たちの急増を、私たちは見過してよい
のでしょうか？

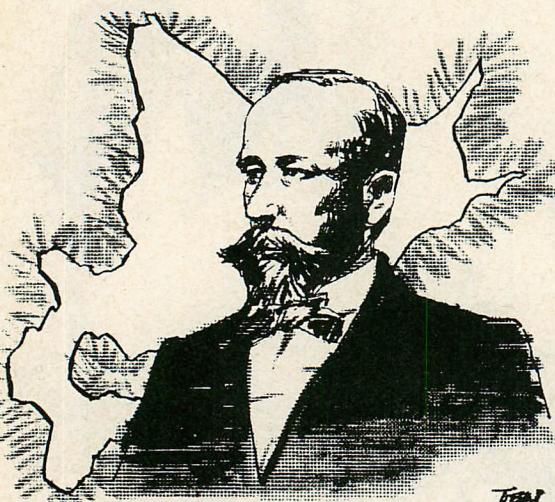
オソロシイことです。カナシイこと
です。サミシイことです。私たちの野
性はどこに行つてしまふのでしょうか？
そう思いませんか？ そして、それ
に立ちむかう知恵と勇気が欲しいと思
いませんか？ そう思えるならスバラ
シことです。

私の実践ステップ

- (1) “火の粉をまきあげ”式の歌などを探し出す。
- (2) 地球をダメにする野外活動をリストアップし、その回避方法を考える。
- (3) ワリバンを使わないでどこまで生きてできるか寒行してみる。

やじま いわお。神奈川県環境部勤務。

クラーク博士



「少年よ、大志を抱け」明治十年（一八七七年）四月十六日、一年の滞在期間が切れて、アメリカ人ウイリアム・クラークは、北海道大学の前身である札幌農学校をあとにした。港のある函館まで馬でいくのである。二十四人の学生と職員たちも馬で、二十キロ離れた松島まで見送り、そこで別れの昼食をとり思い出を語りながら一時間ほど散策した。これが最後の野外授業だった。彼は一人ひ

とりの手を握り別れを惜しむと、再び馬上の人となつたが感きわまつて「ボーアズ・ビー・アンビシャス」と叫んで馬首をめぐらすと、まだ雪が残る坂を登り林の道にふみいれ見えなくなつた。函館にむかう彼の胸には別れの寂しさと、日本政府の二年の滞在要請を断つて「他の人が二年かかるところを、私は一年でやりとげてみせます」といた言葉をふりかえつて、一人分の仕事をやりとげた満足感でいっぱいだつた。

維新以後の明治政府は北辺の防備を固め、国力の増進をはかるために、北海道開拓に力を注いでいた。その推進者が北海道開拓長官の黒田清隆である。彼はアメリカ大陸の開発を学びとろうと、明治三年アメリカに渡り北米を視察して回り、グラント大統領に助力を求める。「わが国の北海道開発のために、貴国の技術を貸していただけないだろうか」黒田の熱意にうたれた大統領は、快く求めに応じてくれた。翌年ケプロン農相が推薦され、黒田と一緒に立つて横浜港におりたつた。

黒田はさつそく北海道開発の大計画に着手した

が、政府の予算節減、人事問題のもつれから、計画は思うように進展せず、明治八年にケプロンはアメリカに帰つていった。北海道開拓に賭ける黒田は、ケプロンに代わる人物の紹介を、再びグラント大統領に依頼、こうして選ばれたのがクラークである。彼は一八二六年マサチューセッツ州北部の清教徒の家庭に生まれた。厳格な中にも旺盛なフロンティア精神を秘めた彼は、何事も負けることが大嫌いな少年で、学校で徒競走があると人の何倍も練習して勝つまで頑張り、走つても、泳いても、ケンカも、勉強も一番だつた。

家が貧しかつた彼は苦学でアマースト大学を卒業、ドイツのゲッチングン大学に留学し化学と鉱物学を専攻、博士号をとる。帰国後母校アマースト大学教授として勤めたが、奴隸解放をスローンにした南北戦争が始まると、正義感の強い彼は黙つてゐることができない。「人間はみんな平等です。奴隸制度は人間性を無視しています。したいにげられた人々に自由を」と演説をしてまわり、ついに義勇軍少佐として二十五歳の彼は入隊する。

勇敢な彼の隊は連戦連勝の殊勲をあげ、あるときには敵に包囲され「マサチューセッツの英雄死す」と新聞に報道されたこともあつた。戦場で多

数の戦友をうしなつた彼は悲痛のあまり、大佐で戦列をはなれ教職にもどる。南北戦争は一八六五年北軍の勝利で終結する。農科大学の必要性を説く彼は、一八六七年にマサチューセッツ農科大学を創設し、初代学長として就任する。このときの実績が認められ来日することになったのである。

五十歳のクラーク博士はアメリカから連れてきた助手二人、黒田清隆と二十四人の学生と共に、明治九年（一八七六年）七月中旬横浜港から出帆、七月三十一日に札幌に着く。そして八月には札幌農学校の開校式をおこなつた。その翌年には宗教家・評論家として思想界に大きな影響を与えた内村鑑三や五千円札の肖像になり、京大教授、一高校長、国際連盟事務局次長を歴任した明治きつての国際人・新渡部稻造らが入学し卒業している。

開校すれば校則が必要となる。開拓庁の役人が校則をつくつてクラークに差しだした。彼は笑つて「規則で人間をつくるわけにはいきません。ビル・ゼントルマン（紳士たれ）だけで充分です」と言つて校則をつくらせなかつた。しかし、元気ざかりの学生たちはハメをはずしがちになる。彼らは酒を飲み暴れることもたびたびだつた。黒田はクラークに対して酒を禁じる校則をつくるよう要請した。彼も大の酒好きで、一年分のワインやウイスキーを持ちこんで飲んでいた。彼は意を決すると、すべての酒ビンを教室に運ばせた。

「君たちは規則がないのをよいことに、自由奔放の生活を楽しんでいますね。日本の将来を背負つて立つ諸君は、いま学びぬくことが使命のはずです。酒を飲んで暴れるなんて情けない。そこで、私も決心しました。日本にいる間は絶対にお酒を



「飲みません」そういうと金槌ですべて叩き割つてしまつた。以後、クラークは黒田の招待をうけて酒をすすめられても、「学生との約束を破るわけにはいきません」といつて決して飲まなかつた。これから師弟関係は見事なものとなる。

英語と日本語の授業である。想像を絶する困難な事業だ。周囲の反対を押し切りキリスト教のカリキュラムをもちこんだクラークは、博愛、平等の精神で授業を貫き、午前は講義、午後は実験、すき、くわを握つて農作業、これらの労働にたいしては報酬をあたえた。武士の子弟は働いて報酬を得ることを卑しむ傾向があつたが、労働から得る金銭の尊さを学ばせた。ある野外授業の日、大きな木の枝に珍しいコケを見つける。クラークは四つんばいになつて、自分の背中にのつてコケをとるようにと/or>。学生はモジモジとしづめしに乘せコケをとらせた。そのコケは「クラークゴケ」と名づけられた。

クラークが残した大きな遺産は、砂糖大根といわれる「てんさいの栽培」と「サケの浮化と缶詰の製造」といわれている。この二つとも北海道を支える産業にのしあがつていく。

アメリカに帰つたクラークは、マサチューセッツ農科大学に復帰したが、経営不振の責任をとつて二年後に辞任。金山経営にのりだし七つの鉱脈を掘り当て、北米有数の金山経営者となるが、共同経営者ボスウェルの裏切りにあり、経営の建て直しに心労つき心臓病で五十七歳の生涯を閉じる。教育者として、軍人として、実業家として誠実に生きた彼の人生だった。

会議

●評議員会

三月二十日（水）、東京・三会堂ビルで開催された。廣瀬又一理事ほか、評議員三十三名が出席、委任状提出者を含め、九十一名で定足数を満たした。

橋本龍太郎理事が諸般の事情により辞任されたことについて報告があり、これを見認めた。

平成二年度予算の補正案、平成三年度事業計画案、平成二年度収支予算案、財界募金要項案について説明があり、これを承認した。

また、賀田恭弘氏を日本連盟参与として委嘱することが承認された。

●理事会

三月二十六日（火）、東京・国立教育会館で開催された。渡邊昭理事ほか十三名が出席、委任状提出者を含め、二十八名で定足数を満たした。

橋本龍太郎理事の辞任について説明があり、これが了承された。

平成二年度予算の補正案、平成三年度事業計画案、平成二年度収支予算案、財界募金要項案について説明があり、これを承認した。

また、賀田恭弘氏を日本連盟参与として委嘱することが承認された。

日本連盟情報

—加盟員の皆様へ—

●ガールスカウトとの懇談会

この懇談会は毎年二回開催されているもので、本年度第二回目の懇談会は三月

九日（土）、東京・国立教育会館で行われた。ボーイスカウト側は鈴木了正総コミッショナーほか十二名、ガールスカウト側は三島昌子会長ほか十一名が出席した。懇談の主な内容は次の通りである。

①平成三年度事業について。

ガール・スカウト日本連盟およびボイスカウト日本連盟から、各々の平成三年度事業について説明があり、質疑応答や意見交換があった。

ボーイスカウト側からは、第六回日本

アグーナリー、ローバーモート'91などについての説明があり、ガール・スカウト

日本連盟からも、これらの事業に積極的に参加、協力する旨が伝えられた。

②学校五日制への対応について

この問題については六人会で引き続き検討する方法が承認された。

③その他



東京・三鷹のボーイスカウト会館でのスカウツオウン。
中央は鈴木了正総コミッショナー

たちの救済の意味をこめて努力するつもりであることが説明された。

●第九回富士スカウト顕彰

三月二十七日（水）と二十八日（木）にわたり行われた。該当富士スカウト百三十二名の内、百十八名が出席した。

初日はスカウト相互の懇談や教育本部役員との話し合いを通じて情報交換や意見の交換を行った。二日目は東宮仮御所に参殿。皇太子殿下に接見を賜り、引き続き、内閣総理大臣、文部省を表敬訪問し、顕彰行事の全日程を終えた。

●集会・行事

●第十七回日米フレンドシップパトロー
リー大会

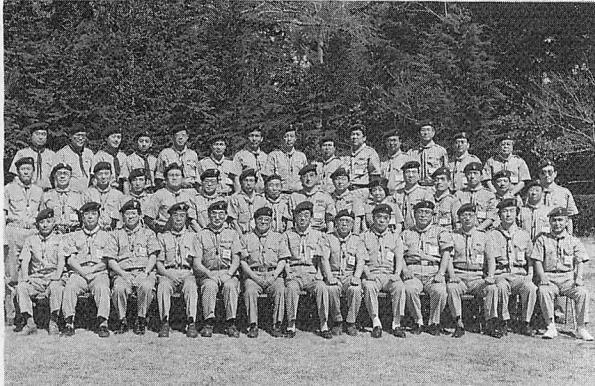
四月五日（金）から七日（日）にかけて、東京都稲城市、米軍多摩リクリエーション施設キャンプタマで開催された。

日本側からはスタッフ十八名を含む百

十四名が、アメリカ側からはスタッフ九名を含む百四十名の参加があった。「スカウティングの兄弟愛を通じて、よりよい世界を築こう」をテーマに、両国のスカウトが互いに理解と友情を深めあった。

指導者養成

平成二年度「隊指導者上級訓練（ワッヂ実修所）指導要員先行訓練」
とき・平成三年三月十五日～十七日



ところ・日本連盟那須野営場
所長・杉原 正

入所者・十一県連盟二十八名

内容・平成三年度に開設されるウッドバッジ実修所の主要スタッフを対象に、改定実施される実修所の運営および実技について研究協議を行った。

厚生省と全国社会福祉協議会の主唱によつて行われる。期間は五月五日（日）から十一日（土）までの一週間。「わくわくするね 子供の笑顔 わんぱくふれあい そして夢」を標語に、児童が健やかに生まれ、育つ環境づくりに努める。

ボイスカウト各団へ配布

平成三年度のユニセフ募金は「ユニセフ湾岸危機救済募金」として湾岸戦争で被災を受けた人々の救済にも役立てられる。これにボイスカウトも積極的に協力していくこととなり、ユニセフからボイスカウト各団に募金用のポスターが配布される。

情報報

●第六回日本アグーナリー

実行委員会委員長の委嘱

第六回日本アグーナリー実行委員会の委員長に宮崎義宣氏（中央審議会副議長）が三月十日付けで委嘱された。

●児童福祉週間



画・つづき佳子

A5判 58頁

定価360円（消費税は含まれておりません）

需品品番66422

発行元(財)ボーイスカウト日本連盟

TEL(0422)31-5161(代) 需品部(0422)31-5165(代)

FAX(0422)32-0010

若き指導者と彼を囲むスカウトとのふれあいを通じてボイスカウトのスピリットを一つ一つ教えてくれる。おもしろいから分かりやすい。分かりやすくから、おもしろい。

資料センター 蔵書リスト

今回も野外活動についての蔵書を一部紹介いたします。この本を読めば、春の陽の下に飛び出したいくなります。

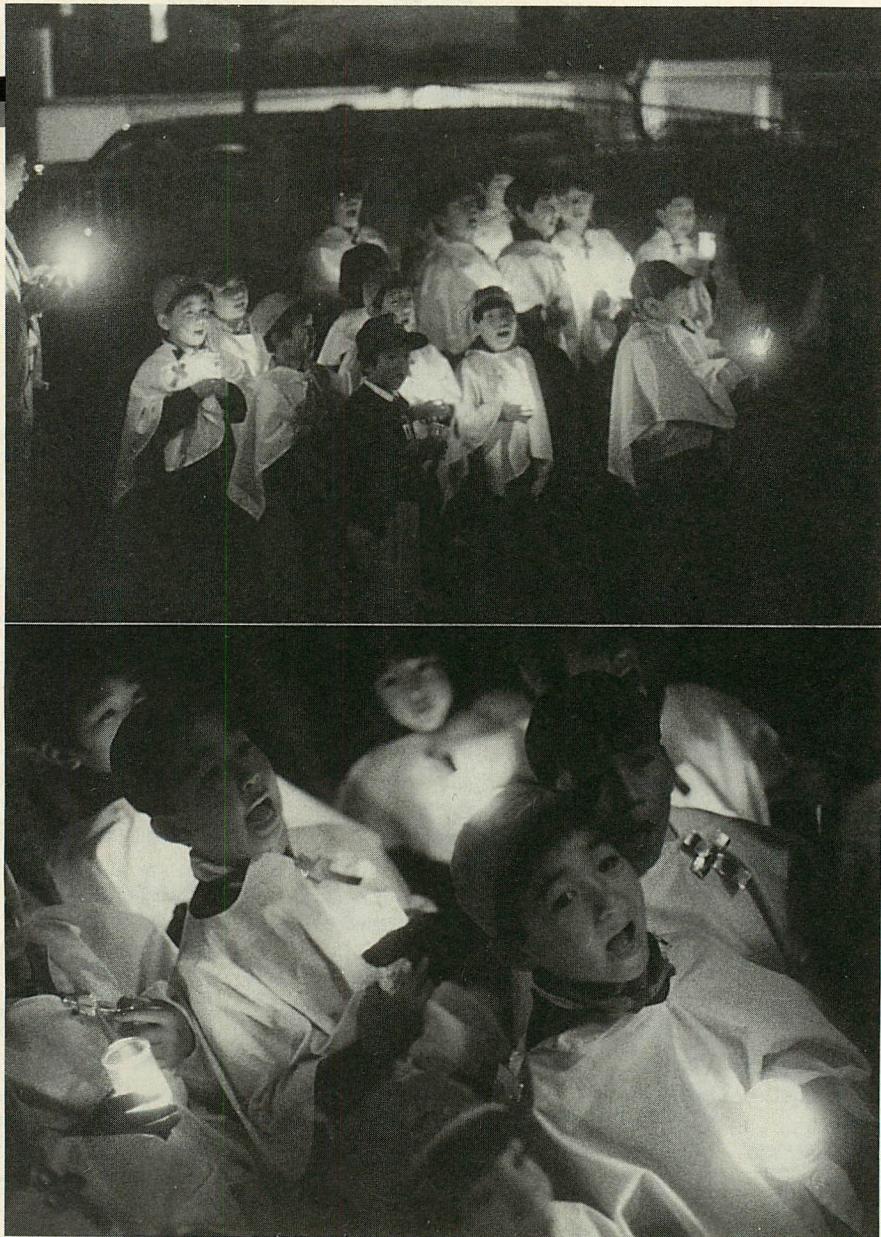
書名・副書名・副題	著者・編者・訳者	出版社	出版年
移動教室四十年 野外教育への道	入江孝一郎	日本移動教育協会	平成2
現代野外教育概論	石田裕一郎	海声社	昭和56
野外手帳	石毛 直道	朝日新聞社	昭和52
野外冒険術	伊藤 昭彦	主婦と生活社	昭和61
フィールドで伸びる子どもたち 探検・地図・自然と学習	岩本広美	日本書籍	平成1
アウトドア学教程・技術編	JICC出版局	JICC出版局	昭和56
ウッドペッカーカー3 アウトドア ウェア・カタログ	鎌倉書房	鎌倉書房	昭和61
八ヶ岳の森から	加藤 則芳	晶文社	平成2
アウトドアライフを楽しもう	川田 晃彦	文潮出版	昭和54
アウトドアの知恵読本 快適フィールド技術&発想法	川口 邦雄	ライオン社	昭和57
冒険術入門 アウトドアライフの免許皆伝BOOK	切通 三郎／浜名 純	徳間書店	平成2
ペーペューティーの本 これからのライフスタイル図鑑	小林 泰彦	婦人画報社	昭和52
図解さあ、手づくりだ 週末、親子で遊んでみたい!105章	小林 泰彦	ネスコ	昭和60
キャンプ・合宿・ハイキング 自然教室のしおり	小林 泰彦	岩波書店	昭和60
父と子の野外塾	小林 泰彦	立風書房	昭和62
ミッキーマウスのアウトドアブック	講談社	講談社	昭和55
週末・田舎人のすすめ	恋沼 薫	KKダイナミックスセラーズ	昭和63
アウトドアライフ	小瀧 賴介	千草書房	昭和63
サバイバル読本 自然の中で生き残るために	工藤 章興	主婦と生活社	昭和58
サバイバルライフ入門	増島 達夫	日本交通公社	昭和61
アウトドア ひとり旅	増島 達夫	千草書房	平成1
ウォーキング手帳	松島駿二郎	山と渓谷社	昭和56
親父塾 私のアウトドア育て奮闘記	マイク真木	日之出出版	昭和63
野外を楽しむ本 レクリエーションと料理	三島 昌子／照屋 康子	家の光協会	昭和51
スカウトの野営訓練に	三谷 明		昭和53
現代教育の忘れるもの 青少年の欠損体験と野外教育の方法	三浦 清一郎	学文社	昭和62
気分はアウトドア・ライフ	宮沢 芳樹	双葉社	昭和59
ぼくとナイフ	森下 一期	岩波書店	昭和55
野外生活の理論と技術	森田 勇造	青少年交友協会	平成2
野外文化論	森田 勇造	学習研究社	昭和62
野遊び術	本山 賢司	山と渓谷社	平成1
野外手帳	中川 博樹	西東社	平成1
アウトドアライフ	永岡書店	永岡書店	昭和57
野外生活の方法 図説・自然に親しみ自然を楽しむ全知識	中西政一郎	ユニ出版	昭和61
野山を歩く	成田 和夫／森上 義孝	岩崎書店	平成2
冬のスカウティング	新潟連盟	新潟連盟	昭和42
アウトドアライフの楽しみ	日本放送協会	日本放送出版協会	昭和63
LET'S GO キャンピング アウトドアライフ全ガイド	日本交通公社	日本交通公社	昭和61
アウトドアグッズ入門	日本交通公社	日本交通公社	昭和61
アウトドアガイド 1988家族で楽しむ	日本交通公社出版事業局	日本交通公社	昭和63
少年団作業図解 第五回	少年団日本連盟	少年団日本連盟	大正15
健児作業図解	少年団日本連盟	少年団日本連盟	昭和5
野外活動マニュアル	日本野外活動団体協議会	杏林書院	昭和63
野外活動テキスト	日本野外教育研究所	杏林書院	昭和63
野外ハンドブック 大自然に生きる基礎知識	西丸 震哉	光文社	昭和47
野外ハンドブック 大自然に生きる基礎知識	西丸 震哉	光文社	昭和60
リュックサックの研究	西岡 一雄	三祥堂印刷	大正13
野外活動自然活動の計画と指導	大出 一水	遊戯社	昭和62
野外おもしろ知識	岡田 直久・小林 祐一・星野 瞳	主婦と生活社	昭和63
自然体験学習のすすめ	近江のヨリーダー養成研究会	ぎょうせい	昭和63

第18回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト

入賞作品発表

主催:(財)ボーイスカウト日本連盟 協賛:富士写真フィルム株式会社、株式会社日本カメラ社 評は秋山庄太郎先生からいただきました。

少年の部
最優秀賞



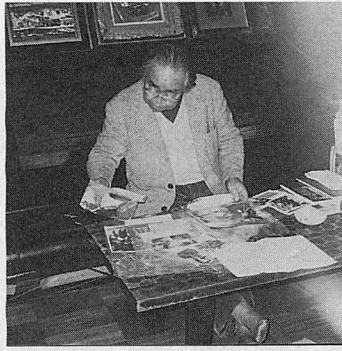
「クリスマスイブのキャンドルサービス」

大阪・吹田
第十五回力アブ
隊

田淵哲也

評 この作品は、意外性というか、たいてい
は室内のクリスマスの写真が多い中で、戸外
のクリスマスの雰囲気がよく撮れています。
子どもの写真とは思えないくらい描写がしつ
かりしていて、大人顔負けというところです。

成人の部
最優秀賞



秋山庄太郎 先生の 総評

評定石どおりにスカウトフェスティバルのいろいろな様子を多面的に撮っていて、「ああ、こんなにぎやかなんだなあ」と説得する力を持っている作品です。

「天津小奏第一団 スカウトフェスティバルの一日」

千葉・天津小奏
第一団委員

佐川止平

少年の部は応募数も増えて、なかなか良い作品が多くなってきました。成

人の部の奮起を促したいと思います。

カメラを覗いてシャッターを押せば写る時代ですから、もう少年の部と成

人の部の差がなくなってきてます。

ただ違うとすれば、やはり子どもは素

直におもしろいものを撮り、大人はど

ちらかといふと、どうやって構図をと

ろうかと考へながら撮っているようで

す。ですから、少年の部のほうはおもしろいけれど構図が乱雑になり、成人

の部のほうはなかなかしっかりした構

図をとっているけれど、内容に素直さ

がなくなつてくるという傾向が多少見られます。

少年の部で今回、ゆりかもめや白鳥

やカモを取り上げた作品がいくつかあ

りましたが、このように自然に目を向

けた作品がもう少しあつてもよいと思

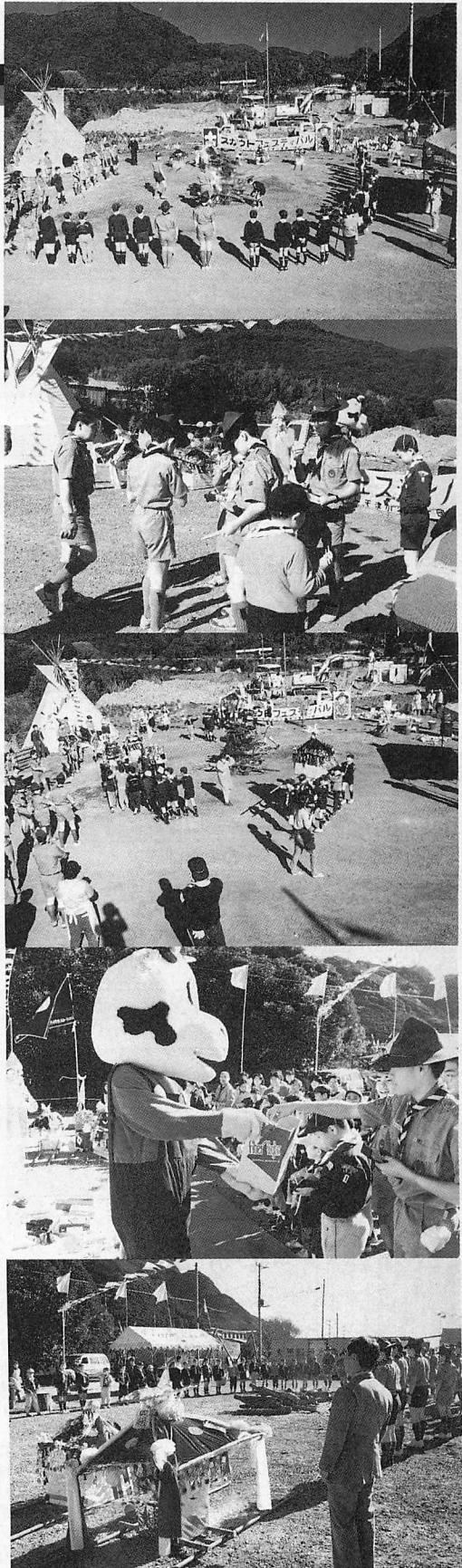
います。ついでボーカスカウトの樂

しい活動に目が行きがちですが、その

活動の場にも必ず自然の情緒というものがあるはずですから、そのあたりに

目を向けてみたらよいでしょう。

成人の部でも同じで、スカウト活動とその周辺の自然の良さを表現してみるとおもしろいと思います。



●第18回全国ボーイスカウト写真コンテスト入選作品一覧●

[少年の部]

賞	表題	氏名	都道府県	所属
最優秀	「クリスマスイブのキャンドルサービス」	田淵哲也	大阪	吹田第15団カブ隊
優秀	「自然の中で学ぶSS班キャンプの朝」	宮脇誠一	奈良	橿原第9団シニア一隊
優秀	「ゆりかもめ」	水谷俊介	大阪	吹田第19団カブ隊
入選(佳作)	「ファイヤーってあったかい?」	原徹	神奈川	川崎38団シニア一隊
入選(佳作)	「カントリー作戦」	間裕一	岡山	岡山第4団シニア一隊
入選(佳作)	「カブ農園・秋の取り入れ」	松田吉正	岡山	岡山第17団カブ隊
入選	「ぼくのいもうと」	太田智康	宮城	仙台第37団カブ隊
入選	「木のぼり」	石井良介	神奈川	横浜第111団カブ隊
入選	「雪が降る」	植原鉄平	東京	世田谷第8団カブ隊
入選	「ペグ遠すぎるよ」	吉川浩史	富山	大沢野第1団カブ隊
入選	「さあ・どちらから食べよかなあ」	大西芳明	愛知	名古屋第87団カブ隊
入選	「大きいのができたよ!!」	荒井崇行	兵庫	猪名川第1団
入選	「エンスト」	吉谷武文	大阪	大阪第96団ボーイ隊
入選	「なかよしの輪」	林慎平	大阪	吹田第19団カブ隊
入選	「ぼくのお母さん」	稻垣裕矢	大阪	吹田第22団カブ隊
入選	「マザーさんスケッチ書けた?」	中野秀知	大阪	泉南第2団ボーイ隊
入選	「ぼくのおとうとたち」	白川了一	大阪	豊中第5団カブ隊
入選	「キャンプの一日」	(故)三宅欣里 保護者	大阪	箕面第4団カブ隊
入選	「みんなでうどんを作ろう」	大頭一修	岡山	岡山第17団カブ隊
入選	「ロープむすび」	原慎太郎	長崎	長崎第3団カブ隊

[成人の部]

賞	表題	氏名	県名	所属
最優秀	「天津小湊第1団スカウトフェスティバルの一日」	佐川正平	千葉	天津小湊第1団委員
優秀	「隊長をやっつけろ!」	畠功	千葉	船橋第14団委員
優秀	「島っ子の海難訓練」	高梨よし子	東京	大島第1団ビーバー隊長
入選(佳作)	「おばあちゃん元気でね」	林壮二	長野	駒ヶ根第1団カブ隊副長
入選(佳作)	「ウワーッ」	大垣内宏	兵庫	西宮第9団カブ隊長
入選(佳作)	「ボランティア」	隅省吾	大阪	一般応募者
入選	「みつめる目」	山崎常雄	東京	秋川第1団カブ隊長
入選	「ユーストピア'90」	後藤満	東京	立川第3団カブ隊長
入選	「仲間」	岩田実	愛知	稻沢第4団カブ隊長
入選	「ロープ結び」	栗原研二	愛知	名古屋第43団副委員長
入選	「負けるもんか!」	青谷弘子	滋賀	高島第3団ビーバー隊副長
入選	「アングル」	岩井裕子	大阪	大阪第135団委員
入選	「力を合わせて」	加藤新治	大阪	大東第2団シニア一隊長
入選	「リーダーも仲間入り」	阪口和男	大阪	寝屋川第3団カブ隊副長

●スカウト「スカウティング」は、全国各地に各一冊お送りしております。団の通信、連絡先にお送りしておりますので、住所の誤り、変更がある場合、日連広報課までご連絡ください。団配布分までご連絡ください。購読料は、登録料に含まれています。本誌のバックナンバーを希望されるときは、はがきで日連広報課までご注文ください。

●この春、編集スタッフに加わってはやひと月。『スカウティング』は読み込む程に味が出る、と思う。新しいメンバーで月刊誌を作つて、くのはとても刺激的。投稿経験のない方もぜひお便りを!! (遙)

●この後記の名前の欄に「新」を使つて月刊誌作りに取り組みます。(新)

●コイのぼりの季節。子どもの頃、コイのぼりと青空を見つめて、海の底にいるような気になつたものです。(机)

■編集後記

SCOUT
スカウト
'91-5月号
No.368

- LOOK WIDE ルックワイド
ユニフォーム 手入れ完ぺキマニュアル
- スカウト もりもりコミック⑪
炊具を使わない野外料理
- 世界のボーイスカウトから⑥
- ふたごの探偵事件簿⑪
「カメラをぬすんだ男」
ぶんおおたのぶゆき えいとうてんあん
- その他 連載多数

需品部

ニュース

組集会でも家庭でも、班でクラフト? HANDICRAFT

サンドアート 83432 ¥1,200

砂と混ぜて水を加えれば、みかん箱大のブロック3~4個ができる、砂の彫刻用凝固剤セット。ドライバー、木工用ノコギリ、ナイフ、ワイヤーブラシなどでも簡単に加工できます。凝固材5kg(3.9L)、計量カップ、説明書付。



パイオニアリングキット

丸太でタワーやブリッジを構築するパイオニアリングは、スカウトのチームワークの見せどころ。何よりも「誰が何をどのように」作業すればよいのか、手順を理解していることが大切です。このキットには、太さの違う3種類の棒、たこ糸、設計図がセットされており、事前の綿密な打ち合わせに力を発揮します。



ピラミッド塔 83448 ¥1,200



革細工キット

革の表面を湿らせて金物を打ち込めば、いろいろな模様が表現できます。フォーク、スプーン、針金細工など身近なものから、あなたのセンスを光らせてしまませんか。①③④⑥⑦はスカウトマークの型押し済み。②⑤⑧は在庫切れ次第、取り扱いを中止させていただきます。



ナイフケース 74760 ¥1,300



チーフリング 74754 ¥600



小銭入れ 74732 ¥550



ペンケース 74710 ¥1,500



革細工セット 83426 ¥1,000



伝令カバン 74748 ¥2,000



サイフ 74726 ¥1,400

INFORMATION



新発売・技能章ガイドブック『炊事章』 66535 ¥650

『野営章』66513-¥600、『野営管理章』

66529-¥600に続く第三弾。「おいし

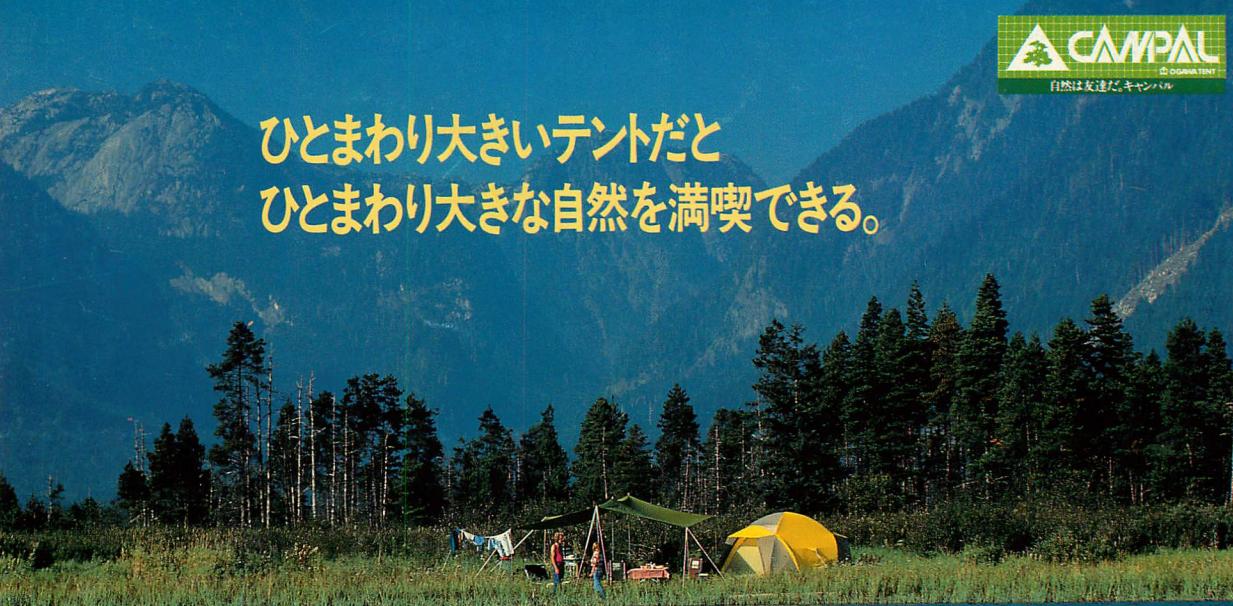
いキャンプ」を目指すスカウトに、

そのテクニックを伝授する手引。

B6判、101ページ。

取り扱い中止 スカウトシューズ、スカウトブーツ、ハットホルダー、伝令カバン、炊飯セット(小)、カブワッペン
丸型は在庫がなくなり次第、中止させていただきます。

*需品の表示価格には、消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けます。



CAMPAL
自然は友達だ。キャンパル
'90年度
グッドデザイン
商品

ひとまわり大きいテントだと
ひとまわり大きな自然を満喫できる。

キャンプの新しいカタチ STYLISH CAMP



遊び心を満たしてくれるデッカイ北海道で
ファミリー・や気心の知れた仲間とのキャンプには
ひとまわり大きいテントが一番だ。
行動派のキャンパーにとってうれしい、いま
人気の「フィールド・ドリーム」は
軽くて使いやすいコンパクト設計、
換気と夜の星空もながめられる天窓、
そして、前・後面メッシュの大きな出入口など、
贅沢な快適機能を装備している。
オプションには、荷物室に使える前室もある。
さあ、自慢のテントで、思いっきり自然を楽しもう。

小川テント株式会社

本社 東京都江東区冬木10-13 TEL03(3641)7123代
●営業所 広島・大阪・名古屋・札幌・福岡



●'91 OGAWA TENT スポーツ &
レジャー カタログをご希望
の方は、切手500円分を同封
の上、「レジャー用品部」
までお申し込みください。

